

会 誌

恵迪

— 第13号 —



平成 25 年

恵 迪 寮 同 窓 会

会誌
恵 迪

(第 13 号)



恵迪寮同窓会

「都ぞ弥生」の青春グラフィティー

ドキュメンタリードラマ「清き國ぞとあこがれぬ」

(平成 25 年 5 月 6 日放送)



詞が完成し歓喜のあまり雪のなかに飛び込む芳介役の小倉君



横山・赤木の出合いのシーンは最高のロケーション



前夜の吹雪で2 疋もの積雪。旧寮舎前でのラストシーン



当時の寮生はよく勉強もした

「清き國ぞとあこがれぬ」の大ポスター

北大恵迪堂歌「都ぞ弥生」100年記念！

ドキュメンタリードラマ

「都ぞ弥生の春装に
花の道標つる愛の道は…」

清き國ぞとあこがれぬ

「ウイリアム・S・クラーク博士の魂を継ぐ」

太平洋戦争、復興、高度成長…そして3.11
幾多の時代を見つめた愛唱歌の誕生秘話

日本三大歌謡に数えられる北大恵迪堂歌「都ぞ弥生」
戦後の復興を飾る歌に留まらず、時代を超えて愛され続け、
北海道の四季を回り込んだその歌詞に響きたちはロマンを感じました。
恵迪堂の秘蔵から新編の学生たちの熱く、深い想いを届けることができます。
物語は1919年（明治45年）の北海道大学・恵迪堂から始まります。
「人々の世の運命を導きとあこがれぬ…」
「都ぞ弥生」 戦争の時代に何を問いかけているのでしょうか。

【ナレーション】—— 竹下景子

【出演】
作詞家 横山芳吉 小倉康矢 北入道2代目
北村4代目(190代、100代)
作曲家 山本道次 中西博宣 北入道3代目

5月6日(月・祝) ON AIR!
北海道放送: 午前9時55分~放送
DVD6月下旬 発売予定

【楽曲】 都ぞ弥生 (原曲提供: 北大恵迪堂歌集 1919 / 北原道雄 (NHK アラビヤ))
【アレンジ】 アラビヤ (原曲提供: 北大恵迪堂歌集 1919 / 北原道雄 (NHK アラビヤ))
【ナレーション】 都ぞ弥生 (原曲提供: 北大恵迪堂歌集 1919 / 北原道雄 (NHK アラビヤ))
【脚本】 横山芳吉 (北海道大学文学部) / 山本道次 (北海道大学文学部)
【演出】 山本道次 (北海道大学文学部) / 山本道次 (北海道大学文学部)
【撮影】 山本道次 (北海道大学文学部) / 山本道次 (北海道大学文学部)
【編集】 山本道次 (北海道大学文学部) / 山本道次 (北海道大学文学部)



監督の早川渉氏(左)とシナリオを書いた長沼修氏(右)の労を感謝して花束贈呈



視聴率アップを目指し OB もチラシを配り PR

■ 新年寮唱歌始めの会

(平成 25 年 1 月 26 日・氷雪の門)



おごそかに「都ぞ弥生」斉唱で開宴



宴の終わりは「都ぞ弥生」を 5 番まで



24 年度寮歌「快速エアポート」の丸田君もギターを抱え登場

■ 開拓の村・旧恵迪寮舎前観花会&円山公園・恵迪寮観桜会

(平成 25 年 5 月 12 日)



花は見えねど寮歌を満喫



OB からの差し入れの返礼に寮歌を高唱する現寮生

恵迪13号もくじ

巻頭言

ご挨拶

特集 I

特集 II

寄稿

フロンティア精神を後世に……………恵迪寮同窓会会長 横山 清 7

「清き國ぞとあこがれぬ」の精神とともに歩む……………北海道大学総長 山口 佳三氏 8

「人の世の清き國」を求め続ける……………恵迪寮同窓会代表幹事 白浜 憲一 9

同窓会員に開かれた支部活動を目指して……………恵迪寮同窓会東日本支部長 坂倉 雅夫 10

このごろ考えること……………恵迪寮同窓会西日本支部長 伊藤 靖久 11

心は生涯「現寮生」……………恵迪寮同窓会北海道支部長 内藤 春彦 12

ドキュメンタリードラマ「清き國ぞとあこがれぬ」

クラーク精神が紡ぎ出した珠玉の作品―ドラマ誕生までの秘話……………藤田 正一 13

ドラマパートの撮影を終えて……………映画監督 早川 涉氏 20

「清き國ぞとあこがれぬ」を観て想うこと……………和 孝雄 22

「都ぞ弥生」百年記念 続編

「都ぞ弥生」における不易流行……………金 武彦 24

多数の参観者を得た「都ぞ弥生」百年記念展……………高井 宗宏 29

恵迪の友よ……………吉村 誠治 36

長男の華燭の典で「都ぞ弥生」を高唱……………佐竹 正治 37

特別寄稿
追悼
現寮から
恵迪寮同窓会開識社講演会
ご案内
恵迪寮同窓会通信

七戸長生著『北大の学風を尋ねて』を読んで……………	佐々木 忠	38
孫と二人の中国人留学生とへ「恵迪」入寮50年へ今もつながる「恵迪」「札幌」……………	石津 宏介	43
北へ帰ろう！新しいふるさとを求めて……………	亀田 郁朗	46
米をめぐる想像……………	横山 考	47
俳句 初詣……………	小沢 久弥	51
彼岸に至る道（前編）共にがんと闘った寮友との語らい……………	中瀬 篤信	52
阿澄昌夫先輩、安らかに……………	窪田 開拓	71
恵迪寮で培われる精神……………	第300期執行委員長 村橋究理基	72
平成24年度寮歌「快速エアポート」……………	丸田 潤	73
北海道支部 汚染による潜在的な健康リスクについて／その「予防原則」を考えながら……………	講師 岸 玲子氏	76
北海道支部 おらが街「サッポロ再発見」！／地形・地質条件と北都の発見……………	講師 石井 正之氏	83
東日本支部 「南極大陸内陸探査の道筋」……………	講師 渡辺 興亜氏	89
恵迪寮同窓会北海道大会・大寮歌祭のご案内……………		97
東日本支部さいたま・大宮大寮歌祭のご案内……………		100
恵迪寮同窓会第12期平成25年度理事会報告……………		101
編集後記……………		118



フロンティア精神を後世に

恵迪寮同窓会会長

横山

清
(S31年入寮)

「恵迪寮命名百年」の記念祭が起爆剤となり、昨年は「都ぞ弥生」誕生百年を迎えて北大内外はオーバーヒートしました。記念行事を完遂し虚脱状態に陥るかと思われた執行部も、記念委員会が心血を注ぎ取り組んだドキュメンタリードラマ「清き國ぞとあこがれぬ」の完成をみて、俄かに精気を取り戻しています。出色の出来栄えはもちろん、何と言っても北大挙げでの総合力が見事な映像として結実したことに感動し、更なる愛校心と愛寮の精神が沸き上がっています。北大当局をはじめ各学部同窓会、そして卒業生の物心両面の支援がなければこの作品が日の目を見ることはなかったと、改めて厚く感謝申し上げる次第です。ナレーションの竹下景子さんを除き、総て北大OBと学生よって制作されたことも特筆すべきで、記念行事の締め括りに大きな華を添えることができました。

さて、昭和6年に移築された第2代恵迪寮は、第2次世界大戦や戦後の混乱期を挟み、高度成長のさなかに52年間の幕を閉じ、現在の寮が新築されました。これを契機に恵迪寮同窓会が結成。寮舎の一部を開拓の村に移設したほか、寮運営を巡る大学との紛争等を憂慮し、時の有江学長と厳しい折衝の末、「恵迪寮」の名を継承し得たのも、同窓会の大きな成果でした。本年は、同窓会結成30周年の記念すべき年で、周年記念行事についても提案致したいと考えます。

また、3月末で第17代佐伯浩総長が離任され、新年度から山口佳三総長が就任されました。ご就任の抱負と決意の中で、「大学の法人化は、大学紛争でも変わらなかつた大学を大きく変化させ、各大学が個性的な教育、研究理念を掲げ独自の経営戦略を持つことが求められている」と述べておられます。

北大はクラーク博士の教えに基づく建学の精神を受け継ぎ、21世紀に大きく飛躍する決意を新たに、①フロンティア精神②全人教育③国際性の涵養④実学の重視を定めています。これらを実現するため、集団生活により自治の精神を体感し、正直な自分を素直に認め、不安や怒りの衝動をコントロールし、何よりも調和と協調を重んじ、窮地に陥っても精勵し、自ら樂觀的な考えを維持できる能力を養成する場として恵迪寮の存在はますます高まっております。旧恵迪の足跡を受け継ぎながらも、新時代にふさわしい伝統を創ってほしいと念じ、支援を惜しまぬものであります。



「清き國ぞとあこがれぬ」
の精神とともに歩む

北海道大学総長 山口 佳三氏

恵迪寮同窓会の皆様には、日頃から本学のためにご協力を賜り、心より御礼申し上げます。今年は例年より春の到来が遅く、まだまだ寒い札幌ですが、ようやくキャンパスの木々にも緑が芽吹いてまいりました。皆様、いかがお過ごしでございましたか。

先日、5月6日の放映を前にドキュメンタリードラマ「清き國ぞとあこがれぬ」ウィリアム・S・クラーク博士の魂を謳うの試写会に参加させていただきました。寮歌「都ぞ弥生」の誕生秘話を中心としたこのドラマで、クラーク精神がどのように当時の学生・寮生に受け継がれていたかが良く描かれておりました。このドラマによって、北海道大学に脈々と流れるクラーク精神が、「都ぞ弥生」にどう謳い込まれているかを再確認できるのではないのでしょうか。

このドラマが制作・放映されるに当たり、映像制作委員会のメンバーを初めとして、HBC、北大連合同窓会、北大の多くの皆さんの力が結集されたと伺っています。多くの現役北大生も出演しており、応援団、恵迪寮生の伝統もうかがい知れました。映像は札幌キャンパスの四季をふんだんに写し、北海道開拓の村にある旧恵迪寮での撮影を含め、北海道大学の良きキャンペーンをしていただけており

ます。DVD版も販売されるそうですので、皆様、是非ご覧ください。

私は、この4月より総長職を拝命しております。私は北大OBではございませんが、昭和53年（1978年）に京都大学での恩師が北海道大学理学部教授就任に伴って、いわば「付属物」として理学部助手に赴任しまして以来、この春で北大在職満35年を迎えました。

私が大学に入った頃は大学紛争の真ただ中でしたが、在学中、京大の三高寮歌「紅萌ゆる」が謳われているのを聴いたことがありますでした。その私にも「都ぞ弥生」には、鮮明な記憶がございます。それは、恩師とともに北大に赴任した直後の理学部数学教室の歓迎会の席でした。当時の教養部数学教室の先生方を含めて40名ほどのメンバーが、会のお開きに当たって、全員で肩を組み、「都ぞ弥生」を斉唱されたのです。その迫力には圧倒され、これも北大の伝統の力かと感心いたしました。

北海道大学の良き伝統の証しとして、「都ぞ弥生」がこれからも若い学生諸君に謳いつがれることを祈念しまして、私のご挨拶とさせていただきます。



「人の世の清き國」を 求め続ける

恵迪寮同窓会代表幹事

白浜 憲一

(S 40年入寮)

「都ぞ弥生」百年記念事業として制作されたドキュメンタリードラマ「清き國ぞとあこがれぬ」が5月6日にHBCテレビで放映され、DVDも完成し発売中である。制作の過程には、幾つもの壁があつたが、一つずつ乗越え映像作品として「都ぞ弥生」のメッセージを伝えることができた。恵迪寮同窓会及び北海道大学の宝の一つとして、多くの人に見ていただきたい。

日露戦争の勝利、第一次世界大戦前夜、大正デモクラシーの時代を生きた横山芳介が見た「人の世の清き國」北海道は、百年経った今、彼がイメージした通りの「国」になったのであろうか。また、この百年で私たちはより幸福になったのであろうか。

歌詞の「清き」と「人の世の」の二つの修飾語に照らして考察してみよう。

先ず「清い」は、国語辞典によると、①にがりがない。よごれがない。②純粹である。正しい。けがれがない。③気持ちがいい。さわやかなようす。の意味である。

近代科学の著しい進歩により、北海道は多大の便利と経済的豊かさを手に入れることができた。しかし、それには芳介が詠い上げた北海道の豊かな自然の破壊という犠牲を

伴っている。人間が生きてするために必要不可欠な水と空気、それを育む森林や河川の汚染の現状は深刻の度を増している。羊蹄山の湧水は、数十年前に降った雨や雪が浸透る過され「名水」として噴出する。

このような汚れがない水や澄んだ空気を数十年後に残すには、森林や河川などの自然を弛まず保護しなければならぬ。ましてや千年、万年の単位で放射能汚染の危険を内包する泊原発再稼働などは許されるものではない。様々な問題を抱えているが、人間と自然の共生の中に、正しい解決の道を探らねばならない。

世の中を動かす三つの力、即ち「人」、「モノ」、「お金」の対比の中で、芳介は迷わず「人の世の清き國」と言い切った。この百年は飽くなき利益追求を根源とする物質至上主義と金権主義が跋扈し、近代合理主義に基づく容赦のない要・不要の選別の連続であつた。

私達には、①人間の尊厳を守り人間らしく生きるとは、本当の「幸福」とは何かを真剣に考え直し、そしてまた、②数十年後の「人の世の清き北海道」の想像力を働かせて今を生きているということが求められている。



同窓会員に開かれた 支部活動を目指して

恵迪寮同窓会東日本支部長

坂倉 雅夫

(S44年入寮)

昨年から東日本支部長の大役を仰せつかっています。恵迪精神を受け継いだ大先輩達が綺羅星のごとく活躍されている東日本の支部長としては分相応ではありませんが、若さ(と言っても60代)を前面に押し出して新たな支部活動に取り組んで行きたいと思っています。

先ず昨年の活動概要を報告します。札幌で開かれた「都ぞ弥生」百年記念行事に先駆けて、横山芳介氏ゆかりの静岡市で5月19日、菩提寺である長源院での墓前祭、引き続き市内ホテルで記念寮歌祭を行いました。当日は横山芳介氏三女らご親族、赤木顕次氏のご遠縁、地元の同窓会員と旧制静岡高校関係者、本部役員ら総勢70余名が参加、まさに「都ぞ弥生」百年に相応しい記念行事でした。

6月9日、北大構内で開かれた百年記念祭にも篠原猛相談役、山中義正支部長(当時)ら役員総勢10名が駆けつけました。

一方、組織強化の目標である地域恵迪会立ち上げの第一弾として7月7日、仙台市で「仙台・東北恵迪会」の設立寮歌祭開催に漕ぎ着けました。また、当支部ならではの行事として「草刈り寮祭」を港区芝公園内にある札幌農学校の前身、開拓使仮学校跡地の石碑前で開催しました。毎年、

母校設立記念日の明治9年8月14日前後の吉日に石碑周辺の草刈りや清掃を行った後、「都ぞ弥生」を歌うという趣向です。今年は8月11日に実施する予定です。

東日本主管の大寮歌祭は10月6日、東京・恵比寿で開催しました。国立極地研究所長や南極観測隊長を務めた渡辺興亜先輩の開識社講演会に続き、総会と「都ぞ弥生」百年記念寮歌祭が、横山芳介氏ご親族、本部、関西支部、友誼校OBら90余名の参加の下、盛大に繰り広げられました。

さて、今年度の活動目標は、昨年の「仙台・東北恵迪会」に続き、第2、第3の地域恵迪会の設立です。主管年以外に実施している出張寮歌祭を10月6日、埼玉・大宮で開催。この準備、打合せと並行して地元の同窓生の方々と「埼玉恵迪会」の立ち上げを検討しているほか、隣県の茨城でも地元の若手役員を中心に、「茨城恵迪会」発足の機運が高まっています。

支部行事は広く会員に呼び掛けますので、各地域の皆さん!一緒に声高らかに寮歌を歌い、栄え行く我等が寮を誇ろうではありませんか。



このごろ考えること

恵迪寮同窓会西日本支部長

伊藤 靖久

(S 38年入寮)

全国の同窓生の皆様、つつがなくお過ごしのこととお慶び申し上げます。

大寮歌祭の当番を来年（平成26年）に控え、今年は比較的ゆったりと活動しております。

さて、我が西日本支部の動向としては、ほとんどの支部役員が北大関西同窓会の活動に参加し、二足のわらじを履きながら、元気に頑張っております。

一方、残念なことは昨年、元相談役の中野昭信君（S 22年入寮）の逝去に続き今年に入っても元西日本支部長阿澄昌夫君（S 22年入寮）が亡くなるなど相次いで重鎮二人を失いました。恵迪寮生ではありませんでしたが、北大同期の友人が相次いで物故。永劫の時の流れは尽きませんが、人の世の「命」の何と儚いことでしょうか。

組織は、若い命を得て続いていきます。『恵迪寮は永遠なり』、と言いたいところですが、危うい昨今です。若い人達が入ってこない。勧誘しようにも卒業生名簿がない。個人情報保護法の弱点です。そのくせ、国では個人に背番号を振ろうとしています。我々の組織を『限界集落』にしてはなりません。少しでも若者の目が向くように平成26年度の西日本大会に向け知恵を絞る必要があります。

さて、地域恵迪会の第一弾として3年前に発足した東海恵迪会は、大いに期待しているところですが、その後、支部との交流は思うように進んでおらず、いささか反省しています。

また、中国、四国地方にも少なからず寮歌を愛する同窓生が活躍されており、掘り起こしを図っていききたいと思えます。さらに、沖縄、九州にも同窓会の灯を点さなければなりません。

今、恵迪寮同窓会の課題は、若い方々を会に迎入れることです。しかし、最近の若者や壮年世代が置かれている労働社会環境は大変厳しく、我々の学生時代の頃とはまったく違ったものになっています。そこで、余裕ができた60代の同窓の方々が互いに連絡を取り合い、交歓の場をつくるうではありませんか。

寮を離れて幾星霜、恵迪の仲間は、語り合う場を求めています。西日本支部の先頭に立ち、気合いを入れて頑張っていくつもりです。



心は生涯「現寮生」

恵迪寮同窓会北海道支部長

内藤 春彦

(S 40年入寮)

今回思いがけなく北海道支部長をやれと声をかけられました。多くの先輩方の熱い姿を目にしてきたので、とんでもないと固辞しました。しかし、二つの百年記念行事を一生懸命担ってこられた諸兄を見ると、自分は寮に恩返しが出来ているのかと反省もさせられました。そして、体も動き、時間的にも余裕ももてる今、ここで働かなければ後悔やまれると思います、引き受けました。

北海道支部は役員30名で事務方をラルズ本部の佐藤静子さんに担っていただいております。今年は「寮歌歌始めの会」から始まり、北海道開拓の村の旧恵迪寮舎での献歌および昨年植林した桜の花見、現寮生観桜会での交流会、親睦ゴルフ大会、夏のビールパーティ、秋の大寮歌祭（北大のホームカミングデーと同日開催）、時計台ホールでの開識社講演会と恒例の行事が続きます。さらに道南、とかち、道北・旭川、日高・苫小牧、釧路・根室、オホーツクの各地域同窓会が寮歌祭や講演会を行っています。また支部ニュースは年2回発行の予定となっております。

北海道支部は恵迪寮の地元にあることから、現寮生との交流が大事になります。氏平増之先輩は同窓会への新規の会員の参加がほとんどないことに心を痛められ、絶えず現

寮生と連絡をとるよう尽力されました。そのお陰で今年は卒寮生から44名と例年にならない人数が同窓会の連絡リストに入ってくれました。この流れは大事にしていかなければなりません。

我々の世代は終戦子で、食糧難の中で育って来ました。脱脂粉乳の学校給食、修学旅行には米穀手帳を持参するなど食糧難の中で育ってきました。街には白衣、軍帽の傷痍軍人が立ち、どの家庭にも戦争犠牲者の遺影がありました。多かれ少なかれこんな生い立ちの人間が39、40年入寮組です。

時代によって、人によって寮生活が、その後の人生に与える影響は違うでしょうが、寮生OBの様々な人生を現寮生に見せ、「苔むす鐘の調べ聞け」と語ることは次の世代を担う後輩にとり決して無駄ではないでしょう。また年経た元寮生も、作家の佐川光明君の言うように「心の中では現役寮生」であり続け、寮歌を歌っていることでしょう。

恵迪寮が「時潮の波」にもまれながらもここまで連綿と続いてくるにつけては尊い犠牲もあつたことを思い起こし、ただ漫然と甘いノスタルジーに耽ることなく、死ぬまで「現寮生」として寮歌をよすがに北大の中核として次の百年に向って歩いていきましょう。自分も微力ながらその力になればと考えております。

「特集Ⅰ」ドキュメンタリードラマ「清き國ぞとあこがれぬ」

クラーク精神が紡ぎ出した珠玉の作品

〜ドラマ誕生までの秘話

藤田 正 一

(S 38年入寮)

全北大人の熱い思いから

それは、今は亡き奥田晋一君から転送されて来た一本のメールから始まった。恵迪寮同窓会では2012年の「都ぞ弥生」100年を記念してドキュメンタリードラマ映画「清き國ぞとあこがれぬ」を制作することを決定していた。しかし、本当に制作出来るかどうか、シナリオも無く、まだ海のものとも山のものとも定まっていなかった。奥田君は作成の事務局長役を自ら買って出る程、この事業を成功させたいと願っていた。元を正せば彼は恵迪寮OBではない。しかし、現役時代には応援団員として寮にしばしば出入りし、寮生以上に寮歌をはじめ「寮」的なものを愛していた。この話以前に、彼のたつての願いで、恵迪寮同窓会会員に加わっていただくことになり、会員として多くの活動に参加してもらっていた。彼の参加に寮OBの誰も異存はなかった。彼は即戦力、有能な行動の人であった。彼は

このドラマのシナリオライターとして現札幌ドームの社長、長沼修氏に白羽の矢を立てていた。長沼氏は昭和42年北大卒、元HBCの社長で、脚本作成の心得もあるこの道のプロである。奥田君は北大農学部農業経済学科卒で、長沼氏とは同門の後輩である。彼に何冊もの札幌農学校の精神や寮歌「都ぞ弥生」にまつわる本を運んでは、熱心に口説き落としにかかっていた。その何冊かは私が執筆したものであった。

奥田君から私に転送されて来た2011年8月11日付けのメールは、長沼氏からのメールで奥田君宛のものだった。「奥田さん、お盆をどうお過ごしですか。送っていただいた本を少しずつ読んでいます。藤田さんや氏平さん、諏訪さんなど懐かしい人がいっぱい。まったく私も同じ時代を生きました。さて、藤田さんの『クラーク魂』を読み、感銘を受けました。そこでシナリオは藤田さんに書いてもらうのが良いと考えます。一応映像の経験者として私もサイド

からお手伝い出来ると思います。クラークから始まる北大精神への理解、「都ぞ弥生」にかける熱い思い、藤田さんを置いてほかにないと思います。一度、藤田さんらに私を会わせてください。夜でも結構です」。おotto、大変なことになりそう。すぐに長沼氏にメールで、全面的に協力するが、シナリオ等を書いたことも無いので長沼さんにお願ひする他は無い旨、連絡。奥田君のセットアップによる会合を待った。これが私のこのドラマ作成への関わりの始めであつた。

不思議な縁の積み重ね

さて、これより先、私の身辺にはもう一つのドラマが進行中であつた。これも拙著『クラーク魂』が取り持つ縁であつた。2012年と言う年は新渡戸稲造生誕150周年にも当たる。その機に新渡戸に関する著書を執筆しようと、その前年の2011年に柴崎由紀氏と言う女性が北大を訪れた。彼女は鎌倉の「銀の鈴社」と言う出版社の経営者であつた。北大博物館等を見学したあと、私が自称校長として毎週火曜日夜、市民に提供している無料の公開講座「平成遠友夜学校」にインタビューに見えた。平成遠友夜学校は新渡戸稲造が札幌の貧しい者の子弟のために開設した「札幌遠友夜学校」にその名と精神を負っている。取材の帰路、氏は『クラーク魂』を買い求めたらしい。その中に私の米国留学のキッカケとなった本、加藤恭子著『青春に悔いなし』の記述があつた。お嬢様育ちの苦勞知らずの主



開拓村ロケで主役の二人と

人公が夫とともに米国留学し、住み込みメイドをする等、大変な苦勞をして自力で大学院を卒業、フランス留学まで果たす著者の実体験の物語である。「あの苦勞を俺もしてみたい」というのが私の米国留学へのきっかけになった。北大獣医学部を卒業してから渡米して、学部学生からやり直し、博士課程修了まで、その後の計11年を私はアメリカで過ごしたのだった。私に渡米を決意させたその本の著者、加藤恭子氏は柴崎氏の恩師で、彼女と今もお付き合いがあると言うお手紙を柴崎氏からいただいた。おお、忘れもしない四十数年前、桑園寮の寮友と回し読みしたあの本の著者に会えるかもしれない。一度、東京へ行った折に、加藤氏に連絡を試してみた。残念ながらそのときは、風邪をこじらせて臥せっており、お会い出来なかった。しかしお声は聞いた。その後、私の父が死に至る病気で床についていたこともあり、未だお会いする機会に恵まれていないのだが、この進行中のドラマに新たなびっくりが加わることになった。

奥田君から長沼氏との会合の連絡を待っている頃であったと思う。彼から一本の電話があった。「今、長沼さんのところに来ているのですが、ちょっと変わります」と言うことで、いきなり、電話の声は長沼氏になった。そこで明らかにになったことだが、何と、あの本の著者の加藤恭子氏は長沼氏のいとこだと言うのだ。不思議な巡り合わせである。

そんなドラマを目撃した奥田君が、私があの本を探して

いることを知って、インターネットで「日本の古本屋」のサイトに売っていると教えてくれた。サイトを開くともう売れてしまっていた。がっかりして彼に告げると「買ったのは私です。プレゼントします」といつてくれた。奥田君の手に届いたその本には何と、加藤恭子氏の弟さんが知人にこの本を送った時のサインが入っていた。このことを知った加藤恭子氏から「是非、亡き弟の筆跡の残るその本と替えていただきたい」というお手紙と彼女の所蔵する『青春に悔いなし』が届いた。勿論、替えて差し上げた。

援農で制作資金捻出

この頃、恵迪寮同窓会北海道支部長の氏平増之君が、「制作費の捻出に寄付集めと言うことになる」と、『記念事業の寄付の上にまた寄付集めか』と言うことになりはしないか。いい方法が無いかと考えたんだが、援農をしようかと思ふんだ。JAに登録すれば、出面の仕事がある。これを皆でやってみようか。まず俺たちがヤルベエ」との誘いを受けた。この年は酷暑で、大変な時期であった。もっと大出らしいホワイトカラーの仕事があるだろうに、その案のあまりの泥臭さに驚嘆して、「それはいい考えだ」と即、同意した。登録したら早速出面の仕事 came。南瓜畑の草取り。時給700円。出かけたが相当にきつい。炎天下に腰をかがめて地面に這いつくばるような格好を一日8時間。さすがの氏平君も大変だったと見えて、何やら考えがあると云う。ついに行ったのは、北大北キャンパスの産学

協働研究施設の一室。そこで氏平君の求めに応じて、元工学部の教員が大リーガー養成ギブスみたいな作業補助装置を貸してくれた。これを装着すると楽だと言う。次からは2人でサイボーグみたいな格好で草むしりをした。農家の人もさぞ驚いただろう。氏平君は農家の人にこの装置を宣伝していた。「使ってみたいなら紹介しますよ」。氏平君には秘密だが、最後の日に、私はこのサイボーグをしなかった。この日の職場は彼と違う農場だったのだ。サイボーグを馬鹿にしたのがたつて、腰痛で1週間程入院することになった。思い出すと今でも笑ってしまうが、まじめに痛かった。

長沼氏との会合は、その頃まだ時計台の裏にあった「北地蔵」という趣のある喫茶店で行われた。長沼氏もほぼ執筆の覚悟を決めていたと見えて、シナリオのドラフトを持参していた。私が背景となる精神を織り込んだナレーションを追加すればなんとか格好になりそうなシナリオの原案であった。とは言え、横山の憧れた「清き國」の清き精神とは、また、クラーク博士の「貴き野心の訓え」とはどんなものだったのか。それを、ドラマ部分と関連を保ちつつ、限られた時間内に話せるように入れ込まなければならぬのだ。それから1年半、ドラマの撮影に入ってもメールでシナリオのやり取りは続いた。長沼氏が悩むドラマ部分に私の提案で新たなドラマを加えることも、私が書いたナレーション部分に長沼氏が手を加えることもあった。さながら、「都ぞ弥生」作詞者横山芳介と作曲者赤木颯次がお互

いに注文を付けあいながら作詩と作曲が同時進行したように、私たちのシナリオ作りも進行した。「映画を作ろう」と最初に言い出した白浜憲一代表幹事にシナリオの粗稿を送った。「最初にシナリオを見た時は鳥肌が立った」と新聞社のインタビュアーで言っていた。そうだったのか、良かった。

ナレーションの竹下景子も感涙

このシナリオを引き締めているものは、卒業後、静岡県の小作官となつて貧農の方々のために献身した横山芳介の生き様を語る、ひとりの女性の手記のナレーションである。それは芳介が引き取つて育てた身寄りの無い女の子、大石（河田）由紀恵が成人した後記に記した彼女の感謝の気持ちであった。長沼氏が手記を横山に対する謝恩の手紙風にアレンジした。更に、その他の部分のナレーションも男の声と女の声を巧みに使いわけてドラマを進行させるようにした。さすがにプロである。しかも、彼はその女性ナレーターに竹下景子を起用したいと言う。何かの機会に弔辞を読む彼女の声を聞いて、「これだ」と思ったと言うのだ。HBC側も利潤を度外視、シナリオ書きも勿論ボランティア、横山芳介や赤木颯次もボランティア学生を採用して制作費をぎりぎりに詰めている現状下では高額な謝礼を出すことは出来ない。やつてくれるだろうか。シナリオがほぼ完成した頃、長沼氏はそれを竹下景子に送って、些少な額であるが、これしか出せない。やつていただけるか、とお願いし

たのだ。「喜んでやらせていただきます」と言う返事をいただいたときには一同耳を疑ったものである。こうして要(かなめ)は決まった。彼女のナレーション収録時には、長沼氏も東京に向いて指揮をした。竹下景子はナレーションの最後の下りでは実際に涙ぐんでいたようだ。彼女は東京女子大出身であると言う。札幌農学校の精神に育まれた新渡戸稲造が初代学長を務めた学校を出た彼女には、我々と同じ感受性が植え付けられていたのかもしれない。

役者揃いの現寮生 横山、赤木役を熱演

さて、横山や赤木をどうするか。演劇部と言う考えもあった。が、私には第100代・101代応援団長を務めた小倉隼矢君が頭にあった。応援団百年記念の彼の挑戦状を読む姿を覚えていた。なかなかの役者である。顔もいい。ついでに、このドラマには実在しなかった山田と言う学生が登場する。ひょうきんな、狂言回しの役どころだ。これには同じ応援団の北沢毅君がびたりだと思った。7大戦の応援団による開会式でもしろおかしく司会役を務めてクラーク会館を埋め尽くした聴衆を引きつけた男である。長沼氏はいえ、札幌ドームで行われた大学野球の試合の応援に来ていた北大応援吹奏団の中西博宣君に目を留めた。顔立ちといい、眼鏡の形といい、「赤木頭次がそこに居る」と思ったと言うのだ。かくして、一般オーディションを待つまでもなく役者候補が決まった。長沼氏も彼らに会いたいと言うので、奥田君の計らいで、義経で彼らに一杯

飲ませて、一種の面接をした。元気な連中であつた。採用するかどうかは映画監督の早川氏に一任することとなった。後日、農場のどこかでオーディションを行って、彼らには使えそうだと言うことになった。良かった。応援団は2011年で第100代を迎えたが、最初の年、1912年(明治45)が第1代なので、2012年は第101代、結団からは百年目となる。「都ぞ弥生」百年の記念ドラマに、寮歌とは切っても切れない縁を持つ第100代応援団を出演させたい。私だけの隠れたロマン(エゴ)がここにあつた。すまん。

9月、HBCフレックスで衣装合わせがあつた。横山役の小倉君が袴をさつさと着るので衣装担当のお姉さんが「助かった」と声を上げた。「さすが応援団長、なるほどね」と言うことであつた。マントの着方は私が教えた。ふんどしの仕方はさすが寮生、お手の物であつた。予科の帽子は言わずと知れた白線が三本の丸帽。と、思いきや、実は横山の入学の頃は、白線が無い丸帽を着用していたらしい。白線着用は数年あとの慣習であると言う。しかし、ここはなじみの深い白線帽にした。その方が映像的にもしまるだろう。史実とえば、この時の有島武郎にはヒゲが無かったようなのである。結婚直前の有島の写真にはヒゲが無い。しかし、有島役の俳優さん、ヒゲをつけた方がぐつと有島らしくなる。これも、「らしい」方をとることにした。その他、時代に合わないこともあるかもしれないが、ドラマと言うことで勘弁していただきたい。

完成直前に奥田晋一君が急逝

私が最初に撮影に立ち会ったのは紅葉の頃だった。キャンパスは秋の風情が実に美しく、いい映像が撮れたと思う。この日、奥田君から、彼ががんの宣告を受けたことを聞いた。腹膜に転移しており、手術も不可能で余命数か月と言われたという。何たるショック。しかし本人は元気だった。死ぬ気がしないと云っていた。彼はしばらく迷ったが、抗がん剤を使わない食事療法を試みることにした。たしかに、



「都ぞ弥生」CDの袋詰めをするありし日の奥田君

抗がん剤は身体をぼろぼろにしてしまう。楽な治療ではない。食事療法にも一理ある。同じ数か月を抗がん剤で副作用に苦しみながら過ごすか、食事療法にかけるか。難しい選択である。

撮影は順調に進んだ。が、ふと気になることに思いが至った。ドラマに私が挿入した「窓シヨン」のシーンである。今の寮は鉄筋で窓の作りが違う。「窓シヨン」の仕方が伝承されているだろうか。答えはNOであった。しからば実地指導しかあるまい。老骨にむち打ち、撮影現場の「開拓の村」恵迪寮に赴き、窓から全身を外に乗り出す伝統的かつ正統の「窓シヨン」を実演して教えた。やらかすのは言わずと知れたひょうきんものの山田（北沢君）。「ちょっと怖いっすね」といいながらもすぐになれて、堂々の窓シヨンぶりであった。

最後の撮影は2013年2月21日。場面も「都ぞ弥生」歌詞最後の一節を書き終え、「出来たぞー」と喜びのあまりふんどし一つで窓から雪の上に飛び込むシーン。この日は午前中まで大雪で、おあつらえ向きのふわふわ雪がたっぷり積もっていた。朝の陽射しを夕日でごまかす手法で、夕方、酷寒の中、彼らは飛び込んだ。しかも、2回。熱演であった。この日撮した写真をプリントアウトし、翌日、奥田君の病床を訪ね、撮影がクランクアップしたことを伝えた。彼は嬉しそうに写真を見ていた。それから一週間後、あれほど望んだ映画の完成を見ずにかれは逝ってしまった。それが悔やまれてならない。彼の葬儀が終わって、いよいよ出棺の時、長沼氏が見送りの人々に向かって、「奥田君が本当に熱心に進めていたドラマだった。完成を見ないで逝ってしまったことは誠に残念である。制作者一同はこれを奥田君に捧げたいと言う気持ちで、これから最後の仕上げにかかる。5月6日午前9時55分からの一時間番組で

ある。是非見てほしい」と挨拶してくれた。奥田君の冥福を祈る。

このドラマ作成の裏にはまだまだドラマがあった。資金面で話が立ち消えになりそうなこともあった。白浜代表幹事のリーダーシップの下、資金調達に皆が奔走した。勿論奥田君も。興味を示してくれる企業に、大学に、手分けして掛け合った。さらに横山会長にまでお出まし願って、北大連合同窓会長の数土氏や総長にも掛け合っていた。映像作成委員長だった佐藤市雄氏は「都ぞ弥生」百年記念式典の記録映像を作ったが、映画作成の下準備も着々と進めてくれた。目立つことはしないが、必要なことを確実に的確にこなす彼の姿勢に尊敬の念を覚えた。また、北大本部広報課の平林氏には映像作成委員会にも出席してもらい、様々な助言や協力をいただいた。中でも、クラ館に恵迪寮同窓会映像作成準備室を用意していただいたことで、会合や準備作業に大きな助けとなった。また、北大図書館での古い資料の撮影も図書館スタッフの皆さんに非常に気持ちよく協力いただいたとのことである。HBCのスタッフ、及びHBCフレックスの皆さん、そして、映画監督・早川渉氏のグループの皆さんがそれぞれに当時のことや撮影の準備をしてくださった。有島武郎役の俳優の方には、有島の台詞の出典を質問された。背景をよく知りたいと言うことであった。時間にしたらほんの僅かな出番であるのに、その数行の台詞にも真剣に取り組むプロの姿を見

た。男性のナレーターは北大出身の近藤肇アナウンサーであった。録音に立ち会ったが、北大のドラマと言うことで、相当に力が入っていた。奥田氏をはじめ、このような多くの方々の献身的な努力のおかげでドキュメンタリードラマ「清き國ぞとあこがれぬ」は実現にこぎ着けたのである。諸氏の献身的な協力と努力に、いいドラマの完成を願う者の一人として感謝したい。

ドキュメンタリードラマ『清き國ぞとあこがれぬ』の作成を通して私が見たものは、「金銭や私利私欲の充足ではなく、人が名声と呼ぶようなはかないものに対してでもなく、知識や正義、また、世の人々の向上のために、そして己の人格の完成のために、高い志を抱け」というクラーク博士の「貴き野心の訓え」、そして、そこに流れる弱者の側に立つ優しい視線を「人の世の清き國」の精神として憧れた、横山芳介ら当時の北大生達の、立身出世に背を向けた生き様に限らない敬意と心からの賞賛の念を抱く者達によるドラマ作成であった。願わくばこの清き精神が、このドラマを演じた若者を含め、広く現在の若者達に理解され、受け継がれんことを。それが亡き奥田君の願いでもあった。

(元北海道大学副学長)

ドラマパートの撮影を終えて

映画監督 早川 渉氏
(S 58年入学)

映画監督という仕事は、しばしばオーケストラの指揮者や、フルコースのディナーを提供するレストランのシェフに例えられる。大勢のスタッフを指揮しながら壮麗なイメージを紡ぎだし、大きなストーリーを描く。様々な素材を組み合わせながらそのハーモニーを引き出し、客を魅了する。映画監督や指揮者、シェフに最も必要な能力は細かな技術力ではなく、イメージを紡ぎ出し多くのスタッフと共有することができる想像力とコミュニケーション能力。

そして、様々な素材の良さを見抜く五感の鋭さだろう。

さて、今回の番組における私の立場は「ドラマパートの監督」である。

ドキュメンタリーパートと全体の仕上げは別の演出家が担当し、番組全体の最終編集権も私には無い。ドラマパートを撮影し、編集した素材を提出すれば業務完了となる。となると、いつものようなオーケストラやフルコースの世界とは少し勝手が違う。私が今回こだわったのは「美しい旋律」や「華麗なストーリー」ではなく、「素材の持つ強さ」と「本物の力」ということであつた。

監督冥利に尽きたシナリオと役者の良さ

主人公の横山芳介を演じた小倉くん、赤木顕次役の中西くん、コメディリリーフ役である山田を演じた北沢くん、彼らと初めて会ったのは昨年の4月25日、クラ館裏の「義経」だったと記憶している。丁度彼らが所属している農学部農業土木の送別会が別室で開催されており、とても賑やかな雰囲気の中、私は少し緊張していた。そしてかなり不安だった……ということをおこう(笑)。そりゃ！そうだ。演技経験が全くない現役生をテレビで放送される番組の主役に据えようって言うんだから!!……姿を現した3人もまた、少し緊張した面持ちであつたが、応援団恒例の自己紹介をし、いろいろと話をしていくうちに段々と私も彼らもリラックスしてきたようである。この時は宴席ということもあり、ドラマの内容や普段の生活のことなどをサラッと話した程度。改めて、週末に私が恵迪寮を訪れ簡単な演技テストをすることになった。

「抜群に素材は良いな……」この日私が感じた、3人の印象である。

かくして、ドラマパートはこの3人を中心に動き始めることになった。磨き甲斐のあるピカピカの原石である。見た目もそっくりな中西君は赤木役に即決定。現存している学生時代の写真からすると、横山役には北沢くんが良かったと思っていたが、いざ演技を見てみると小倉くんのナイーブな演技が横山のイメージとピタツとはまり小倉くんが横山役に決定。北沢くんはその快活なキャラクターのまま山田を演じてもらうことにした。

最初の撮影は、応援団の活動が一段落した8月31日、藻岩山に登り早朝のご来光を眺めるシーンであった。深夜3時から麓の慈恵大病院口から登った。出演の3人以外、スタッフは監督、カメラマン、助手、ビデオエンジニア、衣装担当の5名。最少人数でのクランクインである。その昔、横山たちが登ったように学生たちは学生服に下駄履き、ランタンを手に登り、それを我々が撮影する。ただそれだけ、特別な演出は無し。本物を再現しそれを無骨に撮る……天も味方してくれた。雲ひとつ無い快晴の夜明け。朝日に照らされた3人の姿は、明治45年の恵迪寮生そのものに見えた。余談であるが、撮影の数日前から藻岩山近辺にヒグマの出没情報があった。そして、撮影が終わり下山した31日朝6時過ぎ、ついに藻岩山登山道はすべて立ち入り禁止となった。快晴の天気といい、ギリギリ切り抜けたクマ騒動といい、こんな運の良さに遭遇するとき、作品は必ず成功する。

天、地（とき）人に恵まれた撮影

秋に入り、撮影は本格化する。

時計台、開拓記念館に展示中された大正時代の列車、開拓の村の日本家屋、そして、開拓の村の恵迪寮。どれも明治から大正の香りをそのまま残した本物のロケセットである。こういった本物のセットに囲まれると不思議なもので、役者がよりいっそう本物らしくなっていく。原石であった3人はこうして磨かれながら段々と役者の顔になっていった。

撮影最終日は本年2月21日。早朝から降り続く大雪で市内の交通が完全に麻痺し、撮影開始が大幅に遅れる事態となった。しかしこの大雪も撮影開始頃には止み、積もったばかりのパウダースノーにまみれながら演技をする3人の姿は、これぞ青春！といった輝きを放っていた。

これほど人に恵まれ、天に恵まれ、時に恵まれた撮影はなかなか無い。魅力的な素材と歴史を生き抜いた本物の舞台。監督として至福の一年間であった。



芳介役の小倉君を指導する早川監督（左側）

「清き國ぞとあこがれぬ」 を観て想うこと

和 孝雄

(S32年入寮)

ようやく春らしい日差しと温もりを感じるようになりました。お変わりなくご清栄にお過ごしのことと思います。二年前から準備した「都ぞ弥生百年記念事業」もひとまず一段落、本当にご苦勞様でした。

事業締めくくりの「清き國ぞとあこがれぬ」も精魂こめられただけあって、とてもいいものが出来上がったと、その成功を慶ぶとともに、制作の中心となった皆様のご努力に敬意を表したいと思います。

テレビの映像を観ながら、自分自身が寮生活を送っていた頃のことかふつふつと思い起こされ、感慨深い一時間を過ごし、その後も暫く、あれこれと余韻を楽しみました。また、僕が北大へ来るきっかけとなった『北海道の青春』（北大B・B・A会編、1957年刊）が重なり、懐かしく熱いものがこみあげてくるのを覚えました。

同書は、戦後、各大学の画一化が進み、それぞれの大学の特徴が失われつつあった中で、いま一度、クラーク精神（「自由」「独立」「大志」の気風）を培おうとする当時の若き執筆者（学生）たちによって編纂されたものです。この一冊は、受験を控え東京で悶々とした生活を送っていた僕を強く惹きつけ、止むにやまれず、奄美在の両親に受験校の変更を相談、年老いた両親から「また遠く離れることに

なるが、新天地の北海道で大きく羽ばたけ」との励ましを得て、勇んで北大へやってきたという、僕にとって大切な書物となっています。

このたび制作された「清き國ぞー」も、きっと多くの学生に新たな気概を生むきっかけを与えとともに、これを広く提供することにより、全国から「ロフティ・アンビション」に憧れる夢多き若人が集まってくることを予感させ、期待させるものであります。この作品が皆さんの想い、ご苦勞に応えるためにも広く活用されていくことを願わずにはおれません。

また一方、5月6日の放映を前に、知人20名ほどに宣伝チラシを郵送したのですが、これに多くの方々から手紙や電話で反応があり、「映像、景色がとてもきれいだった」「出演者も初々しく好感が持てた」などの感想のほか、「『都ぞ弥生』作詞・作曲者の完成までのいきさつを知り感銘を受けた」「札幌農学校以来の伝統が、寮生そして北大に連綿と引き継がれていることに深い感動を覚えた」等々。寮関係者以外の方々（僕の妻の友人など）からも有難い評価をいただき、実行委員として、多少なりとも制作に関わった僕にとっても、これはとても嬉しい反応でした。

「都ぞ弥生」百年記念事業の一応の終了に当たり、その成功を慶ぶとともに、活動の中心となられた皆様に改めて敬意を表し、関係者の一人として厚く御礼申し上げたいと思います。

ドキュメンタリードラマ「清き國ぞとあこがれぬ」

DVD 好評発売中！ ～相次ぐ 感動の声

ドキュメンタリードラマ「清き國ぞとあこがれぬ」が5月6日（月、祝）、北海道放送（HBC）で放映されました。全国放送ではないのが残念でしたが、午前の時間帯としては高視聴率で、反響も上々でした。DVDは、CM抜き、7分間の特典映像付きで6月1日から発売されています。

以下はテレビを観た方々から HBC や同窓会事務局に寄せられた感想です

「こんなドラマができるとは思っていませんでした。恵迪寮生だったことを今は幸せに思っています」（S 25 年入寮生）

「今一度このドラマを通して、人としての生き方そして北大生の生き方を学ぶことができ、私も励まされました」（主婦、67 歳）

「ドラマを通して「都ぞ弥生」が生まれた当時の時代背景を知り、横山芳介氏の生き方に感動しました。また、100 年にわたる寮歌づくりに対する恵迪寮生の熱い思いを知ることができました」（北大職員、50 代）

「北海道の四季、ひいては自然の素晴らしさ、北大の良き画面の美しさなど素晴らしかった。大学の宣伝効果としては十二分以上にあり、色々使える」（会社役員、62 歳）

「とても面白かったです。ドラマというよりも寮の歴史や伝統、そして精神の紹介みたいで寮生の自分としても興味深いものだった」（H 24 入寮生、男子）

「適切な構成で、かつ要旨がわかりやすく伝えられていました。関係者の方々のご努力に心から敬意を表します」（北大元教員）

〈お申込み方法〉 同封の振り込み用紙で、1 本に付き 3000 円をお払い込みください。

〈お問い合わせ〉 TEL 011-530-1186 メール info@keiteki-ob.jp

〈販売店〉 北大生協、エルムの森ショップ、全国の紀伊國屋書店



「都ぞ弥生」における不易流行

金 武 彦
(S 37年入寮)

◆ プロローグ

寮歌は、原譜をオリジナルとしています。歌いつないでいく間に、歌いやすいメロディに変化する場合もあります。「都ぞ弥生」は、誕生から校訂に到るまでに十数種類の楽譜が登場するようです。三大寮歌と称讃される名寮歌が、時代とともにメロディ・リズムが変化するというのも不思議な話です。

◆ メロディ・リズムの変遷

資料1をご覧ください。平成19年、恵迪寮百年記念事業として寮歌CD制作が企画され、その吹き込み依頼が北大合唱団OB会にありました。恵迪寮OBの一人として楽譜・歌詞確認に係わったことを契機に、数名の北大先輩から各時代における「都ぞ弥生」の楽譜を頂戴しました。当時の最古の楽譜は、大正8年寮歌集に掲載されたものでした。この間、大正8年、昭和4年、12年、16年、39年、そして昭和51年校訂版への変化を調べておりましたので、その報告から致します。尚、一〇四行詞には歌いやすさへの変化

以外に大差ありませんので、五〇八行詞の楽譜を掲載します。比較するため、数字譜は五線譜化しました。

〔大正8年版〕／五行詞〔夢こそ〕〔青き〕、六行詞〔燃えなん〕〔おもい〕、七行詞〔星影〕は、4分休符から始まりります。リズムは4分の2拍子です。

〔昭和4年版〕／五行詞〔ひとと〕、六行詞〔わがむ〕、七行詞〔ひかれ〕を同じ〔ラーラ・ドー〕とし、かつ八行詞〔清き國〕以降を現在に繋がるメロディに変更しています。

〔昭和12年版〕／寮歌集を五線譜化したのは、「魂の故郷」作曲、「春未だ浅き」作歌の平城鷹雄氏です。七行詞〔に、ひか〕が、これまでにないリズムです。後ほどご説明しますが、これが初版譜のリズムなのです。

〔昭和16年版〕／2拍子を4拍子に変更しました。〔夢こそ〕〔燃えなん〕〔星影〕は2分休符から始まり、現在に繋がるリズム〔タータ、タン、ター・アンⅡ4拍〕に変更しました。その他にも、調整を加えています。

〔昭和39年版〕／4分の2拍子に戻し、五〇七行詞のリズムを〔4・4・3・3〕拍に変更しています。

〔昭和51年版〕／川越守氏は、昭和39年版の五、七行詞の4分休符を省き、五、七行詞を正拍から始まる〔4・4・3・3〕拍に校訂しました。

◆ 初版数字譜

資料2をご覧下さい。文武会会報第六十六号(明治45年)に掲載されていた、「都ぞ彌生」の初版数字譜です。「都ぞ彌生」百年記念事業として北大新人生にCD「都ぞ彌生」をプレゼントする企画があり、吹き込みのための合唱隊長にご指名いただきました。その収録前に立ち寄った、北大附属図書館での発見でした。

大正8年版との相異は二点あります。①初版譜、五行詞〔夢こそ〕〔青き〕、六行詞〔燃えなん〕〔想いを〕、七行詞〔星影〕における冒頭の〔0〕の位置が、驚く程つぎの付点8分音符に接近していること、②七行詞〔に、ひか〕のリズムが大正8年版では〔ターン／タータ〕なのに、〔ター／ターン〕とシンコペーションになっていることです。

両者とも、一、二行詞は弱起で始まること、三、四行詞の始まりが少し右にずれていること、五、六行詞は前半・後半に分け大きく右に寄ることなど、疑問の多い記譜法であることは同一です。

明治40、44年寮歌の数字譜を調べてみますと、いずれも七五調、六行詞、4分の2拍子で、各行の書き出しはタテが揃っています。頭次が作曲した、大正3年「我が運命こそ」(作歌／樋口桜吾)も、しっかりタテが揃っています。八七調、八行詞、4分の2拍子の「都ぞ彌生」を、何故こ

《資料1》「都ぞ彌生」メロディ・リズムの変遷

	<5行詞>	<6行詞>
大正8年		
昭和4年		
昭和12年		
昭和16年		
昭和39年		
昭和51年(校訂版)		
	<7行詞>	<8行詞>
大正8年		
昭和4年		
昭和12年		
昭和16年		
昭和39年		
昭和51年(校訂版)		

◆ 垂涎のSPレコード
昨年4月、昭和5年 日本コロンビア蓄音機(株)制作、東北帝国大学農科大学文武会音楽部吹き込みのSPレコードを入手しました。その歌唱は、昭和4年版の五く七行詞の4分休符を全て削除し、朗々たる3拍子で歌っているのです。

垂涎のSSDレポート

昨年4月、昭和5年 日本コンビア蓄音機(株)制作、東北帝国大学農科大学文武会音楽部吹き込みのSPレコードを入手しました。その歌唱は、昭和4年版の五〃七行詞の4分休符を全て削除し、朗々たる3拍子で歌っているのです。

文武会音楽部の六名に「黒潮鳴れる」作曲の森忠文氏もおられ、恵迪寮幹部とも充分なる打ち合わせを行っているようですから、当時の学生・寮生は3拍子で歌っていたことが窺い知れます。

考察 I

資料3をご覧下さい。初版数字譜を、そのままタテ揃いで書き直してみました。お気づきになられたと存じます。頭次は4分の2拍子の数字譜において、途中変調する場合の記譜法を、「0」で挟むものと考えていたのではないのでしょうか。七行詞は4小節になっていますが、前半・後半に分けますと、2小節2段にすることも出来ます。そのようにしなかった理由は、真骨頂である「ひ・かー」のシンコーションを2段で記譜しますと勢いが殺がれると感じたためで、少し長くはなるが1行で記譜したのだと思います。また、結びの八行詞「五七五」を2段に分けたのは、「八七」より音律が多いために存じます。

《資料 2》 初版数字譜

二長組 2/W	1	2	3	4	5	6	7
A 1行側	1.3 -- ミヤコ	5.5 -- コザ	6.5 -- ヨ	3.3 -- ミ	1.3 -- ノ	5.5 -- カ	5.0 -- ミ
B 2行側	1.3 -- ミ	5.5 -- カ	6.5 -- ミ	3.3 -- ノ	2.1 -- カ	1.4 -- ミ	3.2 -- ミ
C 3行側	6.6 -- ツ	6.6 -- キ	6.6 -- セ	1.1 -- サ	1.1 -- リ	2.1 -- コ	6.5 -- キ
D 4行側	6.6 -- ツ	6.6 -- キ	6.6 -- セ	1.1 -- サ	6.5 -- リ	3.2 -- コ	1.2 -- キ
E 5行側前半	0.1 -- ユ	3.5 -- ミ	5.5 -- ソ	6.1 -- ビ	1.1 -- ト	1.1 -- キ	0
F 5行側後半	0.2 -- ア	1.5 -- サ	6.6 -- キ	3.5 -- シ	5.5 -- ゲ	5.5 -- ミ	0
G 6行側前半	0.1 -- キ	3.5 -- エ	5.5 -- ナ	6.1 -- ン	1.1 -- ワ	1.1 -- ダ	0
H 6行側後半	0.6 -- マ	5.5 -- キ	3.1 -- ミ	2.3 -- ノ	1.1 -- カ	1.1 -- ミ	0
I 7行側	0.1 -- カ	1.1 -- シ	1.1 -- ゲ	2.3 -- サ	5.5 -- カ	6.6 -- ニ	0
J 8行側前半	5.5 -- ミ	5.5 -- カ	5.5 -- ミ	5.0 -- ノ			
J 8行側後半	6.6 -- キ	5.5 -- ミ	3.2 -- コ	3.2 -- ミ	3.2 -- ノ	1.0 -- ミ	

に転調 2/4 「都 ぞ 獨 生」

$\frac{1}{2} \frac{2}{2} | \frac{3}{2} \frac{3}{2} \frac{3}{2} \frac{3}{2} | \frac{2}{2} \frac{2}{2} \frac{1}{2} \frac{2}{2} | \frac{3}{2} \frac{3}{2} \frac{3}{2} \frac{3}{2} | \frac{3}{2} \frac{3}{2} |$
ハ ナ ノ コ マ イ カ フ ウ タ ザ ノ ム レ ヨ

$\frac{1}{2} \frac{2}{2} | \frac{3}{2} \frac{3}{2} \frac{3}{2} \frac{3}{2} | \frac{2}{2} \frac{2}{2} \frac{2}{2} | \frac{3}{2} \frac{2}{2} \frac{1}{2} | 1 \ 0 |$
ハ ナ ノ コ マ イ カ フ ウ タ ザ ノ ム レ ヨ

$\frac{3}{2} \frac{3}{2} \frac{3}{2} \frac{3}{2} | \frac{1}{2} \frac{1}{2} \frac{1}{2} \frac{1}{2} | \frac{1}{2} \frac{1}{2} \frac{3}{2} \frac{3}{2} | \frac{3}{2} \frac{3}{2} \frac{3}{2} \frac{3}{2} |$
サ キ ヨ ヨ ヨ カ フ シ ム カ タ レ ト イ ヨ

$\frac{3}{2} \frac{3}{2} \frac{3}{2} \frac{3}{2} | \frac{1}{2} \frac{1}{2} \frac{3}{2} \frac{3}{2} | \frac{3}{2} \frac{3}{2} \frac{2}{2} \frac{1}{2} | \frac{2}{2} \frac{2}{2} \frac{1}{2} \frac{3}{2} |$
ソ イ ハ ル タ レ サ ハ カ マ ヨ マ イ カ ノ

$0 \frac{1}{2} \frac{2}{2} | 1 \quad 1 \quad | \frac{3}{2} \frac{1}{2} \frac{1}{2} | \frac{1}{2} \frac{3}{2} |$
ハ ナ ヨ ヨ ヨ シ ト ト ヨ

$0 \frac{1}{2} \frac{1}{2} | 1 \quad 1 \quad | \frac{3}{2} \frac{3}{2} \frac{3}{2} | 1 \ 0 |$
サ サ ヨ ヨ ヨ ヨ ヨ

$0 \frac{1}{2} \frac{3}{2} | 1 \quad 1 \quad | \frac{3}{2} \frac{1}{2} \frac{1}{2} | \frac{1}{2} \frac{3}{2} |$
ハ ヨ ヨ ヨ ヨ ヨ

$0 \frac{3}{2} \frac{3}{2} | 1 \quad 1 \quad | \frac{2}{2} \frac{2}{2} \frac{1}{2} | 1 \ 0 |$
サ ヨ ヨ ヨ ヨ ヨ

$0 \frac{1}{2} \frac{1}{2} | 1 \ 1 \ 1 \ 1 | \frac{3}{2} \frac{3}{2} \frac{3}{2} | 1 \ 0 |$
ハ ハ ハ ハ ハ ハ ハ ハ ハ

$\frac{3}{2} \frac{3}{2} \frac{3}{2} \frac{3}{2} | 1 \ 0 |$
ハ ハ ハ ハ

$\frac{3}{2} \frac{3}{2} \frac{3}{2} \frac{1}{2} | \frac{2}{2} \frac{2}{2} \frac{3}{2} | \frac{2}{2} \frac{2}{2} \frac{1}{2} | 1 \ 0 |$
ハ ヨ ヨ ヨ ハ ハ ハ ハ ハ

一、二行詞の弱起には、三、四行詞とは違う想い入れがあったのでしよう。五々七行詞の3拍子は、飛び切り斬新なリズムでした。革新的音楽技法を取り入れた優雅なメロディは、今も歌う者のこころを魅了しています。

◆ 考察Ⅱ

明治から昭和十年頃まで、楽譜としては数字譜が一般的でした。頭次が編み出した正しくない記譜法により、初めての寮歌集〔青史では大正5年〕制作の際、五々七行詞の〔0〕を4分休符とする版が生まれ、以降数字譜を理解する後輩達を混乱に誘います。しかし学生・寮生は、楽譜の混乱とは関係なく、少なくとも昭和一桁末まで12小節を通して3拍子で歌っていたようです。楽譜は3拍子に4拍子を組み合わせた編曲に変遷し、歌唱もそのリズムに同化されていったようです。この間、十数名の歴代アンタッチャブルが、歌いやすいメロディに改善してくださいました。

資料4をご覧ください。メロディは校訂版、五々七行詞のリズムは頭次が欲した4分の3拍子とする、資料3のカイゼン版です。一、二行詞に弱起の味わい、七行詞にシンコペーションというキラメキを欠きますが、金原善和氏の忠告を聞き入れていますと、基本形はこのような数字譜になっていたかと推測します。それを五線譜化したものが、資料5です。

余話／昭和4年版で「ひとと」「わがむ」「ひかれ」を「ラー・ドー」から「ラーラ・ドー」に下げましたが、昭和16年版で前2箇所は戻し、「ひかれ」を残していました。「都

《資料5》「都ぞ弥生」の不易流行

Maestoso 「都ぞ弥生」 作歌 横山芳介君 作曲 赤木龍次君

《資料4》初版数字譜の謎解き

二長調 2/4	1	2	3	4	5	6	7
A 1行詞	1. 3 5 5	6. 5 3 2	1. 3 5 5	5. 6 5 5			
B 2行詞	1. 3 5 5	6. 5 3 3	2. 1 3 3	2. 2 1 5			
C 3行詞	6. 6 6 5	1. 1 1 1	2. 1 6 5	3. 5 5 5			
D 4行詞	6. 6 6 5	1. 1 6 5	6. 5 3 1	2. 2 1 5			
二長調 3/4							
E 5行詞前半	1. 3 5 5	6. 1 1 1					
F 5行詞後半	2. 1 6 5	3. 5 5 5					
G 6行詞前半	1. 3 5 5	6. 1 1 1					
H 6行詞後半	6. 5 3 1	2. 2 1 1					
I 7行詞前半	1. 1 1 1	2. 3 5 5					
J 7行詞後半	6. 1 1 1	5. 3 5 5					
二長調 2/4							
J 8行詞前半	5. 5 5 5	1 5					
K 8行詞後半	6. 5 3 2	1. 3 5 5	3. 3 2 2	1 5			

ぞ弥生」歌碑建立時、ご出席された赤木顕次氏は「一点の訂正」を希望されていたようです。それを、私は七行詞「ひかれ」と理解しています。顕次は、リズムは歌い継がれているままでよいが、「ラーラ・ドー」ではなく「ラード・ドー」と、同パターンの2箇所と同一にして欲しかったのではないのでしょうか。

◆ エピローグ

恵迪寮同窓会発行「青春の恵迪」（昭和61年）によりまずと、学士会館で開催された「ファイブ・ミスターズの集い」で、「ミスター・都ぞ弥生」の樋口桜吾氏は次のように話されています。『「都ぞ弥生」は難しい曲だ。「夢こそひととき」で三拍子に、最後に二拍子で歌う。音楽教育を一つも受けていない学生が歌えるはずがない』。まさに、音楽の領域でも「ミスター」です。赤木顕次氏が弾く足踏みオルガンで歌唱指導を受けた樋口桜吾氏は、五行詞から3拍子になり、むすび八行詞は2拍子に戻る、と正調を喝破されていたのです。

「都ぞ弥生」を歌うとき、北大合唱団の場合は五行詞から〔3・4・3・3・4〕〔3・4・3・3・4〕〔3・3・3・3・4〕拍、校訂版の場合は〔4・4・3・3・3〕〔4・4・3・3・3〕〔4・4・3・3・3〕拍ゆえ、間違いないきよう頭の中で数えねばならず、3拍子・4拍子と数多く変調することに違和感を持っていました。その疑問は、初版数字譜の出現により、顕次の構想でないことを理解しました。

五く七行詞は4分の3拍子のリズムを縦糸とし、それ以

外の行詞も歌いやすく改良して下さいました諸先輩のご労苦をない交ぜにしたメロディで歌うことが、「都ぞ弥生」における不易流行ではないのでしょうか。



延齡草
えんれいそう

多数の参観者を得た「都ぞ弥生」百年記念展

高井 宗 宏 (S 31 年入寮)

「都ぞ弥生」百年記念事業の一環として、平成 24 年 5 月 20 日から 6 月 20 日（月曜日休館）まで北大総合博物館 3 階企画展示室で「都ぞ弥生」百年記念展を開催した。さすがに北大の式典歌、三大寮歌である「都ぞ弥生」であるだけに、恵迪寮 OB や北大人に限らず一般の方からも大きな期待を寄せられ、記念事業日の 6 月 9 日の入場者が 150 名を越えたばかりか、期間中に 3 千数百名が来場された。さらにメモ帳を持って 1 時間以上もじっくり見て回る人も数多くあったことも嬉しかった。その裏には、数年を掛けて資料収集を行い、横山赤木らの成立秘話とその精神、北大と静岡歌碑の建立と復元改修、歴代の寮歌集と市販レコード・CD を集めた伝承と編曲経過、さらにテレビ報道映像や正調問題まで、同窓会制作の恵迪グッズを除いた 178 点もの展示品を集めた記念展実行委員の努力があったし、共催者を申し出られた総合博物館、資料を提供された北大大学文書館・農学研究院および北海道開拓の村などの全面的な支援のお陰も大きかった。

加えて総合博物館知の交流コーナを使い、企画展オープニングセミナー「都ぞ弥生とクラーク精神」（5 月 20 日、講師：藤田正一氏）、クロージングセミナー「パネルディスカッション：大学教育における学寮の歴史と意義」（6 月 17 日、大学学務部、本同窓会および恵迪寮からの代表者）を開催し、それぞれ 50 名以上の参加者によって有意義な討論がなされた。これも文書化して細かく報告すべきだと思っている。

したがって、開催報告に記載すべき内容は、本誌の数十頁を越える膨大な量があるため、記念展実行委員として積極的に業務をこなして功績のあった奥田晋一委員から全資料を整理して「都ぞ弥生の資料集」として DVD にまとめて欲しいと要望された。特に奥田さんが展示会後に病に倒れられ、遂に去る 2 月に逝去されたため、彼の生き様に報いるためにも資料集を完成させることを誓う。そこで本誌には、全貌を簡単に紹介するに止め、別に全資料を PDF 化して誰もが原典に接しられる DVD「都ぞ弥生の資料集」を制作し、希望者に頒布する予定である。なお、記念展実行委員は、高井宗宏（S 31）、藤田正一（S 38）、大隈昭二（S 40）、奥田晋一（S 42 寮友）、大谷文昭（S 43）、岩本栄一（S 44）、恵迪寮執行委員長、高橋英紀（博物館）であり、さらに会場の管理等において小笠原孝之、新井三郎、和孝雄、木村正博、千川浩治、佐藤市雄、佐藤博昭、谷口哲也、内藤春彦、佐々木宏治、佐藤博昭、岩崎正の各位および博物館ボランティアグループのご協力を得た。ここでは、「都ぞ弥生百年記念展」を支援された多くの方々に感謝の意を表明し、短文の報告で終わらせることを了解して頂きたい。

1. 「都ぞ弥生」の成立と作詞作曲者の展示コーナ

『明治 45 年恵迪寮歌「都ぞ弥生」の誕生』と題した 2 スパンのショウケース（下の左写真）を使い、パネルに「都ぞ弥生の成立過程」と「都ぞ弥生の内容」、「都ぞ弥生の歌詞」、「都ぞ弥生の歌譜」および歌のイメージ画を 5 枚壁面に掲げ、前の台

上に制定時代の様子を示す「恵迪寮史」、「写真集北大百年」、「札幌農学校」等の刊行物と「都ぞ弥生」制定を報告する文武会報、制定当日の行事を示す恵迪寮委員会日誌を並べて紹介した。その横には『作詞・作曲者：横山芳介・赤木顕次の苦闘』と題した2スパンのショウケース（下の右写真）を使い、横山と赤木に各1スパンを充て、それぞれ「経歴」、「作詞または作曲までの苦闘」、「家族写真」の3枚、赤木はさらに歌碑除幕時に寄贈した恵迪寮の文化財「貴き野心赤木生」を掲げた。前の台上に両者に共通して恵迪寮委員会日誌中に書かれた自筆署名、学士号取得のために提出した「卒業論文」、さらに両者に係わる図書類を配置した。



[資料データベース (除写真資料)] 当コーナーに関連する資料一覧およびDVD収録予定の文献等は次の通りである。①横山芳介「都ぞ弥生」作詞時の学生ノート（恵迪寮同窓会に寄託：非公開、この複製版は同窓会本部と北大学文書館で公開）、②樋口桜吾「横山君詠草」（同上ノートの全体紹介、山口哲夫編「都ぞ弥生」に掲載、出版物のため非収録）、③横山芳介「思い出の恵迪寮」の直筆原稿（恵迪寮史第一巻掲載、北大学文書館寄託）、④横山芳介卒業論文「日本薬用植物の解説並びに日本薬用植物論」（大正6年提出、10章2冊に製本、農学部図書館蔵）、⑤田嶋・塩谷他共著『小作官横山芳介の足跡——北大寮歌都ぞ弥生の作詞者』（横山の小作官活動の詳細と成果、出版物のため非収録）、⑥赤木顕次「都ぞ弥生を作曲した頃」の直筆原稿（恵迪寮会誌：復刊恵迪四号に掲載、山口哲夫編「都ぞ弥生」および恵迪寮同窓会東日本支部『都ぞ弥生生誕90周年に寄せて』に転載、北大学文書館寄託）、⑦赤木顕次揮毫色紙「貴き野心」（「都ぞ弥生」歌碑建立時の寄贈品、北大学文書館寄託）、⑧赤木顕次揮毫「恵迪」（恵迪復刊四号タイトル文字、北大学文書館寄託）、⑨赤木顕次卒業論文「肉用動物に於ける主要なる諸筋の顕鏡的差異に就て」（大正5年提出、6章1冊に製本、農学部図書館蔵）、⑩PL 教団編『PL 徳照顕次日子霊位「志のび草」』原本（追悼文集、山口哲夫編「都ぞ弥生」に引用掲載、北大学文書館寄託）、⑪赤木顕次「都ぞ弥生の思い出」（PL 青年に初出、前掲「志のび草」と「都ぞ弥生」に引用掲載、北大学文書館寄託）、⑫横山芳男「父芳介の生いたち」、赤木稔「父としての顕次」、樋口桜吾「都ぞ弥生のころ」、河村浩「横山芳介さんのこと」、加藤俊次郎「歌詞と譜の階調」、高倉新一郎「都ぞ弥生をめぐる」、犬飼哲夫「都ぞ弥生と私」、河田悠紀恵「横山先生」、神津康男「都ぞ弥生と黒い上衣」（山口哲夫編『都ぞ弥生』掲載、出版物のため非収録）、⑬高井宗宏「赤木顕次先輩と正調都ぞ弥生」およびHBCラジオ要旨「松山茂助・赤木顕次先輩の対談」（後者は昭和32年中継放送から抜粋、閉寮記念同窓会編『恵迪寮よ永遠に——北大恵迪寮閉寮記念文集』掲載）、⑭神野善司「都ぞ弥生の四季と色」および石川舜「都ぞ弥生の米寿に思う」（恵迪寮同窓会誌「恵迪」1号および3号掲載）、⑮鈴木勝男「横山芳介——東京・札幌・静岡46年の生涯」および高井宗宏「都ぞ弥生作曲者の赤木顕次さん」（恵迪寮同窓会誌「恵迪」4号掲載）、⑯加藤俊二郎「逝ける都ぞ弥生の作詞者」（新聞北海タイムス昭和13年2月掲載記事の紹介）、赤木稔「父顕次は音楽的には天才だった」（東京エルム新聞1986/10/10を引用）および鈴木勝男「静岡時代の横山芳介——子息からの手紙」（恵迪寮同窓会東日本支部「都ぞ弥生生誕90周年事業」の資料『都ぞ弥生生誕90周年に寄せて』に掲載）、⑰前島一淑「横山芳介の世界」（2012年北大東京同窓会談話会講演要旨）、⑱恵迪寮務委員会「寮務委員

より」(明治45年度寮歌制定前の経過、恵迪文芸誌「辛夷」創刊号に掲載、以降は北大大学文書館蔵))、⑩恵迪寮務委員会「恵迪寮だより」(第6回恵迪寮歌制定時の歌詞と譜面紹介=都ぞ弥生の原譜、明治45年6月刊行文武会編『文武会報66号』に掲載)⑪恵迪寮「委員長日誌」および「寮務日誌」(都ぞ弥生制定日前後の寮務記録)



札幌歌碑除幕式記念品



星置奇氏の静岡歌碑スケッチ

2. 都ぞ弥生歌碑資料の展示 コーナ

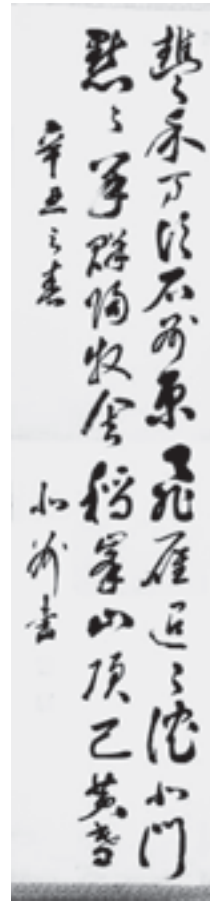
昭和31(1956)年に「北海道大学創基80周年記念事業」が開催された際、祝賀会場で同窓生から恵迪寮歌「都ぞ弥生の歌碑」建立が提起され、歌碑建立委員会が発足した。委員会は、横山芳介と同期生の渡辺侃元経済学部長が委員長、府県代表の樋口桜五らOBと横山清(後任に太田徹)恵迪寮執行委員長が委員となって募金を開始し、総額59万7千円の浄財を集め、昭和32年9月に恵迪寮南の原始林内に「都ぞ弥生歌碑」を建立・除幕した。一方、創基80周年を機会にエルム会静岡支部を作ろうと静岡駅前の旅館河田に集まったOBらは、その老舗の女将河田悠紀恵さんが横山に孤児の時から世話になった人だと知って驚いた。河田さんは、横山の遺族が戦災で焼け出されて東京に移り住んでから、朽ちた木の卒塔婆と円い自然石のみの横山の墓を守り続け、お世話になったお礼に石のお墓を作りたいと願っていたため、OBが挙って横山の墓と都ぞ弥生の歌碑を作ろうと期成会が発足した。静岡の歌碑は、北大歌碑より早く昭和32年1月に総御影の墓碑と横山の肉筆を刻んだ歌碑が落成した。その後、両歌碑共に修復再建と移設がされたが、わずか6年前の「恵迪寮百年事業」頃のこと経過の詳細を省く。このコーナには、それぞれ札幌と静岡の歌碑除幕式、建立時の歌碑全体像、修復後の歌碑の写真を拡大掲示すると共に、歌碑面の拓本、読売新聞「都ぞ弥生の恵迪寮物語」抄録を展示した。

[資料データベース(除写真資料)]当コーナに関連する資料一覧およびDVD収録予定の文献等は次の通りである。①【北大歌碑】都ぞ弥生歌碑除幕式の配布記念品および事業報告等(建設趣意書、絵葉書3葉、御礼と会計報告、山口哲夫編「都ぞ弥生」に引用掲載)、②グラビア「都ぞ弥生歌碑除幕式」、渡辺侃「都ぞ弥生歌碑除幕を寿ぐ」および出納陽一「ストームの歌」(恵迪寮会誌「復刊恵迪四号」に掲載、山口哲夫編「都ぞ弥生」および閉寮記念同窓会編『恵迪寮よ永遠に』に引用掲載)、③恵迪寮執行委員長太田徹「寮生代表祝辞」および横山清「歌碑建設の思い出」(閉寮記念同窓会編『恵迪寮よ永遠に』に掲載)、④歌碑建立記事(北大学生部編「北海道大学学生寮新設・閉寮記念誌」に掲載)、⑤恵迪寮編「歌碑建立に係る寮の活動・対応」(『恵迪寮史第二巻』に掲載)、⑥【静岡歌碑】建設の言葉、普及の名歌作詞者を讃えて、報恩秘話、畠山実「寮歌の碑」、田嶋宗三郎「父と子の感激」、馬場喜久子「北大寮歌と青年軍医士官」および竜喜三郎「都ぞ弥生の作詞者と歌碑」(山口哲夫編「都ぞ弥生」に引用掲載)、⑦【北大歌碑の改修】恵迪百年記念祭報告;厚谷純吉「恵迪百年記念祭に取り組んで」および山崎克彦「歌碑都ぞ弥生改修工事始末記」ほか(同窓会誌「恵迪」7号—恵迪百年記念誌に

掲載)、⑧村田豊雄「歌碑(北大)原稿のあれこれ」および星置奇「歌碑(静岡)を長源院にたずねて」(山口哲夫編「都ぞ弥生」に掲載)、⑨「都ぞ弥生歌碑」(岩沢健蔵著『北大歴史散歩』掲載、出版物のため非収録)、⑩「横山・赤木:都ぞ弥生を作った青春」(NHK放送番組要録:合田一道『人間登場——北の歴史を彩る——第二巻』に掲載、出版物のため非収録)、⑪朝日新聞1965年3月掲載北海道特集記事「北の歌シリーズ都ぞ弥生」(記者はOB古川俊実氏)、⑫読売新聞1972年7月連載記事「都ぞ弥生の恵迪寮物語1〜6」(記者はOB大隈昭二氏)、⑬北海道新聞2013年4月掲載「北の歌の風景——都ぞ弥生」

3. 都ぞ弥生の普及展示コーナ

「都ぞ弥生」は、北大生は勿論のこと、歌の魅力に惹かれた旧制中学生を中心に口伝えで全国に広まったが、昭和6(1931)年にコロンビア蓄音機からSPレコード「都ぞ弥生の」が発売されてから急速に一般大衆に広まり、戦前は寮生が毎年NHK札幌放送局に出向いて寮歌放送を行い、その中で「三大寮歌」の尊称を獲得(恵迪寮史では昭和15年)した。また、北大農学部生の必読書と言われた久保栄が昭和11(1936)年に発表した演劇「火山灰地」にも登場しているし、赤木顕次は「終戦の日にNHKラジオが放送したのを聞いた」と書いている。終戦後は、歌声運動の高まりもあって各方面で歌われたし、遂に昭和33(1958)年に総天然色日活スコープ映画「風速百米」(蔵原惟繕監督)が制作され、北大建築学科4年生に扮する石原裕次郎と北原三枝が「都ぞ弥生」を合唱する画面も登場した。本展示では、初レコード化のコロンビアレコードを始め、OB前島一淑氏が収集された市販レコード、音楽カセットテープ、CD点を展示し、その一部をパソコンで再生可能にして聴取できるようにした。



都ぞ弥生の漢詩軸

「豊禾万頃(頃)面積一町歩」石州原／飛雁迢々(遙々)沈北門／黙々羊群帰牧舎／
稲峯山頂已黄昏 辛丑(昭和三十六年)春 北州(伊藤誠也第五代総長)

[資料データベース(除写真資料)]当コーナに関連する資料一覧およびDVD収録予定の文献等は次の通りである。

○音楽メディア関係(出版物はDVD非収録)＝【SPレコード】①コロンビア蓄音機「都ぞ弥生の」(恵迪寮生が斉唱する都ぞ弥生と瓔珞みがくを収録、関連文献参照)、【LPレコード】②北大図書刊行会「北大寮歌」:応援団斉唱、③北大応援団「北海道大学寮歌選集」:応援団斉唱、【CD】④キングレコード「寮歌決定版」:ポニージャックス歌、⑤ティーチクレコード「北大寮歌集」、⑥CTA「甦る青春——懐かしの寮歌集」:セントアンサンブル歌、⑦北大予科蒼究会「北大予科寮歌選集——都ぞ弥生90年」、⑧恵迪寮同窓会刊「北大を讃える歌——都ぞ弥生」、⑨恵迪寮同窓会「北大恵迪寮歌」:2枚組、都ぞ弥生他全33曲収録、【ソノシート】⑩相上編「これが正調都ぞ弥生だ」、⑪北大応援団「蕃声」、【カセットテープ】⑫豪華版「寮歌——全曲集」、⑬恵迪寮同窓会「都ぞ弥生——青春の北大恵迪寮歌」、⑭PL教団収録録音テープ「(赤木の主張する)正調都ぞ弥生」および赤木が更科源蔵との対談時に歌った「都ぞ弥生」など。

○映像メディア関係(DVD非収録)＝①日活映画「風速百米」、②北大創基百年記念映画「大いなる楡」、③NHKテレビ「新日本紀行」第33巻——「都ぞ弥生——北大恵迪寮」、④NHKテレビ「新日本紀行

ふたたび——「都ぞ弥生——北大寮歌物語」、⑤NHKBS テレビ「20 世紀日本の歌第 4 夜：日本の三大寮歌」、⑥NHK テレビ札幌局「ホッカランド 212——北の歴史をいろいろ——横山芳介と赤木顕次」、⑦北大 125 周年広報ビデオ「北海道大学一般編」（日・英語）、同「Be Ambitious——受験生編」（日本語）、同「Hokkaido University Show——留学生編」（英・韓・中国語）、⑧北大学生部録音「1957 年都ぞ弥生歌碑除幕式次第」、⑨その他に北海道大学入試広報 DVD「学びのフロンティア」を全国の高校に配布、同一画像を「北海道大学ホームページ」で公開中。

○文献関係＝①井上高聡「北大歴史ノート 9：都ぞ弥生の吹込み」（学内誌『えるむ』138 号掲載、文中に 1931 年 1 月発行北海道帝国大学新聞を引用）、②下道優子「七大学を巡る歌 6：都ぞ弥生」（学士会会報『U 7』42 号掲載）、③白浜憲一「都ぞ弥生百年事業と記念祭——大学発信情報：北海道大学」（学士会会報『U 7』45 号掲載）、④「白井俊三「恵迪寮の命名と寮歌の誕生」恵迪寮同窓会誌「恵迪」4 号掲載）、④大沼正夫「都ぞ弥生吹き込みの記——初の SP レコード吹き込み時の経過」、吉田務「一息二文字——昭和 40 年代のスローテンポの思い出」、相上譲一「これが北大寮歌だ——前掲ソノシートの解説」（山口哲夫編「都ぞ弥生」に引用掲載）、⑤新井三郎「前掲①の寮歌 CD 制作に携わって」、千川浩治「大合唱に揺れたエルムの森」および谷口哲也「疾風怒濤の大寮歌祭」（同窓会誌「恵迪」7 号——恵迪百年記念誌に掲載）。⑥竹内茂雄『楡影』（学徒出陣した神風特攻隊と都ぞ弥生、単行本で非収録）

4. 都ぞ弥生の譜面の変遷展示コーナ

「都ぞ弥生」の歌詞は、制定以来何の変化も見られないが、その譜面は、恵迪寮歌集の大きく変化した譜のみでも 5 種類以上、同窓会等の刊行物を加えると 10 種類を超えるバリエーションがある。文芸誌「文芸会報 66 号」の『恵迪寮便り』に記載する都ぞ弥生制定報告文は、制定 1 ヶ月後の明治 45 年 5 月に書かれていて明らかに制定時のままの歌詞と譜を掲載しているが、不幸にして近年まで知られないで経過した。さらに恵迪寮史が書く大正 5 年版恵迪寮歌集はいまだ発見できないばかりか、ようやく発見された大正 7 年版も個人蔵で公表が遅れたため、これまで大正 11 年版を最古の資料として多くの人が「原譜はどれか」と探し、論争してきた。その変化の原因は、原曲が現代作曲理論からずれていた上に、寮生が現代音楽の普及と厭戦



ムードに応じて歌い方を変え、数年置きの寮歌集製版時に修正してきたためであるが、極言すれば、寮歌は代々の寮生が魂を込めて継承し、「都ぞ弥生」への思い入れが大きくて時代の影響を受けたことであろう。本展示では、大学文書館と同窓会管理の寄贈本から「恵迪寮寮歌集」のバックナンバーをできるだけ収集し、その譜面の変遷を追った。

従来の製版は、数年の印刷で老化するため、製版の更新時に歌詞・譜面の改訂をし、巻頭言を追加してきたため改版経過が明らかである。昭和50年版までの大きな改訂のみでも、大正5年版（恵迪寮史の記事のみ）の巻頭言は、橋本左五郎・有島武郎であったが、数値譜を五線譜化した昭和12年版から青葉満六を追加、昭和23年版からは青葉満六を削除して伊藤秀五郎・伊藤誠也を追加、新制大学初と思われる昭和26年版では島善隣を追加して5名になった。昭和30年からはB5版に拡大して4名を削除して有島の巻頭言のみに減らしており、それぞれの「発刊の辞」で大幅な改訂を明記している。また、「永遠の幸」を見ると、大正5年から昭和23年版までは寮歌集の巻頭に「校歌」として掲載するが、昭和26年以降は付録の冒頭に移しているばかりか、納所弁次郎選曲を昭和23年版のみRoot曲と置き換えている。最も不可解なことは、明治44年「藻岩の緑」の作曲者柳沢秀雄と大正3年「我が運命こそ」の作曲者赤木顕次が、昭和18年から同31年版の期間は相互に入れ替えられていることである。都ぞ弥生の譜面変遷を検討する際に、この理由を解明できたと思っているが、説明文があまりにも長文になるため本誌では述べず、DVD資料集に掲載することで許しを得たい。

「北大創基百年」を祝った昭和51年は、北大生協が水野一・川越守校訂『北大寮歌集』を刊行したが、その校訂の言葉に明記するように歌詞も譜面も大きく変えられ、巻頭言は過去に登場した6名を復活させ、その上に矢島武を追加して7名とした。加えて有島武郎の「永遠の幸」は、巻頭に移して「校歌永遠の幸（札幌農学校校歌）」と明記したが、これを発表した創立25周年式典では式典行事に含めず、式終了後に学生が（大学応援歌としてであろう）歌ったと書いていること、半年後に改めて「校歌を公募」した事実もあって農学校公認の校歌でないから、不要な混乱をもたらすことになった。この点もあまりにも長文になるため本誌では述べず、DVD資料集に掲載することで了解を得たい。さらに最も大きな問題は、同誌と恵迪寮歌集の印刷所が同一であったことと、製版がデジタル化されて永久に使えるため、それ以後の恵迪寮歌集は水野・川越校訂版を丸々引用するようになり、恵迪寮生の手で維持してきた歌詞・譜面が完全に消失することになった。

昭和62年に北大構内で作詞者夫人・作曲者赤木夫妻を招待して「都ぞ弥生歌碑除幕式」が開催された際、赤木氏から「都ぞ弥生の譜面が間違っ



て寮生と話し合った結果、赤木氏は「NHK が放送する編曲譜ばかり聞いて間違いと
考えたが、寮生が継承する現行譜が正しい」と再認識され、自説譜をキャンセルし
て帰阪された。右の新聞記事などで OB らに譜面修正があったと誤解され、その後
に物議を醸すことになるが、実際には何の変更もなかったことを報告する。

[資料データベース (除写真資料)] 当コーナーに関連する資料一覧および DVD 収録予定の文献等は次の
通りである。①文芸誌「文武会報 66 号」掲載『恵迪寮便り』—— 都ぞ弥生制定時の歌詞と譜面 (北大
大学文書館蔵)、②「恵迪寮寮歌集」バックナンバー＝明治 44 年版、大正 7・11-14 年版、昭和 2-4・
10-12・16・18 年版、(昭和 19-21 年休刊)、昭和 22-23・26・30-33・35-36・38-46・46-53 年版 (以上
は北大大学文書館蔵または本会の寄託により一括閲覧可能)、③恵迪寮編『恵迪寮史・寮歌編』、④水
野一・川越校訂『北大寮歌集』北大生協、昭和 51 年刊、④板谷実「都ぞ弥生を大切にしよう —— 前口
上問題の提唱」(恵迪寮同窓会東日本支部「都ぞ弥生誕生 90 周年に寄せて」に掲載)、⑤高井宗宏「正
調都ぞ弥生をめぐる —— 歌碑除幕時の正調騒動」(同窓会誌『恵迪の青春』に掲載)

5. 恵迪魂の継承と映像展示コーナー

「都ぞ弥生」の神髄は、「新開地の北海道とその開拓指導者たらんとする恵迪寮」
にあった、言うまでもなくウィリアム・S・クラーク博士の精神が継承される。こ
の点については、オープニングセミナー「都ぞ弥生とクラーク精神」、講師：元北大副
学長 藤田正一氏に詳しく述べられる。また、「都ぞ弥生」が主映像に登場するデー
タベースにあるビデオ類から抜粋して随時鑑賞できるようにして公開した。

[資料データベース (除写真資料)] 当コーナーに関連する資料一覧。①NHK テレビ＝新日本紀行 33 巻
「都ぞ弥生～札幌・北大恵迪寮～」、昭和 50 (1975) 年 12 月放送、②NHK テレビ＝新日本紀行ふたた
び「都ぞ弥生～北大寮歌物語～」、平成 19 (2007) 年 9 月放送、③NHK 札幌局テレビ＝「ほっからん
ど 212～北の歴史を彩る～横山と赤木」、平成 14 (2002) 年 10 月放送、④NHK-BS テレビ＝「20 世紀
日本の歌～秋叙情歌の旅～第 4 夜三大寮歌」平成 9 (1997) 年 10 月北大農学部前庭から生中継、⑤恵
迪寮閉寮記念ビデオ (北大・閉寮記念事業会主催記念式典、および恵迪寮および恵迪寮同窓会主催閉
寮記念パーティ)、昭和 58 (1983) 年 3 月収録、撮影・編集・提供：阿澄昌夫、⑥都ぞ弥生歌碑除幕式
録音とスライド合成ビデオ＝式辞：渡辺期成会長、祝辞：杉野目学長、出納陽一、島善隣前学長、恵
迪寮執行委員長太田徹、来賓：赤木顕次、横山芳介夫人＋横山繁樹(芳介孫)、録音提供：北大学生部、
スライド提供とビデオ制作：高井宗宏、昭和 32 年 9 月 24 日実況、⑦朝日新聞社編「北大恵迪寮よい
ざさらば」(グラビア、写真誌「アサヒグラフ」通巻 31126 号掲載)

6. おわりに

「都ぞ弥生」百年記念事業に同窓会関係者が全力を投入し、記念事業日の記念式典
で始まって大寮歌祭までの 4 行事、それに HBC テレビ映画「清き國ぞとあこがれ
ぬ」制作まで、それぞれ盛大な会が開かれて参加者全員が燃え尽きるほどに堪能し
た。しかし、これも OB の願望を受け入れ、全国の旧制高校寮が消滅する中にあっ
て唯一「恵迪寮」を継承し、寮歌を継続して制定する恵迪魂が継承されたから実現
したと考える。「都ぞ弥生」第二世紀のさらなる発展を望み、「恵迪寮よ永遠なれ」
と叫ばずにおれない。

寄稿

恵迪の友よ

吉村 誠治
(S20年入寮)

我が北大医学部28期は終戦の年に予科生となった、最後の戦中派である。定員80名が突如120名、更に陸士、海兵からの30名、計150名のマンモス期であり、昭和27年3月、132名が卒業した。

平成24年7月、札幌グランドホテルで卒業60周年を祝った。級友27名、夫人24名(うち未亡人5名)計51名が出席した。

恵迪寮出身者9名のうち、3人の家族に付き添われ車椅子で駆けつけた林田照明君が、会の冒頭に「別離の歌」を見事に独唱し、涙したことは永遠に忘れ得ない。重篤の身で

あった彼は半年後の今年1月16日、永眠した。85歳の今、同期は4割に減っているが、札幌の同期会は未だ続けられる。

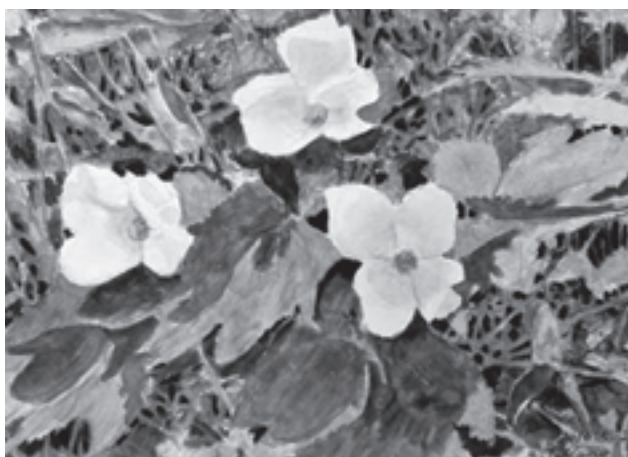
さて、平成16年6月の予科記念碑建立式に、同期7名が出席し「都ぞ弥生」を歌った。その感激を忘れ得ず、北海道医家人会の詠草に投稿した。それ以来今年で10年、縁あつて短歌をつくり続けている。

そして今、「都ぞ弥生」に関わる短歌を、恥ずかしながら会誌に載せていただく。

- ・よろめきつつ除幕の綱曳く先輩は予科帽に陣羽織なり
- ・歌い出し調子揃わぬ「都ぞ弥生」青春の日の合唱となる

(平成16年・予科記念碑)

- ・^{あらた}革まりし「都ぞ弥生」の碑の前に若きと肩組み老いは歌へり
- ・若き日の魂の故郷恵迪寮今日百年の歴史を祝う
- ・北国にロマンあらむ津軽の海渡り来し友傘寿となれり
- ・学成りて五十五年旭岳に



しらね

「都ぞ弥生」肩組み歌う
清き國を希ひ百年の「都ぞ弥生」
記念植樹は陣羽織着て
声涸らし「都ぞ弥生」五番迄歌ひ
終えたり甦る日
移されし恵迪寮の入口の新名札掛けに我が名を掲ぐ
・若き日の三年過ぎし恵迪の名札見上げる我八十五才
(平成24年6月・「都ぞ弥生」百年記念)

・終戦の年に入寮せし三十七名
よくぞ九名集い来しかな

・栃木より妻子三人に護られて車椅子にて友は来たれり

・「都ぞ弥生」生まれて百年の

この年に卒業六十年祝う縁ぞ

(平成24年7月・卒業60周年記念)

(美唄市)

長男の華燭の典で 「都ぞ弥生」を高唱

佐竹 正治

(S 39年入寮)

平成24年8月に長男の結婚式を茨城県水戸市駅前のホテルで行なった。その折、長男の方から披露宴で「都ぞ弥生」を歌ってくれとの要望が3か月ほど前にあった。というのも、息子は北広島高校から北大工学部修士を卒業し、日立製作所に勤めており、大学の後輩になる。

地元出身と言うことで、恵迪寮には残念ながら入れなかったが、風呂場で「都ぞ弥生」を歌う小生の姿を

小さいころから記憶に留めていたのだろう。

北大の恩師大塚俊明先生(工学院環境材料学研究室教授)と上田幹人先生(同准教授)を式に招待し、加えて北大の同期生、並びに職場の上司・同僚で北大卒の方もおり、北大中退ではあるが私の弟などを含めると総勢9名になるといふ。こうなると恵迪寮にいた小生の出番である。親の務めとして何とか盛り上げたいなと、まず陣羽織を恵迪同期の佐藤博昭(S 39入寮)君、一期下の大隈昭二(S 40入寮)君に借用を申し出る。快く了解してもらおう。さらに白浜憲一(S 40入寮)君に事情を話すと、同君と氏平増之(S 38)君、新井三郎(S 32)君等先輩の陣羽織を拝借できることとなり、先輩・同期・後輩諸氏の強い絆を思った。

伴奏の方は「都ぞ弥生」百年記念事業CD制作委員会で作られたCDの中にある、ピアノスト一宮明代嬢演奏のカラオケ版「都ぞ弥生」を使うことにした。陣羽織は6着準備でき、足りない分は百年記念の手ぬ

ぐいなどを使うことに。歌詞はプロジェクター映写用を息子が作成し準備は完了した。

本番は写真に示す通りで、恩師、友人、日立の方々と肩を組み「都ぞ弥生」を歌った次第である。時間の都合もあるということ、最初は2番で終わる予定だったが、日立の方々がその先をもっと聴きたいという雰囲気だったので、遂に最後の5番、貴き野心の訓へ培ひ 栄ゆく我



披露宴を盛り上げた「都ぞ弥生」合唱隊

等が寮を誇らずや“まで歌い切り、同窓生諸兄と大いに盛り上がった。

とにかく陣羽織効果と、CDのカラオケバージョンは雰囲気を最高に盛り上げてくれた。貴重な披露宴の時間を10数分間使わせてもらったが、来賓の皆様方の中にはご存知の方も多数有り、我等が『都ぞ弥生』合唱隊“は好評でした。さすが天下の名曲『都ぞ弥生』と思った次第です。また、大塚先生とは北大ワンゲルの話で盛り上がった。

白浜代表幹事から『都ぞ弥生』CDダビングの許可を得ていたので、斉唱に参加した9名の方や北大寮歌が大好きという方々にCDをお配りした。広報普及活動の一端になれば幸いだ。カラオケCDは使える!! 末尾になったが、陣羽織を快く貸して頂いた佐藤・大隈・白浜・氏平・新井の恵迪同窓生諸兄に感謝!

寮には居なかった息子でしたが、『都ぞ弥生』に関心を持っていてくれたり、日立の北大OBを集めてくれたりして親としては嬉しい限りだった。親戚連中からは、『佐竹のお父さ

んが一番楽しんでいた」と言われ、ちよつとはしゃぎすぎたかなと自戒しているが、『都ぞ弥生』、そして北大は永遠不滅!!

(富山市)

七戸長生著

『北大の学風を尋ねて』 を読んで

佐々木 忠

(S40年入寮)

はじめにII初の包括的学風論

僕は戦後20年をへて、恵迪寮に入寮した。何もわからぬまま、前年発表の三浦綾子『氷点』の世界にあこがれて。

七戸長生さん(S23年入寮)は昭和5年生れ、現在82歳。第25代(89~93)の農学部長であった。七戸先生が北大出版会から『北大の学風を尋ねて』を昨年暮れに上梓された。その大学特有の雰囲気や『学風』と呼ぶとすれば『北大の学風について

の歴史的考察を試みた』(はしがき)包括的著作がはじめて刊行されたのである。

昨夏から故あつてもみじ台の七戸先生宅を度々訪問していたのだが、恵迪寮同期の白浜代表幹事長や大隈編集長から『書いてくれ』との要請があり、気安く引き受けてしまった。しかし妻君からは『あなたみたいな、不勉強だった人が適切なの。他にいい方がいるんじゃない?』と辞退を勧められた。

それでも僕は、恵迪寮の17年先輩で、農業経済学科でも大先輩に当たる、わずかだが先生の薫陶を受けた身となれば、今さら返上は出来得ない。男、引き受けた以上、何がしかの品を出さざるをえない、と書き始めた次第である。

北大のよさは? 今年3月初め、先生の自宅を訪問して『本の紹介記事』を書かせてください、と頼むと、いつものように目尻をさげて次のようにお話になられた。

僕が一番書きたかったのは、北大のよさは何かってことです。大

らかで、鷹揚なこと。他面からみると、アバウト、悪くいうと雑なところ。それがどのような生まれ、受けつがれてきたのか、を追跡してみました。

東大では手取り足取り、権威主義的にやらせるが、北大の先生は半ば野放しにしているように各自の個性の発揮を期待している。すぐ群れて動くのは東大。北大では群れてはならぬと教える。それは弱い反面ももっているけれどね。七戸さんの位置と基本認識を示す個所があるので、それをまず紹介する。

「内村鑑三」・新渡戸稲造あるいは宮部金吾ら第一世代から、有島武郎あるいは石塚喜明ら第二世代へ、そして彼らの弟子である私たち第三世代へと順番にバトンを渡してゆく教育ないし学風の伝達システムは、あるいは私立大学においては存在するのも知れないが、国立大学においてはおそらく北大だけの特徴といえよう。この伝達システムには、プロテスト

トの伝道活動の手法の影響が色濃く観取されるのであり、それゆえ北大の予科ならびに本科の教師と学生あるいは母校OBと現役学生・教員との間に認められる権威主義的ではないオープンな形の師弟愛もまた、札幌バンドの第一世代によってもたらされたキリスト教的（プロテストント的）なものと結論づけられるであろう」これは北大の師弟関係の特徴（P123）で述べられた結論部分だが、学風の伝達システムとして重要視されている。

ヒューマニズムとリベラリズム

北大では「徹底したヒューマニズムとリベラリズムが貫かれている」と強調していることは、戦中派だけでなく僕たち戦後世代にも引き継がれている。リンカーン・北軍クラークの人権思想は、マルクスの人間論とも気脈を通じ、今日にも生きている。

個人的なことだが、社会人となった2年目に元農学部長だった川村琢

先生宅に上がり込んでお話をさせてもらったし、足羽進三郎教授宅にも多数で招かれた。高嶋正彦教授の長女を電話で喫茶店に呼び出し政治談議をする程の無謀さを許容できるほど「人間性と自由」が開花する関係性だったことを、今改めて想い出している。

それはともかく、今回の著作は、北大という大学の歴史的包括的学風論が初めて解明された、画期的労作である。

これは、現役の方はもちろん、これから北大を目指すとする若い方々に重要な指針を与えるものとなるにちがいない。また私たちOB世代にとつても私がエルムの学園の源流と系譜が縦横にかたられる一大叙



自宅の居間で自著の概要を語る七戸さん

事詩ともなっている。

農業経済学研究50年、農学部長・名寄短期大学長など経て豊かな学識と人間性あふれる七戸長生さんだからこそ、為し遂げられた歴史的貢献、遺産であろう。なお、氏は、後続の人々に様々な課題を暗示ないし明示しておられる懐の深さをもみせている。

本書は、第一章学風の源流を求めて、第二章学風を育むもの、第三章学風を担った人びと——の三章からなる。

学風の源流を求めて

氏の問題意識は鮮明だ。学風がどのようにして形成され、どのようにして次の世代に受け継がれてきたのか。…世代を重ねながら自らと生成・発展の途を辿るのであるが、その実態はどのようになっているのか。

まず「クラークの教えの伝播システム」に深い注目を払うのが目新しい。それには三つある、とする。①クラークと信仰の誓約を交わした

「札幌バンド」による学内外の教育と伝道②札幌農学校・東北帝大農科大学時の入学案内書の影響③大島正健の提唱にかかる徳育重視の中等教育の系譜、である。「クラークの教えを伝える際に、一定のバイアスがかかり：美化され神格化された」として、その変化のメカニズムを分析するという方法をとっている。

札幌農学校長・50歳のクラークの実像は、南北戦争の北軍大佐だった30代と全く変らぬ「冒険心と理想主義に燃えた熱血教師」であったとみる。

氏は、クラークの三つの功績をキリスト教、札幌農学校、徳育教育の三方面でどう進展、変化したかを分析的に追う。そして大島正健を「青年よ大志を抱け——の主唱者」と位置づけたことを適正とする。

結論としてクラークの教えは、実際は無骨で荒っぽいものであったが、キリスト教の信仰・布教、学校の広告・宣伝、中等教育における徳育資材の、三つの異なる目的動機から適合するような姿に美化・変形

された、とされる。

また五番目の系譜として、寮歌「都ぞ弥生」の叙情的な系譜をあげている。（ここで僕は、そうだ、と雄叫びをあげた）。

「都ぞ弥生」の特異性

一章三節は「都ぞ弥生」に関する氏独特の説が展開され興味をひく。

北大のイメージを広く定着させるのに貢献したが、としつつ「異色の寮歌」として特徴づける。

①五番の歌詞で「貴とき野心の訓え培ひ 栄え行く我等が寮を誇らずや」とかろうじて Boys be ambitious が登場するが、それに至るまで徹頭徹尾、北の自然の賛美に終始している（一高寮歌の、社会の理想と若者の心意気、に背を向けるかのよう）。

②多くの寮歌が七五調なのに、都ぞ弥生は八七調である。いかにものどかで、人によつては「牛の涎」のようだと酷評する向きもある。超のつくスローテンポ——などとする。多くは同意するが、氏の論への異

をとなえることが許されるなら、「少年よ大志を抱け」という熱血的な言辭と「都ぞ弥生」の歌詞とのギャップを覚える、とされているが、僕個人は大志・野心と牧歌的叙情性との調和とはいかないにしてもその相乗性にこそ注目したい気持ち強い。

また校歌「永遠の幸」が軽視されたのは事実だが、僕ら戦後生れの恵迪寮OBにとっては、かなり親しみもてる歌であり、寮生の中で知らぬ者はない位馴染んでいた。「同時代で北大校歌を知る者はほとんどいない」とは異なる印象を僕らの世代は持っているのだけど…。

学風を育むもの

第二章は、学風が学生にどんな形で植えつけられたか、どんなメカニズムで次の世代に引き継がれたか、を見る。北大は固有の特色・事情があるか、は後続者に譲り、ここでは七戸さん自身がどんな形で北大の学風に取り込まれていったか、寮生活、予科、部活動にわけて追跡していく。七戸農業調査論の目がするどい。

寮生活は、氏が入寮した昭和23年の「新丸」（最後の予科生）の目と65年後の目の複眼で、詳しく再現されていく。当時の寮模様がリアルに出現する。

「北大百年史」の記述があまりに浅く、甘いことも記述される。戦後の食料難時代、昭和23年の食事が浮き彫りになる。

「朝は雑炊」との正史について、雑炊と表現するのは、雑炊に対してあまりにも失礼な物言いであって、ただの重湯の底に欠けた飯粒が数粒沈殿している液体である——と恨みを込めず具体的に説明しているのに驚かされる。

緊張した入寮選考、武器Ⅱスプーンやフォーク、ストーム、円山観桜会、部屋替え、アルバイトなどが、部外者にもわかりやすく紹介される。

また、氏は1949年後期に寮の会計部の委員を務めた。実は、お金にまるで弱い僕も66年一八七期会計部係長を務めていたから、俄然親しみを覚えた。夕食を食べないものが

出た時は余り物にありつけたことあるが、（僕の時はなし）当時の会計部は寮費滞納者（三割？）に対する取り立てに苦労したとのことで、当時の家計・経済状態が露出していたのであろう。

北大予科の校風について、宇野予科長の人間味あふれる行動。下宿難を救うため恵迪寮の収容を350に増し、予科教室の一部を校内寮としたなど。予科の師弟関係の特徴は先にのべたが、学問という思想の承継に注目する。

また部活動の分析もユニークである。スキー部、山岳部のほか、氏の属した水泳部（部長）の話は読むものを魅了せずにはおかない。北大で最初のオリンピック代表選手・内田正練のこと、北大の三つのプール秘話（うち一つは恵迪寮横）、十代の氏の顔形がピーナッツのようだったので「ピー公」「ピー公爵」とよばれたこと、二度の冷水下で泳ぐ鳥居昌男と「白熊」（水泳部会報）のことが興味深く記述されている。

転職した先輩らが練習を見に来

て、プールサイドで、日々の勉強や専門課程の知識、社会に出てからの課題など、人間としての生き方にも触れた話が聞ける誠に得難い機会を与えてくれたことが五月病で混乱した氏を回復させるうえで非常に大きかった、と率直にのべていることに共感する。

学風を担った人びと

第三章は、北大12学部の学風、農学部の学風、氏の学風に導かれての三節からなる。

12学部の歴史と学風が入念に歴史的に解明紹介される。農学部は各学科、講座にまでわけ入り、解明される。小生は寡聞にして初めて知るところとばかりであった。おそらく、当人たちの体験は別にして初めて一般に公開、紹介されたことが多いのではないか。

七戸さんがどんな風に、予科、学部、大学院生、農業総合研究所、農業経営学科講座助教授・教授、農学部長をへたのかの回顧は、北大と離れて僕にとっても興味をそそられる

ものであった。

「恩師・矢島武先生から学問上の指導ばかりではなく、戦時中、治安維持法違反で苗穂刑務所に入っていた時、ほかの囚人から親切にされた話など聞かされ、ひとしきり感心したものだった」ともある。

小生も拙書『北の自治力』で紹介したように、北署・苗穂拘留所の10日間を思いだし、矢島武・川村琢先輩を先覚者として尊敬している。

七戸さんとは、小生が農学部三年の時「農場実習」を非常勤講師として受講したが、田舎のおっさん風（失礼）だが、農業技術の体系にヤケに詳しい方だと感じいったのが最初であった。

ついで研究生と修士課程になると、週一で北24条の農総研札幌支所で「剰余価値学説史」のゼミが開催され同席させてもらった。M一の時の新篠津村の農村調査に末席に加らせていただき、七戸理論（農業の技術と経営の論理、農家調査の方法）に直面し学ぶ機会ができた。

夜の会食の時には七戸さんは

若い情熱の限りをつくして、若輩どもの甘さを衝いてくるのが常だった。熱血教師そのものだった。「お前ら何をやっているのだ」と甘い脇をつつかれること度々であった。その一つ一つがグサリとささる。

僕自身は「鈍感力」を発揮したが、同輩や後輩の中には串刺しにされたと被害者になった方もいたのだろう。馬頭ならぬ「罵倒観音」とも呼ばれたと聞いたことがある。しかし僕には、クラーク博士の熱血教師ぶりとダブって見えたので、むしろ好ましく感じた。

あとがき

七戸先生は奥様を2年前に亡くされた。それまで家事の類は一切奥様にまかせ、自らは研究・教育に全力を打ち込まれていたから、炊事洗濯はじめ家事の技術習得はゼロであった。

一年くらいは落ち込んでいたが、九大のご長男、中央区のご長女にも支えられて昨夏ごろから、少しずつ回復された。その頃になって知人か

ら先生宅の事情を知り、時々ゆでとうきび、ラクヨウみそ汁、栗ご飯など季節のものやおから等をお届けさせていだいた。

今、なぜか80代すぎの先輩とお会いする機会がある。戦後混乱期（占領期）に学生時代をすごした方々の生き方・姿に見入るものがよぎっている。嬉しい発見もある。

『学風』を読んで改めて感じることは、自由・自治・進歩か、抑圧・干渉・反動か、の二大潮流の対抗・せめぎあいのことである。

遠友学校の歴史、有島武郎の「社会主義研究会」解散と辞去、川村・矢島の治安維持法事件、機密保護法違反事件、イールズ闘争などがあつた。

先日『宮澤・レーン事件 真相を知ってほしい』が刊行された。戦時下に英語教師レーン夫妻と工学部学生が逮捕・有罪とされたが、そのスパイ冤罪を問う本である。

北大の自由の学風を忌み嫌う勢力と、自治・進歩勢力の攻防の歴史も忘却してはならない。

『学風』は北大の歴史に学ぼうえて欠くことのできない労作として私たちの前にある。各位のご購読をお願いしたい。

（江別市）

孫と二人の中国人留学生と

〈「恵迪」入寮50年〉

「今もつながる
「恵迪」の札幌」

石津 宏介

（S38年入寮）

恵迪を恵ねて

「僕を乗せ・駆け抜ける 旅行者達は「ジンギスカンキャラメル」を提げている 二度と帰らぬ青春だけど紛うことなく寮にいた youthful days

（平成24年度恵迪寮寮歌『快速エアポート』一部抜粋）

曲も聞かせてもらった。半世紀前の恵迪の住人である私はなぞって歌うことも出来ない。当今の、囁くような、時に大声で一人ごとのような

歌に取り残されていく私である。

2階からぶら下がる巨大な人の顔、ゴミの中の生活。男でも女でもどこにもいる普通の孫みたいな恵迪の若者たち。年老いた今でもそれらに違和感は全く無いのだが。

私は今回の恵迪、札幌行きの旅に、半世紀前の父が特別の日にした履かず、大事大事にしていた桐の下駄を選んでいた。1坪の雪の壁を上り、大勢が固めた雪の小道をいささか不恰好に歩いた先が恵迪の正面玄関だったのだ。私たちの時代の応援団長・氏平増之の案内だった。対樽商戦の打合せに行く今の長髪の応援団員にも出逢えた。中に入って今の寮生との語らいも出来た。ちょうど半世紀前にこの場、恵迪に足を踏み入れた私たち、1963年（昭和38）入寮生。

旅への思い

兄や弟も既に逝った。私もいずれ死ぬ。死を感傷的に受け止めないようになっている。それでも、特定の人への思いが尽きないこともある。対



孫や中国の教え子連れ、開拓の村にある旧寮舎へ（筆者・右端）

応は人様々だろうが、私も死者や遺族に對しすべきことを考えたりする。

10年前の5月、私の還暦記念で札幌訪問の際、孫らのために自宅庭に即席の大型バーベキュー施設を作る等、お世話していただいた恵迪の間がいた。この人、春彦氏の逝去の報を昨年暮受けた。私は遺影に線香を手向け、遺された人と語らうのに孫の春休み活用を考えた。その計画話を聞いた中国人留学生が「ついて来る」となった。

10年前の私ら5人は皆下駄履き

だった。当時の氣持を私は17文字に託していた。「還暦や 初夏の北の地下駄弾む」。この訪問時、日田の月隈木履の下駄を出会う人への土産として30足持参していた。下駄屋の宣伝をしたいとの思いが強かった。私は「下駄保存会」にも属している。今もその応援者・推進者の氣持に変わりはない。だが、過去と現在とは時に交錯する。土産の品を変えた。

長崎街道を「シュガーロード」と呼ぶ人もいる。かつて出島のある長崎からこの街道を経、砂糖が、菓子、福岡、大阪、江戸に運ばれて行った。今私が活動している一つもこの街道と無縁でない。我が故郷を伊能忠敬が測量して200周年になったことを記念する会がある。私たちは、若者たちと一緒に故郷を見直し偉大な足跡に思いを馳せることを願う。その伊能忠敬一行はこのシュガーロードも測量している……。

還暦から10年、古希を迎える今、私はまた札幌に足を運ぶ縁に恵まれた。今度の記念の土産にした「鶏卵素麵」を持つて。

鶏卵素麵の話

全国的に菓子屋として戦前有名だった4家のうち3家までは、創業者が佐賀出身だった。それ程この街道沿いの長崎・佐賀・福岡では諸菓子屋がしのぎを削っている。鶏卵素麵はその代表作の一つだった。

私が50年前、大学に入學して直ぐ札幌にいる故郷の人を訪ねる際に親に持たされたのが福岡から運んだ鶏卵素麵だった。名が示す通り鶏の卵を主材料として出来上がった逸物である。あまりにも美味しかった記憶があるが、高価でもあった。材料の黄身を使用し、捨てていた白身を活かすべく工夫されたのが、もう一つ大好きな「鶴の子」だ。これらは甘納豆とともに給料を貰ったら飽きるほど食べたいと夢想していた。

萬盛堂の鶴の子は今なお人気商品の一つだが、鶏卵素麵は甘さを嫌う若者ら中心に人気に陰りがあり、事前注文の商品になった。でも私には今に至るも最高に贅沢品である。今は、「鶴のすゝもり」として両者合体

のお菓子も出来た。消費者の機微に敏感な商魂に感心するが、私にはいかにも「素麺」と言える形が好き。だからそれを特別注文し贈る。出会える人たちへの感謝の表明と、北の地への諸々の紹介を願ってだ。

同行者の素描

今回の旅も10年前に似て4人連れである。同行の中国人留学生は20歳、私にとって孫みたいなものだ。格安航空券の手配をしたのは逸舟。天津出身。長崎県立大に9月から1年間留学。大学の援助は学費も宿舍費も賄う。もう1人は許旻。山東省済南出身。昨夏、日経ビルでの中華スピーチコンテスト決勝戦で優勝、当時の野田首相の前で代表挨拶した。国費留学生にも選ばれ、お金貰って10月から京大で1年間勉強、好運な者達だ。年末年始は福岡の我が家で過した。好奇心も旺盛。留学終了後の今年9月には上海外大4年生に進級、4人部屋の寄宿舎生に戻る。

彼女らは、2年前の会誌『恵迪』への投稿文「上海の新しさと古さに

触れる幸せ」の文中に出てくる一群の中の学生であり、同時掲載の「3・11東日本大震災——がんばれ日本」の写真に私と共に写っている学生の二人でもある。

孫の元氣は10年前4歳だった。サッポロは何も覚えていないと言う。だが、アトピーだった1歳前後時、体中のかさぶたを洗い落とされる際に毎日毎日繰り返し聞かされた恵迪寮歌はどこかで覚えている、とも言う。もう中学3年生、難しい年頃を生きている。

50年の感慨

道の両側に雪の壁が堆く続く国道274・234号線。私ら4人を乗せた氏平号は安全を心掛けて駆けけた。栗山町で亡き春彦氏に手を合せ、奥さんや娘さんお孫さんの見守る中、手作りの巻き寿司、煮しめ、春巻きらを頂き、過去と今とこれからを語らった。

その帰り、江別の開拓の村を訪れた。ここには、旧恵迪寮の一部の建物、片鱗が移設されている。そこを

団長が案内してくれた。村は一面の雪に覆われていた。

移設された恵迪の部屋の中で、入寮50周年の諸々の感慨に耽る。

この50年間『都ぞ弥生』を何度歌ったことか。それでも『藻岩の緑』を張り上げて歌う方が昔も今も私には似合っている、なども考えた。「意気虹霓」に似ているか否か断言出来ないまでも、私の大学時代の最大事件「文化大革命」を私なりに遣り過した。それを文字に表すのも必然だった。

「A5変型本文700頁弱・日中両語対照小説Ⅱ『五味の人生』」が漸く中国で出版の運びとなった。この過程で中国の出版規制にも遭遇し、戦前の日本の伏字や禁書を否応無く思い出した。愚策と断ずる他ないが、現段階での出版を希望し、削除分を付録にした1000円本にして読んでもらうとすれば、受け入れざるを得ない。この時期一日本人作の出版に踏み切ってくれた吉林大学出版社との最後の詰めのやり取りもこの旅の最中、札幌のホテル滞在時だった。

半ばの迪を恵ねて

この私たちのいわば迪を恵ね続ける旅の期間、諸々の「同窓会」で再会を果してくれた北国の人の優しさを思い、新たな気分で前に進みたくなる。

国交回復前から日中友好協会運動に関っていた学生班の同窓会は、全道や東京から駆けつける人もいた顔合せだった。変革の思いを持ち続いていた学生運動の仲間たちの、新たに眩しい今の活躍もそれぞれに聞いた。はたまた人を励まし己も励まされる応援団の真髓を今なお体現し続ける団長と、最後に酒を飲みジンギスカンを食べ、中国語版『都ぞ弥生』も歌った。折しも開店50年を祝って貰ったばかりだという店「義経」の昼の場に胡坐かいてであった。

札幌在住の身内とも私らは会えたのだが、半世紀前の私に似た同行の孫や孫同然の留学生、彼らがはじめて見た恵迪、札幌、そして接し得た北海道の人たち、それらが、雪の深かった北国の印象とともに今後の長

い人生に深い影響を与えるはずだ、と私は思う。

3月30日、既に還暦を経ている、家庭教師時代の教え子が10年前に続き千歳空港まで送ってくれた。空港に着く頃は燦燦と降り注ぐ雪の中だった。

(福岡県福津市)

北へ帰ろう

新しいふるさとを求めて

亀田 郁朗

(S40年入寮)

私は東京通勤圏でもある埼玉県所沢市に住んでいます。昨年、道東の釧路市に隣接する鶴居村に土地を買い求め、今、小ぶりな家を建築中で、この夏にも移り住む予定です。

鶴居村は釧路湿原とタンチョウウで有名ですが、酪農の村でもあります。農業従事者一人あたりの平均年収額は高く、豊かな農村でもあるようです。それゆえか平成の大合併にも無縁で独立を維持してきたのです。

もっとも最近のTPP交渉の行方と政府の農業政策が心配になります。私はもともと鶴居村と縁があったわけではありません。しかし妻とも相談し北海道各地を探したすえにここを新しいふるさとにすることにしました。

私は戦後、軍艦島の名で知られる長崎県西彼杵郡高浜村端島で生まれました。10歳のとき父の転勤により芦別市上芦別という炭鉱の町に移り、それ以来平成6年まで北海道で生活しました。高校までは芦別、大学では鉱山工学を専攻し、仕事は炭鉱の現場勤務一筋で、最後は赤平炭鉱の閉山を機に48歳で北海道を去りました。この間、妻をむかえ子供も3人できました。それから所沢に居を移し、東京をベースに単身赴任も含めて63歳まで勤務しました。

出張を含めると全国各地に仕事で行きましたが、単身赴任で行った北九州の門司港や佐賀の大町、豪州のNSWシングルトンなどの町は忘れたいものがあります。

その間、多くの人と知り合い友達

もできましたが、その人たちは多くの場合地元にしつかり根付き有形無形の財産を築いていました。それは仕事であり、古い友人であり、地域との関わりであり、お祭りでありと金銭的なもの以外の財産の豊富さであります。一箇所に長く住まないということというのはなかなかできることではありません。浮き草のようにあちこち移り住んだ私は心の底から羨ましく思ったのです。

何時のことだったか、本籍地に関する行政的な手続きが面倒なので結婚した当時に届け出た札幌の本籍地を住居のある所沢に移そうと思いましたが。子供たちに相談したら、自分たちのアイデンティティーがなくなると反対されたことがあります。私はこの時からふるさとというものがほしくなったのです。

夏になると北海道に引越しますが、所沢に比べ夏冬とも平均気温が10℃ほど低いようです。もっとも太平洋岸に近いので冬は晴れています。釧路湿原の夏の冷涼さはもちろん、寒い冬がいまから待ちどおしく感じます。

何といっても雪が降りすべてが凍りつくときスキーがあれば広い釧路湿原はどこでもいけますからね。7月になると孫が4人になります。すこし大きくなると夏休み、冬休みごとに呼び寄せ大自然の楽しさと厳しさを教えられます。これが移住の一番の目的でもあります。

(北海道鶴居村)

米をめぐる想像

横山 考

(H2年入寮)

私が入寮した平成2年、北西食堂はすでに閉鎖されており、寮生の食事は各部屋での自炊であった。部屋員持ち回りで全員分の夕食を作る「部屋エッセン制」が確立され、寮内の主流になりつつあった時期である。部屋エッセンは当番制であったが、米については当番と関係なく「炊

飯器のメシを食べ切った者が、次のメシを炊いておく」ということになっていった。つまり、オカズはともかくご飯だけはいつでも食べられる状態にあったのである。部屋員が帰ってくる時間は学部や部活動によつてまちまちだったから、夜遅くてもご飯があるのは便利でうれしいものだった。

しかし、食が終わった者が次の米を炊くという仕組みは、満腹であるがゆえに集中力の欠如を招くことがあった。米を研いで炊飯器にセットしておきながら、炊飯スイッチを押して忘れる、というミスを誘発したのである。こうして出来あがるのが、通称「保温メシ」である。炊飯されることなく単に保温された生米は、見た目は普通のご飯だが、でんぷんがアルファ化しないのか、異様にやわらかいくせに粉っぽくてボソボソという、訳のわからない物体に変化してしまうのである。これは殺人的に不味い。腹を空かせて帰って来て「保温メシ」に当たったときの哀しい気分は、ちょっと他に類がなかった。

当時は美味しい米といえば「ササニシキ」「コシヒカリ」であり、北海道産の米は収穫量こそ新潟と競い合っていたものの、その味となると評価は極めて低かった。「ゆきひかり」ならまだしも、耐寒品種の安いブレンド米となると、貧乏寮生でさえ首をひねったものである。「米の食味ランキング」で3年連続最高位に輝く、いまの北海道米からは考えられない不評である。(※日本穀物検定協会実施。平成22年産から「ゆめぴりか」「ななつぼし」が特Aにランクされている)

寮の食生活を改善した

「きくらげ397」

それだけに、はじめて「きらら397」を食べたときのことは忘れられない。炊きあがりの白さ、透明感が明らかに違う。ほどよい粘りとしっかりした粒立ち、感動的と言ってもいい旨さだった。当然、寮生たちにも圧倒的に支持され、部屋同士の賭けソフトボールでも、賭け品は単に「コメ10^キ」でなく「きらら10

^キ」と銘柄指定されたほどである。延齡杯や暁の大決斗においても、当時の優勝賞品は常に「きらら」であった。

いまや米の収穫量、食味ともに全国トップとなった北海道だが、江戸時代まで稲作は不可能と考えられていた。明治政府・開拓使の方針もアメリカ式農業、つまり麦中心の畑作と牧畜の奨励であり、屯田兵には稲作を禁じた位である。これは、主食を米からパンに替えるべきだという、開拓使顧問ホールズ・ケプロンの主張によるものである。いかに日本人の主食が米であっても、ケプロンにとっては無価値な作物であった。加えて、北海道よりも暖かい東北地方ですら、冷害による凶作が飢饉を引き起こしていた時代である。「米禁止・麦奨励」のケプロン提言が全面的に採用されたのは無理からぬことであった。

クラーク博士 米食を禁止？

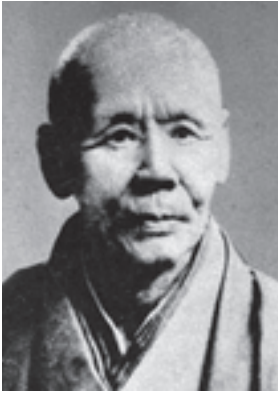
当然、札幌農学校もパン・洋食を常食とした。米食を禁じたのは、か

のウィリアム・S・クラーク先生だという説もある。「生徒は米飯を食すべからず、但しらいすかれいはこの限りにあらず」という舍則めいた文章も、ネットで見つけることができる。

しかし、脱・米食がケプロン以来の既定方針であることを考えると、新任のクラークが禁止令を上塗りするのは不自然である。第一、重箱の隅をつつくような「○○べからず」式の規則は、クラーク先生らしくない。勝手ながら私は、彼がカレーを持ち込み米食を許した、という方が正確なのではないかと思っている。これは行き過ぎた想像かもしれない。多くのお雇い外国人が官依存の開拓、本州から大量の米を輸入している状況を批判的に見ていたし、ク



島松の旧駅通そばに建つクラーク記念碑 (写真提供・北広島市教育委員会)



北海道稲作の父中山久蔵翁
(写真提供・北広島市教育委員会)

ラークにしてもアメリカ式農業を指導した人物である。しかし、農業によつてアメリカの影響力を拡大するというケプロンの政治的立場と、教育者であるクラークの立場は異なる。自主独立の精神に反しない限り、つまり北海道で収穫できる作物であれば、クラークは問題視しなかったのではなからうか。そして、「北海道で米が作れる」ことを、クラークは着任前から知っていたと思われるのである。

博士と稲作の父・ 中山久蔵との出会い？

クラーク一行が札幌に到着したのは明治9年7月31日。室蘭から苫小牧、島松を経て札幌に至る札幌本道を通っている。そのとき、島松の本

道沿いには青々とした水田が広がり、稲穂が実っていた。クラークがその風景を目にした可能性は高い。

この水田の主が、のちに「北海道稲作の父」と呼ばれる中山久蔵である。大阪・河内に生まれ、諸国放浪ののち仙台藩士の下僕となった中山は、明治3年苫小牧に入植。翌年島松に移住し、茅葺きのボロ小屋に住んで原野を開墾した。「鹿兎ヲ討チ草根ヲ掘リ」、飢えを凌いで当座の雑穀を収穫すると、今度は渡島・大野村（現在の北斗市）に赴き、かの地で稲作に成功していた高田万次郎に教えを乞うている。このとき入手した種モミで、明治6年に米作りを始めるのである。その努力が凄まじい。用水路をジグザグに掘って太陽光で水を温め、それでも足りないとするや大きな風呂桶を持ち出して湯を沸かし、夜を徹して田んぼに注いだと言う。この執念は見事に実を結び、秋には2石3斗（300^ロ強）の収穫を見る。開拓使の扶助を断つてまで挑んだ、独力での米作りであった。「薩長」の新政府に対する、「賊軍」

仙台藩の意地であろうか。

中山の米作りは年々拡大し、明治14年の天皇陛下巡幸に際しては、直々に褒美を授与されるという栄に浴している。米作りに挑戦する者が続々と現れ、中山は膨大な量の種苗を無償で配布した。その後開拓使が廃止されると、北海道庁に酒匂常明が赴任し、官民あげての稲作普及が始まる。中山が広めた「赤毛」から耐寒品種「坊主」が誕生し、北海道の米作りは石狩から空知、上川へと広がっていった。

想像だが、クラークは「北海道で米が作れる」ことだけでなく、その立役者である中山久蔵のことも知っていたのではないだろうか。証拠はない。しかし、中山の稲作成功を知った開拓判官松本十郎の提言により、明治9年に札幌官園で稲の試作が始まっているから、その経緯をクラークが知っていても不思議ではない。乗馬をよくした先生だけに、島松まで馬を飛ばし、中山の水田を観察したこともあったかもしれない。

名言に続く「like this old man」 は中山久蔵翁

そんな想像をたくましくさせる出来事がもうひとつある。「Boys, be ambitious」の名言もある。

帰国の途についたクラークが、見送る生徒たちに叫んだこの言葉の後には、「like this old man」という言葉が続くと言われている。この「old man」とは誰を指しているのだろうか。普通に考えれば先生本人ということになる。しかしクラークの視線の先に、もう一人の「old man」がいたとしたらどうだろう。名言の舞台は島松の駅通である。そして、その駅通というのが中山久蔵宅なのである。中山がその場に居合わせた可能性は高い。

中山がいることを知っていて、クラークは島松を別れの場所を選んだ。とすれば、この言葉は若者への挑発的なアジェンションであると同時に、真に ambitious であった者への賛辞であるとも解釈できよう。過酷な開拓民の現実から乖離した、官

立学校エリート集団への戒め、とさえ思われてくる。

クラークと中山久蔵は、わずか2歳違いの同年代である。かたや異国で官学教育の礎を築いた男、かたや北限の米作りに挑んだ反骨の男。真つすぐな二本の線が一度だけ交差する、まぶしい瞬間がそこにあったのではないだろうか。それは楽しい想像である。

北広島市では昨年、「old man」が中山久蔵を指しているという仮説のもと、市民が演劇を上演したとも聞く。私もまた、クラーク先生と中山久蔵、その時代をさらに調べてみたいと思っている。

(東京都新宿区)

初詣

小沢久弥

(S17年入寮)

春

種屋さん 種を見つめて嬉しそう

春山に迷ひ警察学校に入る

草萌の季の巡りくるベンチかな

夏

何処より人集まるや村祭

夜の電車老婆の寝顔涼しげに

雨水の流るるを見て端居かな

秋

鉄塔の斜めに立ちて豊の秋

銀行の天井高き夜業かな

冷ややかや出勤までの足袋をはく

冬

石段をずっしり上がる初詣

新しきカレンダー掛け事務初め

大寒の立山連峰晴れ渡る

(川崎市麻生区)



特別寄稿

彼岸に至る道

（共にがんと闘った寮友との語らい）

（前編）

中瀬篤信

（S26年入寮）

一、『都ぞ弥生』そして トンテとの出会い

4年前に胃袋を切除された中沢は、額の汗を拭い、冷えたリングージュースを少しずつ飲み込んだ。かなり暑い。喜寿を過ぎた病後の老医

には暑さは身にこたえる。やっと北国にも夏が訪れたのかと窓越しに透き通った7月の青空を見やった。昨日届いた恵迪寮寮歌「都ぞ弥生」に纏わる原稿募集の案内書を手にしながら、「はて、何を書こうか？」

考えてみると、60年もの昔、毎年の寮歌作成を伝統とする学生寮の2年間の生活が、中沢の未熟な感性に大きな影響を与え、そして彼の人生の方向を決定させた多くの友人を与

えてくれた。特に詩情豊かに北の大地を謳いあげた『都ぞ弥生』は、彼の人生の総てに大きく作用していたことに今更ながら気付き、大きなため息をついたのであった。

北大入学当初は入寮不許可であったが、やっと捜し当てた先輩の口利きでどうやら入寮できたのは新入生

のプライドや虚飾の総てを剥ぎ取る鈍才会の当日であった。会に先立ち新寮の特別室に集められ、寮歌の練習が始まった。寮歌集を手にして中沢の北大を代表する寮歌『都ぞ弥生』との初めての出会いがあった。

「都ぞ弥生の雲紫に、花の香漂う宴の筵……と聴いた時、かすかに身震いがした。北国の眩いばかりの四季の移ろい、そして尊き野心の訓え、詩というものは、歌というものは、こんなに色彩豊かな香ばしいものかとカルチャーショックに打ちのめされたのである。戦時の国民学校時代、敵国語のドレミファソラシド



昭和27年11月に開かれた恵迪寮文化祭（看板は筆者が描いた）

ではなく、ハニホヘトイロハで音楽を習った中沢たち小国民は、愛国行進曲や予科練の歌などの軍歌で育ち、そして敗戦間近では『海行かば』を悲しく歌った。戦後はアメリカからのバツテンボー

や笠置シズ子の東京ブギウギを真似た高校生にとってみれば、この寮歌の大きな感動は当然のことであつたに違いない。

そうだ、この寮歌との出会いと同じように、中沢の将来に大きな影響を与えてくれた生涯の友「トンテの野郎」高井君を紹介し、そして彼の脾臓がんの発病から没するまでの間に行き交つた8ヶ月(約80通)のメールをそのままに発表し、読者に何かを感じて頂くかと、大それた事を思い付いたのである。取り敢えず、彼との出会いと中沢自身の生き様の簡単な紹介から話を進めることにしよう。

昭和26年、北大教養科理類に入学した中沢は、英語を主とする1年3組(英独組)に編入されたが、同郷の友は見当たらず、見知らぬ顔ばかりであつた。その中に高井という名前の、額の広い、ギョロ目の中肉中背の男が居た。人懐こい顔でニヤリと笑い話し掛けてきた。「君は語学とということをどう思いますか? 英語

にしてもドイツ語にしても、その国の人々が日常使用している単なる言語であつて、我々が学ぶ外国語などは学問ではありません。学問というのは数学や物理学のことを言うのです。だから僕は英語が大嫌いなのです。ウフフ……」と笑つた。とは言え、明日は朝からレーン先生の英会話の最初の授業が始まるのであつた。北17条の恵迪寮から広い構内に散在する教室に通うのは、距離があつても風情のある散歩道でもあつた。5月の北大キャンパスの空気は冷ややかだが、新緑は萌え出し、夢に満ちていた。白壁の第3講堂の小さな一室は50名の学生でびっしりである。中沢は戦後、進駐軍の色とりどりの兵隊を見知つてはいたが、白人の先生を直に見るのは初めてで些か緊張気味であり、隣の高井の鼻頭にも汗が浮き出ている。先生の日本語交じりの最初の挨拶が済み、学生に英語で色々と問い掛けてきた。学生は英語で答えなければならぬ。それぞれが緊張した面持ちで、自分が指名されなければ良いがと目を背

けている。先生は出席名簿を見ながら次々に指名する。「ミスター高井、フォワット ダズ ブラックスミス ドウ? (what does a blacksmith do?)」慌てた高井は「ブラックスミスって何だ?」と小声で聞いた。誰かが「鍛冶屋、カジヤ」と教えた。それを聞くや高井はすうつと立ち上がり、金槌を振る仕事をしながら良く透る大きな声で「ひー どいず トンテンカン、トンテンカーン!」と叫んだ。驚いたレーン先生と共に教室は爆笑の渦と化したのであつた。爾来、彼のことを「トンテ」と呼ぶことにした。

トンテは八雲高校の出身、ご先祖は尾張徳川家の家臣で、明治維新に際し渡島半島の内浦湾(噴火湾)沿いに入植、一族で牧場を営んだ。「中沢君。八雲という町名の由来を知っている? それは八雲立つ出雲八重垣妻ごみに八重垣作るその八重垣を、の和歌に因み、尾張藩主の徳川慶勝が名付けたのだそうだ。」と素戔嗚尊が詠んだとされる和歌を甲高い

声でそらんじ、「子供の時から、朝夕、ベコと共に暮らしているのだが、君、ベコの種付けを見たことあるか？」と、毎年の牧場生活の一切を面白おかしく話して聞かせるのであった。中沢はその異世界の話を興味深く聞き、北大農場の大きな種牛などと想い較べながら「フーン」と溜め息をついた。

6月の末、1時間半の数学の試験があった。中沢にはどの問題も解けそうにない。やっとその易しそうな一問を書き上げた時、4題の総てを解答し終わったトントは30分を残して立ち上がり、答案を提出、スタスタと退出してしまった。

梅雨のない筈の札幌の7月の空気は湿度が高く、重い。中央ローンのクラーク像の横に寝そべりながら、身近に迫った夏休みの帰省、久し振りに両親に会える、高校時代の友達にも会える、と気持ち揺らいでいた。「おい！ 中沢、俺、どうしても恵迪寮に入りたい。君と一緒に『都ぞ弥生』は勿論、数多くの寮歌を歌いたいのだ。何とかならんか！」と

高井君が必死の形相で寝ている中沢に迫ってきた。中沢は彼の数学の秀才振りを見て以来、いつの間にかトントと呼ぶのを止め、高井、時には高井君と呼ぶようになっていた。

夏休みが終わると、騒々しい寮生活に愛想を尽かし退寮する者も出て、その隙間に高井も入寮することができた。全寮の部屋替えに際し、それまでのお義理で入ったサッカー部を離脱し、共に数学研究会(数研)を新設、優秀な仲間を集めた。記憶力の良い彼は、瞬く間に殆どの寮歌を覚え、よく透る高い声で歌い散らすのだが、興が載ると益々甲高い声となり、音程を外す。一緒に歌っている中沢はその時点で歌を中断することになる。

また、寮生大会では高井一流の不思議な論理で人を食った話をするので有名となり、恵迪10傑の「恵迪ポコ」に当選してしまった。因みに中沢も「恵迪ねい猛」(甕猛ドウモウ

ではない)となり、舞台上の檻に入れた。

入寮2年目の後期、中沢は一期委員会の寮務部長に選ばれ、渉外・高井、厚生・沼田、内務・久門の3君で寮務部を構成、約半年間、同室で起居を共にした。高井とは2年間、教室も寮の部屋でも共に暮らしたのだが、数学以外の実生活でもいろいろなことを教わった。しかし、中沢が彼にしたことは、毎朝、食事の合図の鐘が遠くに聞こえると『高井、起きろ！ エッセン(食事)だー！』と怒鳴り、彼を起こすことだけだったような気がする。



当時の朝食風景
(青春の北大恵迪寮より)

2年目の夏が過ぎると、それぞれが専門学科への進路を決めなければならぬ。高井は工学部の建築学科に、沼田は理学部の数学科、久門は法律の方面に進むと決めた。中沢は、高校時代よりナイロンなどの合成繊維工学を学びたいと考えていたのだが、北大にはそのような研究室は存在しないことを知り、また、農学部の農芸化学、理学部の化学科にも肌が合わず、うろうろ迷っているうちに晩秋となってしまった。「中沢、お前、如何するのよ？ もう、殆どの専門学科は全部決まっちゃったようだぜ」「ウン、俺は将来何になりたいのか、どうしたいのか、よく解らないでいる。一年間、学内浪人でもして考えるかなあ？」「馬鹿を言え、学内浪人なんて……。よくは知らないが、医学部はまだ試験が残っているらしいぞ。札幌大の受験もあるらしい。お前、行く所がないなら、試験を受けて 医者になつてみたら……。」「ウーン？……」その当時、所定の単位の取得者であれば、いずれの大学の医学部受験が可能であつたのである。しかし、寮の委員会の仕事や学寮連合の「石炭寄越せ運動」で忙しく、殆ど勉強していない中沢にとつて医学部の受験など考えたこともなく、全く意外な話であつた。

行く先が見えない。如何したものか？ 気持ちちが泡立つように揺れた。工学部前の銀杏並木の道、みぞれ交じり冷たい風に黄葉が舞い散つた。

3年後、中沢の医大3年終了時の春の研修旅行の帰路、高井の勤務している古都金沢を訪れた。高井は上級職国家公務員試験に優秀な成績で合格し、建設省から金沢市の石川県庁に派遣され、既に勤務していたのである。戦災を免れた加賀百万石の城下町のあちこちを案内してくれた。雪吊りのままの兼六園の木々は名残の雪に飾られ、武家屋敷の土塀を囲むように小堀が流れ、ゆき椿が可憐に咲いていた。だが、椿はその落花の様が斬首に似ることから武家からは忌み嫌われるものと、不審に思つたりもした。県立のスポーツセ

ンター前では「これらは俺がデザインしたのさ、どう？ 格好いいでしょう？」と十数本の街路灯を指差しながら高井は自慢した。「俺は、まだ学生、卒業後にはインターンの1年間、そして国家試験。本当に医者になれるのかなあ？」。高井がこのように実社会で立派に実務をこなしているのに、自分はまだまだ医者の卵にもなっていないと中沢は暗い気持ちになった。それを察したのか「金沢には綺麗な女の子が沢山居る。先輩から早く嫁を貰えと見合い写真を押し付けられ困っている。ハハハッ」と笑い「ところで、お前、彼女できたか？ まだ？ そうか、未だか、ハハハ」と笑つた。

*中沢の発病とその経過

金沢を訪ねたあの頃から、もう50年もの歳月が流れたのかと病床で高井への手紙を書きながら彼との交流の歴史をなぞっていた。中沢は、大学院を終え、教室の助手となつたが、市民病院に心臓・血管外科を新設するために大学から派遣され、以来、

教授の帰還命令に逆らったまま、同院を勤め上げ停年を迎えた。幼少時より病弱であったが、定年後には急に精神の緊張感を失ってしまったせいか、老化という自然の摂理からか、色々な病気を経験することになる。

左顔面神経麻痺（ベル麻痺）がやつと快方に向かった途端、脊柱管狭窄症にて2度の手術を受けた。その腰痛も癒え、同窓会の仕事も手伝えるようになった平成20年1月頃、胸のつかえ（食道閉塞感）を覚え、内視鏡検査で下部食道がんを発見。急遽、食道がん手術症例が全国1、2位を誇る有名な恵佑会札幌病院に入院、精密検査による手術適応の可否の診断を待っている身なのである。

高井賢明大兄へ…平成20年3月25日謹啓 今年はずいぶん雪が多いと嘆いていましたら、3月中旬からの暖気で融雪が進み、札幌も春遠からじという季節になりました。テレビでは御地の桜便りが放映されています。さて、貴兄の易学はたいしたものだと痛感しています。というのは、チベット内乱など物騒なことは勿論

ですが、小生の健康状態にも内乱が発生し、本日よりがん手術で有名な病院に食道がんの検査と治療のため入院しました。

今年に入って体重減少、胃のもたれ感が次第に増強し、そろそろ何処かにがんができたのでは？と考え、検査を行ってみたところ、下部食道にやや手遅れ感の立派ながん病変が発見されました。食道には、胃や腸と違って外膜がありませんので、周囲に転移し易く、治療が困難なのです。今回の入院では、手術治療が可能かどうかを検査し、手術不能な場合には放射線治療を行うことになりました。いずれにしても今後数ヶ月は入院となり、場合によっては数ヶ月後にはあの世行きも覚悟しなくてはなりません。従って今年の「昭和26年会」の旅行を貴兄の助言（東北地方に大地震発生恐れあり）により延期したのは大正解でした。数日後には治療方針が決定します。何とか手術ができると思います。……。楽しくない便りで申し訳ありません。貴兄もどうぞお体大切に。奥様

によりしく。当方のかみさんは天を仰いで嘆いています。 謹白

平成20年4月2日、中沢は、急遽下部食道がん+胃がんの重複がんの診断下に手術を受けたのである。自分ではその症状から下部食道がん（噴門がん）と予想していたが、胃にも立派ながんが並存していたことに些か慌てたのである。中沢の人生最後の戦いに臨んで、がんの進展が著しい切除不能な場合をも想定し、密かに市民病院の緩和ケア病棟の予約も済ませ、手術に臨んだのであった。術後、執刀医の院長は中沢の家族を前にして「まあ、何とか切除しました。術後抗がん剤は必至です」と切除した食道、胃、脾臓、多数のリンパ節などを見せた。医師でもある家内も、余りの立派ながんの形相に真っ青になったという。麻酔から覚めた頃、院長はICUの中沢に「私も外科医です。切除出来るものは全部切除しました。安心して下さい」と言った。

後日の病理学検査結果では①下部

食道がん…2型、扁平上皮がん、リンパ節転移(一)、②胃がんⅡT3、N3、M0の腺がんとの重複がんであった。(T3Ⅱがんの浸潤が漿膜下組織に至るもの。N3Ⅱ領域リンパ節転移が7個以上。M0Ⅱ肝転移など遠隔転移なし)から考えると、**5年生存率は50%以下**と考えられたのである。

術後3週目となり、中沢は向後の抗がん剤・シスプラチン投与の際、副作用予防の生理食塩水点滴注射と利尿薬で有毒な薬剤を強制排泄させることから、自分の前立腺肥大による利尿困難を心配。泌尿器科医により経尿道的前立腺切除をも行なったが、こちらの方の術後の苦痛が著しかった。幸いにも入院5週で自宅退院となり、今後は通院で後療法を行なうこととなり、8ヶ月に亘る抗がん剤との苦闘が始まったのである。

国家公務員高級官僚であった高井は、本省、県庁、公団、財団などを渡り歩き、漸く退官し、悠々自適の生活であったが、消防法の権威であることから、執筆、講演などなお多

忙のようであった。しかし、心配した彼は、毎月2〜4通の割合で手紙を呉れて、世界の政治情勢を解説し、得意の易学や天文学、各地の歴史などあらゆる方面の情報をもつて中沢の無聊を慰めてくれたのである。寮友は本当に有り難い。胸に熱く迫るものがあつた。

慢性の下痢と食指不振で体重42kgにまで痩せてしまった中沢は、医師である家内により毎夜、1000ccの高カロリー補液療法の継続でなんとか命を永らえ、術後2年で、週2日の外来診療への復職、時にはカートに乗りながらではあるがゴルフまでも出来るようになった。真にもって厳しく辛い闘病生活ではあつた。

平成22年春、元氣を取り戻した中沢は、高井や恵迪同期の数人の仲間とで脳梗塞の友人の見舞いを兼ねて仙台に集い、作並温泉に遊んだ。寮歌中毒の高井と水庭は他校の寮歌までも競って諳んじ、歌い続け、紅潮した頬で青春時代に立ち戻っていた。その際、来年は高井や在京の友人が

幹事となり、鬼怒川温泉で久しぶりの「恵迪昭和26年会」を開催しようと話が決まった。病み上がりの中沢にしてみれば、懐かしい多くの仲間たちに再会できると胸躍る思いであつた。

*東日本大震災とその影響

高井大兄へ…平成23年3月25日

謹啓 3・11の東日本大震災、大津波、そして原発事故の3拍子揃った大災害に2度目の敗戦を経験しているようだ。清水君から便りがあつた。予てより貴兄の占いでも東北地方の大震災を予告していたが、このように現実化してみるとびっくり、というより腰が抜ける思いです。幾度か貴兄に電話したが通じなく、金沢へ避難して留守なのか、或いは停電なのかと電話をすることを諦めた。同時に仙台の友人たちに電話するも全く通じず、ひどく心配していたら、何回目かによつと久門君に繋がりが、「昨日より電気がついて、配水車の水と電子レンジにてご飯が食べることができた」と。前君の家も高

台にあって津波には心配なく、久門君の家もあちこちにガタがきたが大丈夫。翌日、澤夫人から電話あり、脳梗塞後の主人は丁度病院旧館に入院中であつたが、その旧館が壊れたので急遽新館に移り、当初は廊下であつたが今は二人部屋になったとのこと。病状は悪化することなく、安定状態とのことであつた。東京の川村君よりもメールあり「高井君の所は本が散らばって、多少の損害があつたらしいが、彼は元氣のようだ」とのことであつた。

仙台の知人達への電話は多分不通かと思ひ、日立の水庭君には安否を問う葉書きを出してみたところ、2日後に彼から電話あり、「屋根の鬼瓦落下、ブルーシートで雨を防ぐように覆っている」と。やはり電気、ガス、ガソリン、食品などに難儀しているようであるが、特に心配ないと言へた。その翌日辺りから水道水の放射能汚染が報道されるようになり、原発の破壊程度の進展から、福島近辺の広域の大気汚染で大変なことになるぞと大いに心配になった。

さて、小生の術後3年目のPET検査の結果は再発、転移などの著変なく、只、血液の腫瘍マーカーの値が多少病的なので、4月初旬に腸の内視鏡検査を行うことになった。これも多分異常ないと想われる。しかし、東京も水道汚染や停電などによる交通異常で電車もままならないよう、3月か4月には東京に出向き、貴兄と一献傾ける件は、少時延期せざるを得ないと考えます。向後、原発破壊はますます悪化し、放射能東京汚染が強くなるようであれば、貴兄も奥さんの実家の金沢への避難は致し方ないでしょう。

さて、恵迪入寮60周年記念「昭和26年会」開催について関東、関西の諸氏と話合っています、このような大災害時ではその開催は困難で、暫らくは世の中の推移を見守り、ゆつくり考えることにしましょう。愛すべき奥様に宜しくお伝え下さい。

こんな世の中でも、東京ではそろそろ桜も咲くのでしょうか？

附・PET検査 positron emission

tomography 陽電子放射断層撮影・・
18F-fluorodeoxy glucose (FDG)
をトレーサーとして糖代謝の盛んな
がん組織や転移を検索するもの。

二、水芭蕉の咲く春、高井君の発病

中沢聰大兄へ..平成23年4月28日
高井君からの便り。

謹啓 次第に温かくなり、札幌にもそろそろ桜が咲く頃と思うが、その後体調は如何？ このところ、春先の北海道を訪れていないが、延齡草や水芭蕉の春の息吹が懐かしい。

先日、「昭和26年会」の在京幹事川村君から「近日、集って色々相談したい」と連絡があつたが、最近、小生の体調がおかしく、病院での検査を受けに通っている、残念ながらその集まりには参加できず、小生抜きで相談、取り決めて下さいと返事をした。実は一月前頃から便秘や下痢など腹の具合が悪く、又、体重減少が激しいので、新宿のJR病院にて検査して貰っている。浣腸や下剤で少し楽になったが、どうやら悪い食物残渣が腹の中に居座っている

らしい。

ゴールデンウィークには息子や孫と金沢に出向き、少し、あちらでのんびり暮らそうと思っている。帰った頃には病院での検査結果がはつきりするだろう。又、連絡します。

高井

高井大兄へ…平成23年5月13日

謹啓 お手紙拝見、ご息たちと金沢にお出かけの様子、なによりです。体調が悪いと何処にも出かける気が起きないものです。そういう点ではまだまだお元氣な証拠です。体重が減少したということです。老人の場合、経年変化による心肺機能の低下により食欲が少しずつ減退し、体重を減少させ、心臓を楽にすることが多いのです。即ち低下した心肺機能に見合う体重にすることにより、自然に延命を図っているのです。しかし、急激な体重減少は要注意です。消化器系の悪性疾患が疑われます。精査が必要です。

小生の来週は、前回の検査で発見されている数個の大腸ポリープを内

視鏡的切除するため2泊3日の入院の予定。

さて、楽しみにしていた「昭和26年会」入寮60周年記念旅行の案内が来ました。川村君には大変ご苦勞をかけて申し訳なく思っています。東日本大震災や原発大災害と重なり、貴兄を始め東日本の諸兄には、その決断を下すに大変でしたでしょう。10月には元氣な貴兄にお会いできるのを心から楽しみにしております。家内と共に出席予定。

9月中旬の恵迪寮同窓会西日本大会にも最後の出席を意図し、この際、豊中市の青山君の見舞いをと目論んでいます。……？ 小生の大腸ポリープの病理所見によつては総てが変更になる危険性を秘めています。80歳に近い我々の仲間の総ては「あの世行き」の片道切符を閻魔様から渡されていて、終着駅は間近なのです。まあ、行くとなれば超特急で逝きたいものです。ピンピンころりが理想でしょう。今後、小生のがんが再発した場合でも、抗がん剤などを全く使用しないことを主治医と既に

約束し、抗がん剤による毒殺を避けることとしています。少しでも動ける間には旅行などをして美味しい食事などを楽しもうと思っています。

*高井君より緊急電話 5月16日

夕方6時頃

「もしもし、中沢か？ 俺、脾臓がんだつてよオ……」

金沢から帰り、J R病院の消化器内科の医師に検査結果を聞きに行ったところ、「余命6ヶ月の脾臓がん」と告知され、がんが総胆管を圧迫、胆汁の流れを阻害し軽度の黄疸となっている。早急に入院治療も必要だが、若し、この診断に疑問があれば他の病院の医師のセカンド・オピニオンを得ては如何ですか？と言われた。どうしたものか？という内容の「びっくり仰天の電話」であった。

直ちにインターネットでJ R病院の消化器内科の医師たちの内容を調べたところ、いずれも東大出身の経験豊かな優秀な方々が揃っているようである。

①この先、セカンド・オピニオンを得るために更に別の病院に出掛けるのは時間の無駄②現在の主治医は信頼に足ると思われること③早急に黄疸を解除する方策（ステント挿入術）が必要④がんに対する治療の開始などから、医師たちの資料と共に早々の入院加療を勧める手紙を送付した。

加えて、高井君の令夫人（久美子さん）のメール・アドレス…ssss@*.orgを聞き出し、スピードある情報交換を密にすることに気付いたのであった。

平成21年の日本における死因統計上、悪性腫瘍がトップであり、膵臓がんはその悪性腫瘍中第5位であるが、年々増加傾向を示している。発病初期には症状が殆ど無く、発見された時にはもう手遅れで、手術治療が不可能であり、早い転帰をとることになる。これが「がんの王様」と言われる由縁なのである。畏れ多くも昭和天皇、プロ野球の土井正三、歌手の青江三奈、近くは淡島千景の

死因である。肝臓からの胆汁は、胆嚢を経て胆管を下り、膵臓からの膵管と合流し総胆管となり十二指腸に注ぐ。膵臓がんの90%は膵頭部に発生するので、増殖すれば総胆管を閉塞し、高度な黄疸を発症し、重態となる。又、解剖学的にも手術が困難な部位でもある。

そう言えば、先日の高井君からの手紙に有毒な延齡草や水芭蕉のことが書いてあったが、特に水芭蕉は、中沢の子供時代には「蛇の枕」と呼び、不吉なものとして見るのも嫌がったことを想い出したのである。（葉の汁は皮膚炎を生じ、根茎には毒性のアルカロイドを含む）

中沢のパソコンに早速のメールが飛び込んできた

へ5月23日 2011 3:04 PM

件名「有難うございます」 久美子より

ただ今お手紙届きました。本人も今読ませていただいています。

鉄道病院には「他の病院のセカンド・オピニオンを求めません。こちら

らの病院で早急に治療をお願いします」と伝えました。明日午前中の診察予約を取りましたが、入院の指示は、まだです……。日中は床に就くこともなく、読書、パズル、片付け物などをして。

外来治療での緊急の総胆管へのステント挿入で、胆汁が出だしたせいか食欲も出てきたようです。軽く、5食位もしています。

資料有りがたく読ませていただきます。同病の方の5年生存の情報など、本人、声を出して読んでくれました。又何かとお教え頂きたく、よろしく願います。

本当に有難うございます。呑気過ぎた自分に、反省の日々です。

へ同日 19:38 高井君と奥様へ

総胆管閉塞が解除され、胆汁が十二指腸にスムーズに流れるようになり、胆汁成分が血中に混入しなくなったので体調は著しく改善すると思います。食欲も出だし、好きな物を食するのも良いのですが、刺激の強いものや脂っこいものは控えた方が良いでしょう。北海道の物でこ

希望の食品がありましたら遠慮なくお申し出下さい。直ぐに送ります。

私も重複がんと闘い抜き、どこかの国の將軍様と同じようにふてぶてしいと高井君に言われましたが、高井君はもつとふてぶてしく、冷静な、強固な精神力で闘病するよう祈っています。私の継母は百歳で、只今は介護施設にお世話になっていますが、我々も百歳までにはまだ20年も残されています。大いに頑張りましょう。

状況が急変したり、心配事が生じた場合、それに的確に対応できるかどうか判りませんが、ご遠慮なく、いつでもメールして下さい。中沢

〈5月25日〉10・55 件名「入院は決

まりましたか？」高井奥様へ

気ぜわしい事と、ご心配で大変なこととでしょう。病気のステージがかなり進んでいますので、担当医師から治療について、かなり困難なことを言われたのではないかと心配しています。効果はつきりしない治療法が散在しますが、今の所、化学療法が最善というのが定説です。治

療を始めるとなれば、早々に開始されるのが望まれます。中沢

〈5月26日〉12・01 中沢様 久美子

より

25日朝、入院しました。26日 抗がん剤治療が始まります。塩酸ゲムシタビンを週に一度とか、2コース毎に腹部CTで効果をみる。副作用の事等いろいろ辛い説明がありました。31日、ERCPにより観察しながら金属ステント留置術の予定です。

本人が大きさを先生にお訊ねしたところ、がん部は2 cmで、4 cm程血管に浸潤していると……。自分でステージⅢかな？と云っています。

「中沢も手術や抗がん剤で頑張ったんだ」俺も明日からが勝負じゃ！がんばるぞ！」とふてぶてしく氣勢を上げていました……。お忙しい中沢先生のお気を煩わせ本当に申し訳ございません。こんな治療するとお伝えしてくれと言いましたので……。

附・ERCP(endoscopic retrograde cholangio-pancreatography) 十二指腸から逆行性に胆管

や膵管を造影し、胆道や膵臓疾患を診断する法。これで観察して、がんなどの新生物で狭くなった総胆管などにステント(煙突ような管)を挿入し、膵液や胆汁の流路を確保する。

〈同日〉17・11 返信 中沢より

入院治療が始まったとのこと。結果は神のみぞ知るですが、するとなれば治療開始は早いに越したことはありません。薬剤効果はがんの量とも関係があり、がんが小さいほど効果が出やすいからです。gemcitabine Ⅱ 製品名 Gemzar ギェムザールは、がん細胞のDNAにとりついて、がん細胞を自己死(自殺)に追い込む薬剤です。がんの薬の多くはどれもこれも副作用が強いようです。吐き気などで食指不振となりますが、私の場合、水分の多い果物・西瓜、リンゴジュース。また、魚、肉などの出汁入り雑炊(あつさり味)の消化のよさそうな食事を吐き気があっても目をつぶって食す。私は最近になって牛乳を飲めるようになりましたが、乳製品が嫌いであれば……。

抗がん剤により脱毛となりますので、写真をとるのであれば早い時期に。いろいろご心配でしょうが、取り越し苦労のように先行きをあまり深く考えても仕方ありません。作家の渡辺淳一氏ではありませんが『鈍感力』が大切です。うちの奥さんも心配していますが、高井さんなら大丈夫！ 抗がん剤治療にも充分耐えることが出来ます！ 恵迪寮ですの」と。

へ6月3日へ10・39 件名「その後如何？」 高井奥様に

入院後2週となつて2回目のジェムザールの注射が行なわれたと思いますが、同時に内服薬としてTS-1（テイエスワン）という薬を内服していませんか？ 服用しているならば更に副作用が強くなり大変かと心配しています。人により副作用の程度が異なりますので一概には言えませんが、いずれにしても吐き気が強いのではと想像しています。

ジェムザールは1週おきに3回を行い、続く1週を休む、というように投与されると思います。効果判定

にはCT（断層写真）などで腫瘍の縮小を診たいのですが、こうした放射線検査は頻回には行えないので、血液検査（腫瘍マーカー）など検査値で判断します。多分、CA19-9、CEA等の数種の検査が行われているでしょう。もし、その数値が判明したら教えて下さい。高井君のご機嫌が悪くならないように祈つて……。中沢

へ6月9日へ12・07 「その後具合はいかが？」 高井大兄に

治療開始後3週目となり3回目のジェムザール注射が行なわれたと思いますが、副作用の具合は如何かと心配しています。TS-1を服用していないようなので、吐き気も少ないかと想像していますが、食欲減退に逆らつて大いに食べていますか？ また、毒性薬物を体外に排泄するためにも十分な水分を摂取、利尿が必要になります。1日に2ℓ程度の水を飲めといわれますが、小生の場合、胃袋が全部切除されているため、中々困難でした。病気の性格上どうしても水分補給が少なくなりますの

で、リンゴジュースや水分の多い果物、西瓜など3食ごとに食し、時にはトコロテンも……。

昨日、清水君より久し振りの電話、しゃがれ声で他人かと思つたほどでした。2ヶ月前、狭心症の重症3枝病変でバイパス手術を受けたとの事。術後結果はまあまあで昨日退院してきたという。長期間の糖尿病性の冠動脈変化なので動脈硬化が高度で、手術も厳しいものがあつたのではと想像しています。

5月上旬、小生の大腸ポリープ3個切除（2泊3日）は、その1個の顔立ちが悪く心配しましたが、病理検査ではがん細胞（-）だが怪しげ？ 6ヶ月後再検査ということになり、取り敢えずホッと安心。

貴兄の場合、まだ最初の治療ですから、全精力を傾けて病氣と闘う必要があります。われわれ恵迪寮一四六期委員会寮務部の仲間、沼田も小生も胃がんに勝ち抜き、久門も慢性腎不全と闘っています。当然のことながら貴兄も間違いなく元気になります。暫くの辛抱です。弱音を吐か

ず頑張ってください。中沢

へ6月11日> 12・31 高井大兄に

白血球は2.0と書いてあったが、多分20000の誤りであろう。血液の1立方mm中に赤血球は4、500万个、白血球5、6000個が通常存在する。しかし、これらの血球の寿命は2、3ヶ月で、ご馳走を食した正月の頃の赤血球などは既に無くなり、3月頃以降に出来た赤血球が現在の体を満たしているのである。

化膿菌などの細菌がとりつくと白血球が1万以上に増加することは良く知られており、例えば盲腸（虫垂炎）の際、白血球数を調べ、増加しているならば化膿しているとして切除術が行われる。2000以下では高度のウイルス性の感染や免疫機能低下が危惧される。抗がん薬はがん細胞のDNAにとりつき、**がん細胞の自己死（アポトーシス）**を導く。当然のことながらこうした薬剤はがん細胞にとどまらず、総ての正常細胞の子供たちの発育をも阻害し、新陳代謝の激しい白血球などの生育に著しい影響を示すのである。

これらの作用は人によっても強く出る人と、僅かしか出ない人が居るが、この副作用の強い人には抗がん作用も大きいかと推測される？

私の場合、術前体重62kgが術後50kgに減少したにも拘らず、術前体重に応じた薬量を使用したため、更に副作用が高度に出現、2ヶ月後に体重に見合う量に減量。今考えてみると、初期治療に大量の抗がん剤使用が効果があったのか？などと勝手に考えている。

一般に抗生物質など薬剤を使用する場合、「*therapia magna sterilis*」¹（trans）²といって電撃大量療法が効果的であると古い教科書にも書いてある通りなのである。

ただ、白血球減少は感染に対し防御機構の減弱を意味しているので、細菌だらけの人ごみの中には出かけない方がよい。余儀なく外出する場合には、福島原発の放射能の予防のようにマスクをし、うがい、手洗いに留意するに越したことはない。

白血球増多、免疫力増強のための強力な薬剤は現在の所、存在しない。

有っても眉唾なものが多い。食指不振がそれ程でなく、胆汁鬱滞性の肝障害が改善されているので、油濃いもの、刺激強いものの以外の、消化の良さそうな物を沢山に食べてください。

病気に気を取られ、一日が流れるように過ぎてゆくことでしょから、この際、パソコンでも少し勉強し、ゲームなどで気を紛らせては如何？ 小生、副作用の強い時期にはゲームをしたり、いろいろ書き物をパソコン上に残しました。中沢

へ6月17日> 16・12 件名「音沙汰無
いが変わりなきや？」 高井大兄

札幌も急に暑くなり、初夏を取り越して夏になってしまった。庭のつじや石楠花は満開の花びらが急に萎びて惨めな姿、代わって牡丹、芍薬が派手な顔つきで艶姿を見せびらかしている。樹木の輝くような緑葉はそよ風にそよぎ、精気を呼び起こしている。庭に出てこの大気を胸いっぱい吸い込む。森林の精気フイトンチッド（Fitontsid）など、

これが総ての邪気を吹き飛ばすようです。

小生、比較的元気ですが体重47kgから増えず、日中は睡魔に襲われ寝てばかりいて、急激にボケが進み、認知症必至の様相。それに気付き、ゴルフ場にパターの練習に出掛けたところ仲間に見つかり、催しごとの寄付金を無心された。眠気払いにも金がかかることに気が付いた。それなら、ということの日曜日のゴルフコンペに出場することにした。多分、最悪のスコアと腰痛が残るに違いないが……。

「昭和26年会」旅行幹事の川村君より、貴兄夫妻などの欠席で参加者は十数名の少数になったと連絡があった。高齢者ばかりの会なので致し方がない。

日中の気温の高さと夜間の低温が明瞭となったので、多分メロンの甘さが増加する。近日中に夕張メロンを発送するように手配しましょう。

元気な高井の顔が見たい。中沢

へ6月18日 13:54 件名「東京は梅

雨の最中……」 中沢大兄へ

いつもメールをありがとう。此方は梅雨の最中、毎日ドンヨリした空、梅雨のない札幌が羨ましい。先日、白血球2.0と記したが、×1000とありご指摘のように2000です。

23日の外来検査ですが、どれだけ改善されていることや。その他は目立った副作用はない。あえて言えば、多少の疲労感が抜けないこと、夕食欲の減退程度か。しかしながら晩酌抜き夕食はつらい。が、それで困り果てている訳でもない。夜は良く眠れる。

体重減少は食い止められ、この10日間ばかり61kg台で推移している。

毎日リクライニング・チェアで眠ったり、パズルやテレビで暮らすことが多く、来る日も来る日も過ぎていく。外出（散歩）も梅雨空ではつい出そびれてしまう。退屈だが激しい副作用から免れているだけ幸せと思う。ところで、瀬田クリニックの免疫細胞療法を併用したらと云う事を聞いたが、どんなものでしょうね？何か参考になることあれば教えてください。

〈同日〉18:51 返信「瀬田クリニックの免疫細胞療法」について

メール拝見。副作用が余りいたいたことが無いのは良かった。抗がん剤は、白血球減少、血小板減少など、新しく入れ替わる細胞に強く作用をする。勿論、主とするターゲットはがん細胞だが、正常細胞にも作用するので始末が悪い。さてお尋ねの瀬田クリニックの免疫細胞療法は、札幌にも支店（クリニック）があり、その評判は？マークです。一般に生体の細胞免疫は各種リンパ球で行なわれるが、その内のがん細胞やウィルスを食べるnatural killer細胞を増加させる（NK細胞療法）、がん細胞を集中的に攻撃する細胞傷害性T細胞を増加させる樹状細胞ワクチン療法から構成されるとしている。理論的には免疫力を高める正攻法の治療であるが、その効果の程は不明である。但し、貴兄が行っている抗がん剤治療とは正反対のもので、併用することは非理論的と思うのだが、それらの併用療法云々が巷間流れていることは、どちらも決定的効

果を持たないことを意味し、また、国際的にも完全に認められているものではないようだ。

この治療を行った数人の患者を知っているが、いずれも治療困難な腓頭部がんの症例で、目立った効果を見ることなく不幸な転帰をとり、他の例は高額な費用を賄いきれず、中止したようだ。貴兄のジェムザール治療の副作用が強く治療継続が困難な場合、何ら治療をしないわけであるから、若し高額費用に耐えられるのであれば、免疫細胞治療を行うことも一つの方法とも言える。が、積極的に推薦する程の資料を持たないので賛否を云々できない。抗がん剤使用の効果例は、以前にも話した北大文学部教授の長期生存例を知っている。瀬田クリニックの治療法は、費用などを含めインターネットで調べれば良い。私の患者さんにもその調査資料を提供したことがある。

平成23年7月号の文芸春秋には「がん患者が病院の看護婦に嫌われない法」の座談会が載っていた。購入して熟読することを勧める。若い

美人の看護婦さんに嫌われては、美男子の高井君の沽券に関わる。奥さんに宜しく。

小生の大腸検査後、浣腸のせいか体重46kgと2kg減。腫瘍マーカーは1種類が擬陽性、他は総て正常範囲内。貴兄の腫瘍マーカー値が判ったら知らせて下さい。中沢

へ6月24日 12:30 『いつも有難う』

中沢大兄へ

いつも適切な助言を頂き、力づけられている。深く感謝申し上げる次第である。

さて本日(23日)からジェムザールの2コースへ入った。血液検査の結果は好調。黄疸は消え去り、全て正常値の範囲内。白血球は4400とこれまた正常値。今回の血液検査は健康な人と変わらぬ成績だった。

大変嬉しい。第2コースは量も少なくなかったので副作用も少なくなることでしょう。今後はレントゲン検査やCTなどで効果の測定しながら投与

が続けられることになる。以前問い合わせのあったマーカー(CA19-9)は5月9日3721、6月23日

3973と高い値のようだ。(附:C A19-9の正常値:0-37)、体重は61kg死守と防衛線を定めていたが、

今朝は遂に60、85kgとその線を下回った。次は60kgを死守としようか。もう一つ免疫細胞療法セミナーを聴きに行ったが、余りパツとしなかった。中沢説によるドクターの印象からすると余りよい点数をつけたくないので、興味を示さないことにしたい。高井賢明

へ同日 14:45 返信 高井大兄へ

昨日(木曜日)は貴兄の受診の日なので、白血球数の増加や如何と心配していたが、正常範囲となり治療が続けられたのは良かった。もう2、3回の注射後には腫瘍マーカーの数値が下降傾向となるだろう。

周囲の人からの数々の治療法の情報で思い患う事も多いかと思いますが、取り敢えずは抗がん薬の治療に専念、経過観察が良いでしょう。

市場の八百屋にメロン発送の相談をした所、ことしの夕張は天候が良くなかったせい、今の所、出来が悪く、甘みも薄いようで、7月に入っ

てからの方が良いでしょうと助言された。そう言えば、デパートの果物コーナーでも、夕張メロンの陳列が殆んど無く、有っても、ばか高い値段で、「もう少しお待ち下さい。そのうち良い品が入荷しますから」とのことであった。いつもの八百屋の親父は時期になると電話してくるのだが、今年は無言なので問い質してみると、只今白血病にて大学病院入院中とのこと。世の中『常ならず』いろいろありますな。小生の体重只今47kg、貴兄には小生より10kg以上もあるので心配なし。消化の良いものを沢山食べて下さい。がんと結核は栄養を食いつぶす消費病 (consumptive disease) と呼ばれています。がんの程度や転移を検査するPETは、その性質を利用して、ブドウ糖にR-1 (ラデオアイソトープ) を付し体内に投与。するとそのRIは代謝の激しい病部に集積するのでがん本体は勿論、転移や撒布巣まで映し出されるのです。年年歳歳、治療法は改善されていきますが、ただがんの奴は、それよりも一段高い所

から治療者を睥睨しているようです。憎たらしいことです。中沢

へ6月30日◇ 23・40 「いつも有難う」

中沢大兄へ

30日抗がん剤第2コース2回目投与。無事終了。事前の血液検査は白血球が2900と下回ったが予定通り投与された。その他若干正常値を下回るものもあったが心配なし。従って今のところ7月14日にCTなどでこれまでの治療効果の確認の予定です。高井

附・CT II コンピューターX線断層撮影 (computed Tomography)

へ7月4日◇ 17・34 返信

第2コース2回目投与 (計4回) で、WBC (white blood cell 白血球) 2900程度であれば心配ありません。RBC・赤血球の減少も僅かで、これも3回目からは薬剤投与量を減らしたせいでしょう。WBC、RBCの減少や食欲減退、そして頭髮の脱毛がその副作用の最たるものですが、貴兄の頭髮は元来少ないので脱毛がはつきりしない? 小生の場合、随分抜けましたが投与量が少

なかったものでそれ程ではなく、TS-1服用のせいで紫外線による日焼け(黒くなったら元に戻らない)の予防が大変でした。よく街中で瘦せた、病的に色の黒い老人たちを見かけますが、その殆んどが多分、抗がん剤治療を受けた人達と思われます。そこで、夏場は日焼け止めのローションを沢山塗りたてて、チンドン屋のようにマダラな顔で主治医を訪れたら、「あれー、中沢先生、もう少し上手に塗ってください!」と呆れられた。

各種医学会からは名誉会員、特別会員となっていますが、今度は「心臓血管外科名誉専門医」のお免状が届いた。このような称号を受けた方の多くが高齢で旅立っているのです、あの世行きの特別列車の切符のように思われる。それにしても歳をとってしまったものだと思惑。お互い様、更に元気に生き抜くことが肝要。中沢

へ7月11日◇ 17・00 件名「その後の容態は如何?」久美子様へ

ステント再挿入後の容態の改善具

合は如何？

①熱は下がりましたか？ 併発した炎症のために発熱しましたので、良くなれば解熱します。また、白血球数、血中炎症反応を示すCRP値、などが正常値となれば安心です。

②胆汁鬱滞性肝炎の消退？ ステン
ト再挿入により、総胆管から十二指
腸への胆汁の流れが改善されれば、
肝臓内の胆汁の鬱滞により胆汁成分
が血液内に紛れ込む（黄疸）につい
ては、血中のビリルビン値（黄疸指
数）や、特に血中アルカリホスファ
ターゼ値（ALP）は敏感で、例え
ば胆石や胆管がんなどにより胆汁の
流れの悪さを示すものです。

血液検査の報告を医師から告げら
れることと思いますが、口頭だけで
なく、毎回、検査報告書を貰うよう
にして下さい。その中身が判らなけ
れば、小生に問い合わせて下さい。
判ることだけはお答えします。

上記の検査値が正常化すれば当然
退院可能となります。が、抗がん剤
の副作用も出てきて、貧血になった
りすれば、その治療も必要となるで

しょう。それらが多少解決され、出
来るだけ自宅療養が望ましいと思ひ
ます。好きな物、食欲が出るよう
なものなどを、病院の食事では？

7月15日 12:12 件名『退院しま
した』 中沢 大兄へ

昨日退院しました。メタリック（鋼
製網状）ステントへの取替えを行ひ
ました。一方、これまでの抗がん剤
の効果や今後の方針等の診断は、来
週21日に行われる予定です。今回の
入院では10日足らずの間に2度のス
テント取替えで、かなり体力を消耗
しました。高井

同日 17:44 返信 高井大兄へ

取り敢えずの退院、良かったです
ね。これはステント脱落↓胆汁流出
阻害↓胆汁鬱滞性肝炎が金属製メッ
シュのステント再挿入により快方に
向かったということです。胆汁の鬱
滞は肝細胞を破壊し、黄疸、発熱、
食指不振、高度の全身倦怠で重篤な
体力低下をきたします。これを快方
に向かわせるには、①水分補給↓体
を洗浄し、黄疸のもととなった胆汁
成分を洗い出す②傷んだ肝臓と体力

を補う糖分の補給（お粥、果物、甘
いお菓子、リンゴジュースなど）が
最適です。

この度の肝障害の修復が重要で、
中途半端な抗がん剤の治療効果はあ
まり期待できないでしょう。しかし、
ジェムザールの効果が著しい人も居
ますので、21日のCT検査が若し良
い方向であれば、或いは進行が止
まっている状況であれば幸いですよ
ね。

通常人でも1日に1.5〜2.0ℓの水分
補給が必要です。猛暑の折、更にこ
うした肝障害の場合には自宅でも点
滴による強制的水分補給が望ましい
のですが、近所の医院、診療所など
で点滴注射などしてくれる適当な所
があれば良いのですが……。鉄道病
院の主治医がそれに同意するなら
ば、近医に対し毎週2、3回の補液
治療の依頼書を書いてもらえれば良
いのですが……。私の場合、自宅で
毎日1,000mlの点滴による補液
と努力性飲水により対処しました
が、中々飲めなくて困りました。抗
がん剤治療中には体重減少が著しく

43 kgとなり、貧血も高度で、総計2400 mlの輸血も行なった程です。こうしたことが、病気というものなの、治療というものの本体です。これに打ち勝つ気力が必要です。あまり力むことはありませんが、落胆したり、無気力になることはイケマセン。恵迪精神にもとります。心配があればいつでも、いかなる事でもメールして下さい。中沢

7月20日 11・34 久美子様へ

その後、ご主人の体調や如何？熱は出ていませんか？尿の色は病的に濃い色になっていませんか？食欲は？不機嫌になっていませんか？

TVで、なでしこJAPANの優勝の瞬間を共有しましたか？日本女子サッカー世界一となり、「これは凄いやあ!!」とばかり大喜びしましたか？

小生、元気いっぱい。全英オープン石川遼君が予選落ちなので、ただ一人予選通過の池田勇太選手を応援。深夜までTVを見ていましたが、これまた失墜。そこになでしこが出

現。連日、深夜、或いは早朝から応援。日中はうとうと寝ている状況になりました。

高井君もこうしたスポーツや総理大臣の厚顔無恥さ加減で気を紛らわせているのでしょうか？

清水君も心筋梗塞の手術から無事、生還。胃がん術後＋難聴＋白内障＋パーキンソンの沼田君（商大名誉教授）は小樽商大の100年記念の祝賀行事の雑用から漸く解放された模様。

小生、本日これから病院に出かけ、外来患者の診察です。

ご主人に「元気出せ!」とお伝え下さい。中沢

同日 17・38 件名「有難うござい

ます」 中沢様

お陰さまで平熱です 入院中抗生物質の点滴を続けたからでしょうが、尿の色は、退院時はまだ褐色でしたが今は透明できれいです。黄疸は治まったようです。それと同時に食欲も少しずつ……今日のお昼は「握り寿司だ」と。生ものはどうかな?と思いつつ。ほとんど一人前を。



急にカレー蕎麦を喰ってみるとか注文を出してくれるようになりました。やはり食べると体力気力が出てくるようで明るくなってきましたようです。ただ外へは一步も出ていません。四六時中冷房漬けが気になります。が、仕方ないかな?と眼をつぶっています。

なでしこJAPANは、起きてからとても喜んでいました 私は勿論2戦ともLIVEで……

そうですね、だるい時は「うるさい!」と興味なかったことでしょうね。水分も極力飲ませるようにしています お宅様と違って全く医学に無知な我が家。いつもながら適切な心強いアドバイスを頂き本当にあり

がたいです。明21日は抗がん剤の効果や今後の方針が伝えられる事となっています。また報告させていただきます。久美子

7月21日 10・10 高井大兄に

体調が少し良い方向に戻ったよう
で良かったですね。食欲が出だしたのは非常に良い兆候です。これから先、益々元気になることを期待しましょう。高温の部屋より冷房の効いた適当な温度の居室の方が体に良いと思います。国の計画停電、節電など関係有りません。患者の尤も快適な生活を確保することが肝要です。食事においても、患者の欲する物や体が必要とする栄養素を無意識に欲しくなるものなのです。

発熱は①高度胆汁鬱滞による肝細胞損傷②併発した細菌感染③変性細胞などの吸収熱④脱水症による熱などが考えられます。抗生物質は②に
対するもので、①③④には水分＋電解質＋糖分補給により対処すべきものの
なのです。

こうしたことが次第に満たされて
ゆくと、気分良好となり、機嫌良く

なるのです。血中に黄疸成分（ビリルビンや胆汁酸）などが肝細胞破壊により流入すると、言いようなない程に全身倦怠感が襲います。これに
プラスして抗がん剤副作用＋原疾患による症状Ⅱ計りしれないほどの倦怠感、ということになります。これが解消されてきていますので良かった、本当に良かった。中沢

同日 22・38 件名『返信』 中沢

大兄へ

21日の診察結果は次のように「マア、マア」の成績でした。

1) ステンントの脱落取替え等に伴う
黄疸に対する措置は順調に進み、血液検査のALP（アルカリホスファターゼ）も360（正常値上限338）まで下がっているので心配ない。
2) 白血球も4700と正常値の範囲内。血小板も前回の9万2000が47万4000と大幅増（正常値超）
という状況である。従って抗がん剤の副作用も心配なし。

3) マーカー（CA19-9）は、初診時の3721が3776で横這い。

（註・正常値の100倍）

4) 初診時2cm大であった原発病巣は、CTではメタリックステンントの影となつて良く見えない部分もあるが、大きくはなっていないし、小さくもなっていない。治療により拡大を許さなかった効果があつたと考える。従つて今後ともゲムシタビンの投与を継続する。ただし、投与量を120cc（当初の60%）に落として行う。その結果、副作用も軽減されるでしょう。以上です。

お蔭さまで小生の食欲・気力も次第に回復気味ですし、夜は熟睡しています。

いつもながら適切なアドバイスに感謝いたします。 高井

7月22日 10・31 返信 高井君に

21日の診察結果を拝見しました。

非常に良い結果と思います。血液検査所見としてはCA19-9以外は正常値で、敏感なALPも改善し、胆汁鬱滞性肝炎が極めてよく治癒しています。

脾臓がんについては、不十分な抗がん剤投与にしては、がんの発育をよく抑えているようで、向後のきち

んとした（定期的）治療の効果を充分に期待させるものです。睡眠も良くとれ、食欲も増している一般症状の好転は、ご家族や小生を安堵させるものでしょう。貴兄の全身倦怠感も改善し、気分良好ということは、何がともあれ「万歳！」です。中沢

後編に続く

これから暑い夏がやってきます。難治の膵臓がんに対する3ヶ月の治療は少し良いようですが、果たして？ また、再発必至と思われる胃・食道がんの手術3年の予後は？

※この原稿を書くにあたり、高井君の令夫人・久美子さんの承諾を得た。

[付記]

1 食道がんの病期分類と予後

食道がん全体の5年生存率は、1970年頃に比し改善し14%程度である。術後の5年生存率は、0期：95%、1期：50-80%、II期：30%、III期：15%、転移のあるIV期：1年以内に死亡。

2 胃がんの病期分類と予後

胃がんにも病理学的に種類があり、組織型としては殆どが腺がんである。印環細胞がんは一般にスキルス胃がん（硬がん）として予後が極めて悪い。一般には早期発見では予後が良い。5年生存率は胃がん全体で71.4%、I期：91.2%、II期：80.9%、III期：54.7%、IV期：9.4%（国立がんセンター中央病院）という。

3 膵臓がんの発生部位分類

膵鉤部がん、膵頭部がん、膵体部がん、膵尾部がん。膵鉤部がんや頭部がんでは腫瘍が総胆管を閉塞して黄疸や糖尿を悪化させる。

4 膵臓がんの病理分類

- ①浸潤性膵管がん＝膵臓癌の約90%を占める代表的組織型
- ②分腫瘍：進行が穏やか、アップル社のステイプ・ジョブズ氏（7年間生存）
- ③粘液性嚢胞腫瘍・中年女性に好発する。悪性度が高い
- ④その他、等等。

5 膵臓がんの病期分類

- I期 大きさが2cm以下で膵臓の内部に限局している。
- II期 がんは膵臓内部のみで、大きさが2cm以上で第I群のリンパ節に転移がある。
- III期 がんは膵臓外に少し出るが、リンパ節転移が少ないか、または膵臓内部にとどまるが、リンパ節転移が第2群までであるもの。
- IV期 がんが膵臓の周囲臓器・器官を巻き込んでいるか、遠隔転移があるもの。

6 膵臓がんの予後

5年生存率は部位別がんの中で最下位（5%）である。発見が遅くなり、治療は極めて困難ながんである。手術可能な患者は罹患者の2割に満たないと思われる。免疫療法など、更に効果的な治療法の開発が望まれる。

7 がんの治療法

分子標的療法、がんワクチン・免疫療法、早期発見と外科治療、重粒子線治療、陽子線治療など最近の治療法は省略するが、がん細胞の供給源であるがん幹細胞を標的とする新治療薬に期待。

8 TS-1

経口の抗がん剤、テガフル、ギメラシル、オテラシルカリウムの合剤。細胞のDNA合成を阻害、RNA機能も阻害する代謝拮抗剤。大鵬薬品の製品。

阿澄昌夫先輩、安らかに

窪田 開拓（S32年入寮）

旧制最後の恵迪寮の雄、阿澄昌夫氏がご家族に看取られつつ清逸のうちに天に凱旋した。平成25年2月25日午前7時55分享年85歳であった。終戦前後の壮絶な生活から晩年は病と闘いつつも充実していたと思う。

戦中、ご家族と共に満州に疎開し、満州医科大学入学。戦後の引揚船にて奥様になられた昭子様と大恋愛そして北大予科医類入学（昭和20年）、4年後農類に転科、この間恵



ありし日の阿澄さん（中央・四国寮歌祭で）

迪寮入寮、昭和28年農学部水産学科を卒業して結婚された。満州時代や引揚時のご苦労は筆舌に尽くせなかったようである。それに比し帰国後の学生時代はまさに楽園そのものであったに違いない。しかし、戦後の食料難と親の残業で捻出した仕送りでの生活にもかかわらず栄養不足を招いたが北大予科閉校40周年記念誌に寄稿した文章の中

に「人生にはいろいろな潮目がありその繰り返しの中から次の転機に立ち向かう姿勢が大切ではないだろうか」と書かれている。

私、窪田は当時の卒業生は所謂正職に就くものと思っていたが、阿澄さんはアルバイトで糊口を凌いでいた。かかる時、産業模型制作会社の山根社長に会い意気投合して就職。その後（株）ヤマネの社長となった。真面目で正義感のある対応は世間から信用され、徐々に発展の道筋を辿ったのである。北大関西同窓会の組織作りや旧制恵迪寮同窓会設立そして現在の恵迪寮西日本支部の基盤固めなど並々ならぬ活躍をされたのである。旧制主導の寮歌祭は全国各地にあり、阿澄さんは弊衣破帽の着衣で皆勤であった。

平成元年ご夫人のリウマチ治療のため、ご夫人の故郷に居を移し終の棲家とした。大阪と湯布院の度重なる往復の間、奥様が平成15年死去、ご本人は平成20年脳出血を発症しリハビリの最中に肺炎となり、ほぼ寝たきりの状態となった次第である。

この間、阿澄さんから小言など聞いたこともなく人生まさに青春を謳歌した生き様だったと思う。ご長男である一秀氏は父上を尊敬され、ご夫婦共々、看病されていたのである。

まさに戦後の荒波に揉まれつつも不平を言わずひたすら家族を慈しみ、会社を維持発展させさらに同窓会に揺るぎない愛情を注いで下さった先輩に心の底より敬意を表する。阿澄さん、有難う。あなたの足跡をじっくり学びます。

（前恵迪寮同窓会西日本支部長）

恵迪寮で培われる精神 こころ

第300期執行委員長 村 橋 究理基
(H24年入寮)

大学生が目指していることとは何でしょうか。最近の大学生は学部三年生ともなれば、やれ就活だなんだのと振り回され、就職予備校として大学にきたのか、何のために大学にきたのかよく分らない人が多く増えてきたように感じます。もちろんお金を稼がなければ生きていけないのであるし、就活に躍起になるのは当然のことでしょう。しかし彼らにとって大学とは一体どのような場所なのでしょう。

近年、北大では総合入試制度が導入され、一年生のうちに様々なことを学んでから学部を決定する仕組みができました。ところがこの仕組みの中で自分が望む学部に行くために「いい成績がとれる講義」へ学生が集中するなど、「いい成績をとるために

勉強する」というような考え方が見え隠れしているように感じます。

大学での学びは「就職のための試金石」でもなければ「教授におべっかを使う」ことでもないと思います。他の価値観や既成概念にとらわれず、自ら課題を見つけ、解決のために探求し、よりよい結果を追求していく精神や姿勢を培うことが大学生にとって重要なことではないでしょうか。

その一つとして恵迪寮における自治というものは、自ら考え、行動するという自主自立の精神を養うことができる場として、非常に価値があることだと思えます。自治や共同生活を通じ、多くの人々と関わり合い、様々な考え方や感性が混ざり合うことによって創造される新たな可能性は、世の中に対しても新しい「何か」

を生み出す原動力となるでしょう。

これまで多くの寮生が自治の精神を受け継ぎ、自分達の可能性を広げてきました。私の好きな寮歌である昭和五十五年度寮歌「エルム楡は枯れず」の最後に次のような一節があります。

～ 時は人はと変われども 楡は枯れず空をさす

この歌詞にもあるように、世の中の全てのものは変わらずにそのままあり続けるということはありません。しかしそのように移ろいの激しい世の中にあっても、大きく空に向かって聳そびえるエルムのように、恵迪寮生がこれまで培ってきた精神は変わらずに受け継いでいきたいものです。

(理学部地球科学科4年)



恵迪寮委員長
村橋究理基君

平成24年度 寮歌 「快速エアポート」

作詞・作曲 丸田 潤（H21年入寮）

歌詞もメロディーも若者のノリ

平成24年度寮歌に、丸田潤君作詞・作曲の「快速エアポート」が選ばれた。

丸田君は入寮時の平成21年度寮歌「六華雪解に」の作詞・作曲者でもある。

新制大学になってから在寮中に2曲以上の寮歌をつくった寮生は、長谷川健君（H7年入寮）以来の快挙だ。

旧制時代の流れを汲む、重厚な歌詞だった前作に比べ、「快速エアポート」は、今時の若者が普通に語る言葉で表現している。歌詞の中に「じゃがぼくる」や「白い恋人」など若い人に人気がある菓子名が出てくるほか、曲もギター伴奏によるカントリー調の軽快なリズムが特徴だ。

21年度寮歌に次いで2作目

かつて道外からの北大生は青函連絡船と汽車を乗り継いで札幌にやって来たが、時代は変わって今は新千歳―札幌間を走る快速エアポートがアクセスの主流。

「快速エアポートは、北大生の夢や希望、喜びや悲しみなどを乗せて走っている。そうした思い出をみんなと共有できるような歌をつくりたかった」と丸田君。

24年度寮歌は、序のような前文で北大、恵迪寮の青春時代からの旅立ちを歌った後、一番で新天地での不安と希望、二番で旅立ちの心情を歌い上げている。

丸田君は、農学部森林科学4年生。埼玉県出身だが、卒業後は北海道で、森林関係の仕事に就くのが夢という。



ギター伴奏で自作の寮歌を熱唱する丸田潤君

「快速エアポート」(平成24年度寮歌)

丸田 潤君 作詞・作曲

※快速エアポート 僕を乗せ汽笛を鳴らして駆け抜ける
旅行者達は両腕に白い恋人提げている
車窓流れる街を背にカンバの林を抜ければ
僕はもう独りぼっち さよなら youthful days

一、思い浮かぶ四年前の春のこと その時も
僕は独りこの列車に揺られていたよ
希望に膨らむ夢と一分の不安抱えて
雪の残る窓の外を眺めてた

※の歌詞を繰り返す(白い恋人はじゃがぼつくるに
変わる)

二、思い掛けず頬を伝う一筋のその涙
別離^{わかれ}の先 明日へ向かう決意の証
二度と帰らぬ青春^{そのとき}あれは夢か幻か
だけど僕は紛^{まぎ}うことなく寮^{さく}に居た

※の歌詞を繰り返す(白い恋人はジンギスカンキャ
ラメルに変わる)



恵迪相撲追いコン場所(平成25年3月)

フルートで奏でる 穴戸昌夫君の寮歌三部作が CD に

「嗚呼茫々の」(昭和 11 年寮歌)の序「榆陵謳春賦」の作詞や「春未だ浅き」(昭和 12 年第 30 回記念祭歌)の作曲で今なお絶大な人気がある穴戸昌夫先輩(S 10 年入寮)の寮歌三部作が、フルートで奏でる CD になりました。

昨年の「都ぞ弥生」百年記念祭の折、前島一淑君(S 31 年入寮)ら寮歌愛唱会が「ピアノで奏でる恵迪寮歌撰」CD を配布しました。静かに聴く寮歌も素晴らしいと、感激した同窓会 OB から、今度は穴戸先輩の寮歌をフルートで聴きたいという話が持ち上がり、前島君と同期の川原幸則君、穴戸先輩の縁戚に当たる柴田俊夫君の二人が、榆影寮で 1 年先輩だった北大交響楽団 OB でフルート奏者の千成睦夫氏にフルート演奏を要請。選曲は「嗚呼茫々の」や「春未だ浅き」に、北大創基百周年記念寄贈寮歌「北を恋う」を加えて、穴戸寮歌三部作として完成しました。ピアノ演奏は「都ぞ弥生」百年記念祭の CD やピアノ演奏を担当した吉崎里華さんと一宮明代さんに依頼。楽譜の作成も北大合唱団 OB の金武彦君(S 37 年入寮)が協力。かくて北大寮歌でつながる愛好者の思いが結実し、初めてのフルートで奏でる寮歌 CD が出来上がりました。

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪ 希望者 100 人にプレゼント ♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

この CD は当初、穴戸大先輩の長寿のお祝いに制作されましたが、寮歌のもつ叙情歌としての趣がフルートの演奏で一層高められ、広く寮歌を愛する人達にも聴いてもらおうと、限定 100 枚を希望者に配布することにしました。

希望者は、80 円切手 2 枚(160 円分)を同封の上、〒560-0005 大阪府豊中市西緑丘 2-3-20 柴田俊夫 宛へ手紙で申し込むこと。FAX やメールでの申込は受け付けていません。

恵迪寮同窓会北海道支部 開識社講演会

(平成23年10月13日・札幌市時計台ホール)

汚染による潜在的な健康リスクについて その“予防原則”を考えながら

講師 岸 玲子氏

(北海道大学環境健康科学研究センター特任教授)

はじめに

ご丁寧な紹介をしていただき恐縮しています。高校や大学時代の懐かしい友人たちもお見えになりこの機会を与えていただいた皆さんに心から感謝しています。本日は今、国民の最大の関心事、福島原発事故における放射線の影響をどう考えたらよいかをイントロにしながら、環境問題に対する“予防原則”や市民自ら環境問題を考える、パブリック・オピニオンの重要性について述べたいと思います。

最初は、3・11東日本大震災で最

も深刻な事態になっている福島の放射性問題です。この図は8月20日現在の大気中の放射線量ですが、事故直後、第一原発に近い飯館で最大値44・70 μ Sv(マイクロ・シーベルト)が2・49 μ Svまで下がってきていますが、十分なデータが提示されておらず、よい傾向かどうかはつきりしたことは言えません。また、群馬大の早川由起夫教授が作られた福島第一原発から漏れた放射能物質の濃度や拡がりを示したデータを見ると、放射能は必ずしも同心円でなく、福島県の問題だけでなく国内の、かなり広範囲が汚染されていることが

分かってきました。

放射能汚染物質は広島の40倍

次に福島、ロシア・チェルノブイリ事故、広島原発の汚染度を比較してみます。福島は当初、チェルノブイリ事故の10分の1程度の汚染に過ぎず、影響は小さいと言われましたが、結局同じレベル7になってしま



いました。圧力容器が丈夫だったチェルノブイリは大爆発を起こし爆発物が地上9000^{メートル}まで上り、旧ソ連国内のみならず最大750キロまで汚染が拡散し、最初に汚染に気付いたのも隣のスエーデンの研究者でした。

一方、福島は圧力容器の強度が十分でなかったため、初期の段階で早々と損傷し、汚染物質が漏れ出し、結果として格納容器が入っている建屋の水素爆発が起きました。爆発の高さは低く、チェルノブイリほど拡散してはいないと思われましたが、最近の調査では必ずしもそうでないようです。また福島と広島を比較すると、広島は高熱と爆風で多数の人命が失われましたが、放射能汚染だけに限定すれば、福島は広島の40倍もの放射能汚染物質がまき散らされたというのが研究者やメディアの見解です。しかも、放射性物質総量はチェルノブイリと比べ、福島にはまだ原発3機分の燃料棒、4機分の使用済み核燃料が残っています。炉心冷却の必要がなかったチェルノブイリ

は、多くの消防士の犠牲を出しながら事故後10日で収束しています。幸いにして福島はそこまでは行っていないですが、炉心温度がまだ100度近くあり、連日3000人の作業員が必死に収束作業を続けており、収束の見通しが立っていないのが状況です。

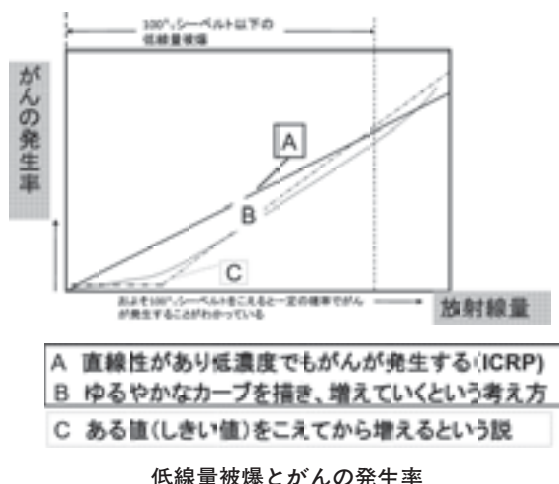
チェルノブイリの汚染レベルですが、住民520万人が20年間に被曝した累積実効線量の平均値は10mS V（シーベルト）から20mS Vでした。意外だったのが全体の77%が10mS V以下でした。10000人に1人が100mシーベルトを超えていたと推定されています。被曝は、主にセシウム（Cs）¹³⁷（半減期30年）による外部被曝のほか、水、空気、食品など内部被曝のヨウ素¹³¹（半減期8日）やCs¹³⁷、Cs¹³⁴（半減期2年）があります。福島ではCs¹³⁷とCs¹³⁴があり、Cs¹³⁴は半減期が2年なので、被曝レベルは早く下がります。

難しい低線量での発がんリスク

今一番の問題は、福島の低線量放射線被曝による障がいなどを考え、対応するかです。その論点は低線量のためリスクは観察できない、きれいなデータがない、証拠がないから、影響がないと言えるのかということです。

放射線被ばくは、白血球の減少や脱毛のように一般的に全員がかかるのを「確定的影響」といい、これに対し福島のように高濃度の施設から漏出した放射線物質でがんになるリスクが高くなるのを「確率的影響」と言います。今は、この高線量にさらされている福島の住民や復旧作業員の「確率的影響」が心配されています。

線量反応関係のエビデンス（証拠）の多くは、過去60年余の広島・長崎の被ばく者の疫学研究から得られたものです。低線量被曝と発がんリスクの関連についてICRP（国際放射線防護委員会）では、「被爆線量と直線性があり、少しでも曝露すると



ガンにかかる」という見地に立っています。線量がある地点(閾値)を超えるとがんが増えるという研究者もいます。低線量でのがん発症の相対リスク(被爆地域とそうでない地域のリスク)を推計すると、100 mSvでは約1.05倍、10 mSvでは約1.005倍と予想され、増加は僅かと考えられます。その一方、長時間の慢性被ばくは、原爆のような一瞬の急性被ばくの場合に比べて影響が少ない、1/2あるいは1/1・



被爆してからがんが発生するまで(広島・長崎の調査)

5とする楽天的な見方もあります。これは広島市の放射能影響研究所のデータですが、被爆してからがんが発症するまで、潜伏期が短い白血病で8、9年後、甲状腺がんが約10年後、肺がんが約20年後、胃がん、結腸がん、骨髄がんが約30年後といわれます。

世界で例がない子どもの生涯にわたる甲状腺検査

チェリノブイリ事故でも、のど付近に溜まりやすい放射性ヨウ素によって小児甲状腺がんが異常に発生しています。ベラルーシでは患者420人のうち60%以上が事故当時0〜4歳で、乳幼児への影響が大きいことが分かります。このため、福島では、県、県立医科大学、厚労省と共同して10月10日から18歳以下の子ども全員36万人対象の甲状腺検査を始めました。これは一生チェックし続けるという世界に例がない取り組みです。

今、食品の暫定規制値に関心が集まっています。内閣府・食品安全委員会は、食品に含まれる放射性物質が健康に与える影響について、「通常の生活で受ける自然放射線を除いて、生涯累積曝露線量が100 mSv以上で影響が見出されるものに対策を立てたい」という評価書を策定中です。3月までの規制値は飲んだり食べたりする内部被爆だけを前提にし

た値でしたが、今回から外を歩いて曝露する生涯にわたる追加的な線量の合計値（累積線量）が約100 mSvを超えないような基準値を作りました。ただ、北海道や福島など住む地域によって外部被爆線量が大きく異なり同じものを食べてもリスクが実際に異なります。また、国内外とも内部被爆のデータが極めて少なく、100 mSvを外部被爆と内部被爆にそれぞれ割り振りするのも難しい問題です。さらに生涯を基準としているので、これから先が短い大人と平均余命が長い乳幼児・小児とでは、同じ基準で果たして安全が保てるのか、配慮する必要があります。

もう一つの論点は、放射線リスクは生活習慣のリスクと同じであるかという問題です。専門家の中には「統計的に観察できず、影響を見出すことが難しい」とか「影響があっても例えば喫煙や野菜不足、運動不足などのリスクに比べれば小さい」といった意見があります。ただし、納得できないのは「能動喫煙」や野菜不足、運動不足など個人が努力すれ

ばある程度制御できる生活習慣と、コントロールできない放射能のリスクを同じレベルで扱ってよいかという点です。私も研究者であると同時に市民の一人ですから、市民目線で立つならば「受動喫煙」はなるだけ避けたいリスクです。「受動喫煙」の潜在的な健康影響について国内外で新しいデータが集積されつつありますが、現状で一律に「喫煙」と比較されても納得いかない市民も多いはずで、これについては「環境と子どもの健康に関する出生コホート」（北海道スタディ）のデータがあります。家庭や職場で受動喫煙を受けている場合、血中ニコチンの値が一定濃度を超えると、母親が喫煙していないのに、新生児の体重が明らかに低下し、さらに遺伝的ハイ・リスク群の中には受動喫煙の影響が強く表れることが分かっています。環境リスクに対して感受性に差がある以上、「全体で〇〇レベル以下では放射線によるリスクは観察できなかった」「何レベル以下では安全、心配無用」と言われても、なかなか納得で

きないと思います。

環境問題に対する

「予防原則」の重要性

ここから今日の本題、予防原則（Precautionary principle）に入ります。風邪を引いた時、卵酒を飲んだり、早く寝たりして悪化させないよう予防措置を取りますが、同様に動植物、水質、土壌などに対する危険物質の侵害が予想される場合、事前の予防対策を取ることが予防原則の考えです。特にヨーロッパは、CO₂の大気汚染が深刻化した1980年代から予防的アプローチ、リスク・コミュニケーションと言った予防原則の考えが高まり、特にドイツ、イギリス、北欧で大きな流れになってきました。

予防原則に失敗した

福島原発事故

あの福島原発事故での予防原則を考えてみますと、明らかにリスク・コミュニケーションの失敗したと言わざるを得ません。その原因は、メ

デИАなどで報道されたように電力会社や当時の通産省による「やらせ」発言、利益優先の企業倫理、さらに「原子力ムラ」に象徴されう大学、研究者のなれ合い、地方自治体への巨額補助金など予防原則以前の問題です。国や研究者たちは、失敗の数々を学問的にも歴史的にも検証して二度と事故を起こさない方向で努力する必要があります。

予防原則が重視されるようになった背景を考えると、生態系保護、現在行っているリスク評価の不完全性への反省、費用対効果の問題、過去の環境破壊に対する償いなど様々な理由があります。こうした問題に対し欧州環境庁は2001年、リスクの増大が予想されたにもかかわらず科学的不確実性を理由に具体的な規制を取らず危害を増大させた14の事例を上げています。

「乱獲による漁業の崩壊」、今問題になっている放射能障がい（早期影響と遅発性発がん）。自動車化合物の「ベンゼン」、さらに日本で苦しい経験となった「アスベスト」、ポリ塩化

ビフェニル（PCBs）、オゾン層破壊の「ハロゲン含有炭素化合物」、それから大問題となった「牛海綿状脳症」（BSE）などです。日本ならこれに水俣病と薬害エイズが加わると思っています。

アスベスト禍を広げた 日本の甘い規制

この中で、アスベスト（石綿）被害を検証してみます。アスベストは木綿や羊毛のようにしなやかで摩擦や摩耗に強く、熱や音の遮断性に優れ、安価な「ミラクルな鉱物」としてもはやされ、日本ではピークの1974年と80年には約40万トを生産し、世界第2位の消費国でした。2005年7月、アスベスト被害で中皮腫がんが工場だけでなく周辺住民にも発症したことが一斉に報道され社会問題になりましたが、実は1986年から88年にかけて小学校舎壁の石綿吹きつけの健康被害が問題（第一次アスベスト）になっています。

中皮腫発症の仕組みは、発がん性

の強いアスベスト繊維のクロシドライトなどが気管から肺に入り、肺や胸膜（肋膜）の中皮ががん化します。潜伏期間が長く10年から20年で石綿肺や胸膜プラーク硝子化に進みます。肺がん、悪性中皮腫は20年から30年後に発症、死亡者も2030年代には5000人から1万人近く増加すると予測されています。

海外では1972年、ILO（世界労働機関）やWHO（世界保健機関）で石綿の発がん性が指摘され、同年世界で初めてデンマークがアスベスト吹きつけと断熱材への使用を禁止しました。その後85年にEC（欧州共同体）が全石綿の吹きつけ禁止を打ち出すなど規制の流れが続き、86年にILOでアスベスト安全条約を採択しています。日本では「代替品がない」といった業界の理由で石綿使用を継続してきました。政府もILO条約に反対し、開発途上国と一緒にになって修正案を出すなど情けない状態で、石綿工場周辺の市民まで発病して大問題となった2005年によりやくILO条約を批准しま

した。

科学的な環境リスク評価の遅れ

日本の場合、人体に有害な、長い潜伏期間の後に発生する職業がんや環境がんの原因を明らかにする理解が、行政にもメディアなどの社会にも、我々研究機関にも不足していたと思います。アスベスト問題でも石綿業界や規制を行う監督行政の責任は当然ですが、顕在するリスク、潜在する健康リスク、その特徴や程度を明らかにするのは科学者の責務だと言えます。学界や研究者は、潜在リスクが分かった時点で「職場の汚染レベルを下げる」とか「早急に代替物質に換える、禁止する」という予防原則適用への強い意志がもつと必要ではなかったかと考えます。

水俣病を教訓に

北海道スタディ立ち上げ

日本の苦い経験のもう一つは、水俣病の悲劇です。ちようどの医師として社会医学（公衆衛生学）の研究に入った頃で、胎児性水俣病は私に

とっても研究の原点でした。この水俣病をきっかけに子ども達に重篤な病理学的変化が出現する前に、潜在する神経機能障害を見出すことができないかと考えました。そして、2001年、道内3医科大学と各地の医療機関の協力を得まして、先天異常、発達異常、アレルギー異常反応などの疫学研究を行う「北海道スタディ」を立ち上げました。現在1万9500人（目標は2万人）の母子が参加・協力して、様々な分野で研究を続けています。

この調査からどんなことが分かってきたかというと、例えば母親のダイオキシン類濃度が新生児の感染症罹患や免疫アレルギーへ影響を及ぼすとか、妊娠時の血中PCB濃度で乳児の精神・運動発達数との関係が分かります。また、先ほども話しましたが、母親の喫煙によって新生児の体重が数百グラムも低下したといったデータもあります。

予防原則を正しく適用する方策

地球で起こる事象は全て何らかの

科学的不確実性を持っていますが、認知された環境リスクに対して、その因果関係を科学的に検証し、政府、国民が利害のセクターに属さずに判断することが大切です。

石綿や放射線のように長い潜伏期間がある有害物質では「被害の証拠がない」ことを「被害がない証拠」と誤解するのではなく、「安全だ」という証拠がない」ときは「安全でない」と解釈する方が賢明です。水俣病は、1960年代に熊本大学の先生が危険性を指摘したにも関わらず、証拠がないことを理由に国や県は何十年も対策を取らず被害を拡大しました。「不確実性」だから対策が打てないというのは予防原則がないのと同じです。「無知」、分らない状態を解明していく姿勢こそ必要です。政府・行政は、研究者や専門家が発信する警鐘のような早期報告を敏感に受け止め、環境モニタリングや健康に関する長期的な疫学研究を続けることが求められています。福島原発事故でも、悲惨な事故を教訓にサーベランスや疫学研究できちんとした

データを作成し、世界に誇れる予防原則をつくり出してもらいたいものです。

パブリック・オピニオンの重要性

70年代から早々と環境問題に重視してドイツ、北欧などが厳しい規制措置に踏み切った一番大きな原動力は、人々の社会問題に対する意見、パブリック・オピニオンの力だったといわれています。ヨーロッパでは国が石綿使用を禁止するかなり前から企業の経営判断で全面使用中止に踏み切り、代替品の技術開発を推進したところもあります。その理由として「企業繁栄のために石綿禁止のパブリック・オピニオンを尊重すべき」とか「世論を無視して使用を続けると、健康管理や人命に関わる問題が出た場合、企業の在り方が問われる」などが上げられます。

日本でも、自らの手で環境を守り、環境問題を考えるパブリック・オピニオンの育成は重要な課題です。国

民ひとり一人が意識を高めて努力を積み重ねて育成されたパブリック・オピニオンは、国や企業、ときには学界にも大きな影響を与えます。

これから日本が技術・環境大国として世界に飛躍していくならば、科学に裏付けられた潜在的风险の予防原則確立と同時に、政府や大企業、学界から一定距離を置いたパブリック・オピニオンの育成が、両輪のよう to 機能していく必要があります。ご静聴ありがとうございます。

※編集部注 この講演は平成23年10月に行われたものです。誌面の都合で掲載が遅れましたことをお詫びします。

おらが街「サッポロ再発見」！ 地形・地質条件と北都の発見

講師 石井正之氏

(北海道地質調査業協会技術アドバイザー)

同窓生の遺志を継いで

ただ今、紹介にあずかりました石井です。

講演に入る前に、先ほど司会者からご紹介があった恵迪OBの故佐藤史夫さんとの関わりについて話します。私と佐藤さんは北大理学部地質鉱物学科の同期で、卒業後は別々の会社に勤めましたが、生涯を通して地質・土木関係の仕事仲間でした。

佐藤さんは2011年に亡くなる前年まで西区・チエリア「サッポロ市民カレッジ」近所先生企画講座で「おらが街「サッポロ再発見」のテ

マで講演されました。札幌の地形、地質が、街の成り立ちや今の生活にどう関わっているか、市民、特に若い人に知ってもらいたいという企画でした。本日は、その前半部分、札幌に開拓使が設置された明治初期に自然条件をどのように克服し北都の基礎をつくり上げてきたかを中心に、佐藤さんの原稿に補足追加してお話しします。彼の思いを伝えることができれば幸いです。

まず、地名の由来ですが、札幌の語源は、アイヌ語のサトポロペツから付いたと言われています。その意味は、サト＝乾いた、ポロ＝大きい、

ペツ＝川、乾いた広い大きな川ということになり、アイヌ語の地名は実に自然条件を上手く表現しています。もう一つは、豊平川の由来です。

松浦武四郎が函館奉行へ出した具申書に「札幌樋平（トイヒラ）辺りぞ、大府を置くの地なるべし」とあります。トヨヒラというのは崩れる崖という意味で、現在の36号線が豊平川を渡る付近に崩れやすい崖がありました。武四郎の踏査図にもトイヒラという名があり、この付近は、喜茂別方付近から豊平川を下ってくる道路と千歳の方面からくる道路、それに当時、物流の拠点だった銭函から山沿いに続く道路の3ルート合流点で、今の豊平橋辺りになります。

札幌周辺の地形と地質

次に、札幌周辺の地形の特徴ですが、海側から沖積平野の花畔低地帯、その陸側に紅葉山砂丘、さらに内側に泥炭や粘土質の北部低地があります。そして豊平川扇状地という扇型地形の上に札幌の街が立っています。



札幌の地理的魅力を説く石井講師

す。扇状地の末端は、現在のJR札幌駅辺りです。西方の山側には発寒・琴似川扇状地も見られ、東部には今から4万年前位前に爆発した支笏湖の噴出物に覆われた火山灰台地があります。さらに、南西部山地には手稲山など1000m級の嶺々が連なり、降水、降雪量も豊富な水持ちのよい山々が札幌の自然条件の特徴と言えます。

特に注目したいのは、網の目のように川が流れる豊平川扇状地です。

札幌の街が発展する大きな要素になりました。また、扇状地の北側に、川が蛇のようにくねくね曲がって流れる蛇行河川や、旧豊平川、現在の伏籠川の周りに粘土に近い細かい土が溜まった自然堤防堆積物があります。この養分を利用して栽培したのが丘珠の玉ねぎ「札幌黄」です。

次に札幌周辺で観察できる地質や岩石を紹介します。その前に、地球を形成する代表的な堆積物（岩）のタービダイトと、水中火山岩・ハイアロクラスタイトについて話します。

タービダイトは、砂と泥が交互に溜まってできる堆積層で、宮崎県の鬼の洗濯板が有名です。この形成のメカニズムが分かったのは1929年です。ニューファンドランド沖の大陸棚で地震が発生し、斜面の土砂が一気に滑り出しアメリカとヨーロッパを結ぶ海底ケーブルが切断されました。海底ケーブルの事故ですから何時、どこで切断されたか記録が残っています。調査の結果、砂のように粒の大きい重いものが先に流れ、その上に粒子の細かい泥が沈着

したことが分かり、この高速の土砂の流れによる堆積物をタービダイトと名付けました。

もう一つのハイアロクラスタイトですが、ハイアロとは硝子の断片を意味します。海底火山の噴火で溶岩が海水で急速に冷やされガラスに変化したものです。典型的な資料が的なものが小樽・忍路海岸に露出しています。崩壊事故を起こした積丹半島の豊浜トンネル付近にも同様の溶岩層があり、亀裂が少なくて大きな岩塊のため崩落しやすいのが特徴です。定山溪に行く途中の硬石山の崖で見られる安山岩も、陸上に噴出した溶岩の一種で、水平のきれいな柱状節理が見られます。

支笏湖噴火の落とし子 札幌軟石

それでは、札幌の地質、地層を古い年代順に写真で紹介します。これは札幌でも一番古い約1億5000万年前に堆積した、先ほど話したタービダイトです。黒い泥と白い砂が互層になっています。これはかつ

て豊平川の「花魁淵」といわれた河原の岩盤が露出している海底火山噴火の跡でハイアロクラスタイトの一種です。蓑を被ったような形の無意根山は約300万年前、海底火山の噴出物が札幌の西方で隆起し、陸になった後その上を溶岩が流れて形成されました。豊平川の五輪大橋付近で見られるハイアロクラスタイトは、ひじょうに割れ目が少なく平らかな河床を造り出しています。

石山付近で産出される札幌軟石は、約4万年前の支笏湖噴火で火砕流堆積物が冷える際、上層部が火山灰のままに対し、中の方が固まって比較的硬い石が形成されました。

国内最大級の サップロカイギユウ

これは数年前、小金湯温泉の下流付近の820万年の地層から発掘されたサップロカイギユウの化石（札幌市博物館活動センター展示）です。それまで3、4層程度と見られていたカイギユウが一気に7、8層もの大型個体に発達したことを示す最も

古い貴重な化石です。

豊平川扇状地についてももう少し詳しく説明します。この写真は、日本で一番見事な扇状地といわれる黒部川扇状地です。山地から黒部川は平野部で一気に広がり扇型になります。全体に真中が高くてだんだん低くなる緩い円錐を伏せた様になるのが特徴で、札幌の街もこれとほぼ同じ様な形をしています。

扇状地の末端には、メムと呼ばれる湧水がたくさんあります。北大やここ時計台付近は割合湧水の多いところでした。豊平川の古い流路（1万年前・6000年前・3000年前）をたどると、「藻岩の山裾流れ」と言われ、西から東に移ってきていることが分かります。伏籠川から今の豊平川に移ったのが1800年頃と言われています。1806年に出された『遠山村垣西蝦夷日記』に「4、5年前の洪水で豊平川の流路が変わった」という記述があります。もう一つは1816年に作られた地図です。

扇状地の特徴は、砂礫質の地盤で、

雨水が浸透しやすく比較的浅いところに地下水ができる、だから井戸を掘ればひじょうに良質な水が取れます。それから扇状地の末端、札幌駅から北大構内辺りにかけて、地盤は悪くなっています。清らかな水が湧き出しています。最初の街づくりは、豊富な地下水と湧水、水はけの良い乾燥した地盤の上に造られたこととなります。

遺跡からしのばれる 先人の豊かな生活

次に明治以前の札幌の地形を考えてみます。先ほど話したメムというのが随所にありました。知事公館や三岸好太郎美術館付近、それから植物園辺り、今はほとんど枯れていますが、旧伏籠川の地下に潜った川の先端からも湧水が出ていました。これは北大の中央ローン辺りの構内を流れるサクシュコトニ川のメムです。この川はキャンパス内を回流して、琴似川に合流しますが、サクシュコトニ川やすでに埋没河川になっているセロンベツ川の岸边には多くの

遺跡が出土します。その一つがヤナ跡、サケを追い込み捕獲する施設です。陸上競技場辺りですから現在の恵迪寮のそばです。それから知事公館敷地内にもいろんな遺跡があります。ちょっとした窪みは竪穴式住居の跡で、枯れたメムの跡も残っており川の傍で生活する古代人の姿が想像できます。

次は開拓当時の札幌の街を古い絵図や地図で見てみます。札幌本府の建設構想は開拓使判官の島義勇が行いましたが、費用が膨大に掛かり、



豊平川扇状地と石狩低地
札幌及び周辺部地盤地質図（産総研）

事業は一時中断します。その後、岩村通俊判官が引き継ぎ、明治4年、北4条東1丁目に札幌開拓使庁が置かれました。

これは、明治2年の札幌の図面（北大北方資料データベース）です。中心部を流れる創成川の東側には元村道と呼ばれた大きな通りがあります。銭函道と千歳道が交差する豊平川の付近に渡しがあり、駅通を兼ねていた志村鐵一と吉田茂八という渡し守の名も見えます。真ん中の大きな道路が今の南一条通りで、当時は官地と民地を分ける柵がありました。北側の官地には、役所や病院、役人の住宅、南側の民地には人家らしい建物も描かれています。

次は明治3年頃の『札幌本府見取図』です。建物はまばらですが、道路、本陣、庁舎、病院、神社などの施設が少しずつ建設されています。面白いのは、島判官が考えた本庁は南を向いているのに、現在の道庁（赤レンガ）は東を向いています。もちろん場所も違いますが、彼はかなり京都の街を意識していたと想像できます。

次の画図は開拓使の役人で画家だった船越長善という人が描いた「明治六年札幌市街真景之図」です。手前に本流、支流にそれぞれ橋が架かった創成川や豊平川、後方に円山や藻岩山、手稲山など自然を配置し、中心部の南一条通りに工業局の製材や製品をつくる施設が見えます。大通り付近の官地には立派な建物もあり、すすきの辺りの民地にも発展していく町並みの様子が描かれ、ひじょうに素晴らしい図だと思っています。

次の図は10年位経った明治14年頃の札幌です。本庁跡地となつていますが、火事で本庁が焼失したため、仮庁舎は今の札幌北高の前身の女学校に間借りしています。この頃になると小樽・手宮から札幌まで鉄道が開通し、大通り付近の工業局まで引き込み線が来ていました。農学校の校舎、施設もある程度で完成しています。北大構内を流れるサクシユコト二川の辺りには、水産試験場や偕楽園、精華亭など水辺で遊ぶ施設や水に関係した施設があります。

最後の地図は明治45年頃の札幌で

す。中島公園の池は自然に近いようなものになっています。北大付近もかなり建物が増え、農園として整備されてきました。中島公園付近にあった競馬場が桑園に移っています。このように札幌の街は、今の札幌駅から東本願寺、西の石山通までだんだんと発展してきたと言えます。

今も都心に残る緑地関連施設

メモ・旧河川跡地周辺の現況は、西側地域ではサクシュコトニ川の流域が北大キャンパスに変容し、精華亭・偕楽園緑地、伊藤邸、道庁、植物園、知事公館などが緑地関連施設として保存されています。東側地域ではかつての製糖工場、精麦工場跡にサツポロビル園、サツポロビル工場跡はサツポロファクトリーになりました。また、旧河川水・地下水を使ってきた千歳鶴の日本清酒工場では、今も井戸が現存し、酒造りが続いています。

まとめると、土地の良いところは官舎と役所の建物が造られ、その周辺に人の住むところ、北の方に水を

使う様々な鉦工業施設を造ったということになります。また、川水をどのようにに利用したかというところ、まず生活用水にあてました。それから大友堀というミニ運河を造成し、物資の運搬や農業用水に利用しました。大友堀は創成川の北6条辺りから東行し、伏籠川につながり、茨戸付近から石狩川に入り石狩河口に着くという運搬ルートが開かれました。大友堀はその後、北の方の寺尾堀と呼ばれる運河まで延ばされて、茨戸に繋がります。

豊平川は恵みの川でもあります。過去何回も洪水を起こしています。昔の流路は今の市街を通っていましたが、自然というのは不思議なもので昔の地形を覚えていたので、洪水になると、真っ直ぐ行きたがるわけですね。明治年間から大正にかけて大きな水害だけでも12回発生し、市街地の浸水、家屋の流失などが起きています。ほとんどの洪水は、鴨々川の取水場や南6条辺りから浸入しています。これは明治12年の豊平川の堤防ですが、鴨々川を中心に造ら

れています。新設の堤防も豊平川の西側一帯、今の豊平橋下流や中島公園、南22条付近に造成しています。堤防の設置場所からも、市街地を懸命に守ろうとする姿勢がうかがわれます。

札幌北部低地は泥炭との闘い

ここで札幌の開拓史に欠かせない泥炭の話をしていきます。泥炭は、湖沼や湿地帯で草や木、コケ類が枯れてできる植物の有機物が寒冷のため分解されずそのまま堆積して地盤化したものです。北海道で広範囲に分布しているのが石狩北部一帯です。低温で酸性のため農地には不向きです。札幌北部低地の農地開墾は、泥炭地盤との闘いの歴史でもありました。泥炭地の改良はまず、地下水を下げることから始まります。そのため河川の改修、灌漑技術が発達し、さらに土質改良で大がかりな客土、石灰投入などが必要でした。

つい最近、泥炭地に落雷し、火災が発生したという記事がありました。泥炭は燃え出すと数日以上燃え

続け、消火がひじょうに困難です。泥炭は確かに厄介ものですが、戦前には、家草炭といって家庭燃料に利用されたほか、余市ニツカウキスキー工場では昭和40年代まで石狩泥炭を使ってウキスキーの燻煙香に使用していました。近年ではピートモスが園芸用土に利用されています。

道産米の元祖 中山久藏翁

最後に、クラーク博士が帰国する際、教え子たちとの別れの場となった北広島市島松で悪条件の地形や土壌を克服して米づくりに挑戦した中山久藏翁の話をします。この絵は、先ほど豊平橋の中に出てきた「札幌本道出来形図」という島松駅通の図ですが、右下に中山翁の家が見えます。もう一枚の図は明治15年、中山翁が水田溝掘堤築経費拝借願」を出した時の絵です。地区の真ん中を流れる島松川の横にニイベツ川という小川があります。この川に堰を造り、その下に田んぼをつくりたい、そのための費用を貸してくれという願い

書です。翁はこの付近で明治8年から14年まで水田の開墾を行い、当時で反当り6俵の収量を上げています。稲作技術が飛躍的に向上した現在の収量が平均7俵ですから、当時としては抜群の成績だったようです。水を流す距離を少しでも長くし水温を高めようと、水路を迷路状にするなど工夫の跡も見られます。ただ、開拓使はクラーク博士やケプロンら農業指導者、技術顧問の意見を



中山久藏の顕碑
写真提供・北広島市教育委員会

取り入れ、米作りを禁止したことがあります。北海道は畑作や麦、家畜中心の農業がふさわしいという考えだったのですが、中山翁は自らの信念を貫き、その道を邁進したわけです。島松の背後は支笏の溶結凝魁岩、支笏火砕流堆積物の丘で火山灰の急な崖になっています。なぜこんな場所で米づくりを始めたのだろうかと考えると、小川が流れる本州の風景に良く似ています。おそらく、泥炭の多い劣悪な土地に入植したが、米作りに適した環境を求めて道内を探し回り、ようやく小さな沢の沖積低地と呼ばれる場所を見つけて米作りを始めたと思います。

今日の話をまとめると、おらが街サッポロの特徴は、①乾いた広い川だった②扇状地の先端に造られた③水はけがよく、地盤もよい④水がひじょうに豊富⑤平らな扇状地の末端まで船で物資が運べた⑤先人も様々な努力と工夫を行った——ということになります。

ご静聴ありがとうございました。

「南極大陸内陸探査の道筋」

国立極地研究所名誉教授

渡辺 興 亜氏

(S33年入寮)

はじめに

本日は北海道大学を卒業以来、名古屋大学や国立極地研究所などで数十年間に亘って続けてきた雪氷学研究の観点から、わが国の南極大陸の内陸探査がどのように進展してきたかについて、日本観測隊の体験を踏まえてお話しいたします。



熱弁をふるう講師の渡辺氏

南極大陸へ

南極大陸(正確には南極大陸と南極氷床)には、大陸沿岸の周辺1000 kmから2000 kmの沖合にかけて浮氷帯という海水が漂っている海域があります。これが融解する12月から翌年の2月にかけての南半球の夏期にのみ観測船は南極大陸に接近することが出来ます。冬期(5月〜9月)には、最新の砕氷船「しらせ」でも接近出来ない、人間世界から隔絶された大陸です。

1956年(昭和31年)11月8日に第一次南極観測隊は日本を出発し、翌年1月に250tの物資をリュッツホルム湾のオングル島に輸

送して昭和基地を建設、11人による越冬が始まりました。観測船「宗谷」の砕氷能力は定着氷では厚さ50 cm程度までで、また船の馬力も小さく、氷海航行には苦勞しています。事実、「宗谷」がオングル島付近へ接近できたのは、氷の状態が特別であったこの年だけでした。

南極大陸の周辺部には定着氷が分布し、さらにその周辺に浮氷帯があります。定着氷は、現在の気候では年に厚さ1・5 m程になります。氷の断熱効果は高いので、何年も融けない場合も厚さの増加には限界があります。が、海氷上の積雪の水没による凍結、風、潮流による定着氷の破壊、積み上げなどによって、5 mを越す場所も出現します。時には「しらせ」でも砕氷の困難な場合もあり、各次隊の砕氷航行の記録にはチャージングの回数が数百回から五千回まで年々の変動の大きいことが記録されています。このことは南極域の自然環境の変動の大きさを物語っており、数十年の経験では全体の傾向を見渡すに

はまだ不十分ということでしょう。

国際地球観測年（IGY）で 南極観測がスタート

日本の南極観測は、1957、58年の国際地球観測年（IGY：International Geophysical Year）に参加することで開始しました。国際的協力のもとに、極域観測を行う国際極年の第一回は1882、83年（明治15、16年）、50年後の第二回は1932、33年（昭和7、8年）でした。その後も南極、北極には大きな科学的空白域が残っていました。第二次世界大戦後、科学や技術が進歩した世界にとって、最早、科学的な空白域が残されることは認め難い状況となってきました。国際協同観測としての南極観測が提案されたのが第三回国際極年、IGYでした。日本は、敗戦国として初めて参加し、内陸観測を実施した12ヶ国の一つです。

南極観測は大きくは二つに分類されます。一つは標準化された方法で長期間にわたって継続的に実施される地球物理分野の定常観測、もう一

つは研究者の発想に基づく研究分野です。IMS（国際磁気圏観測計画）、POLEX（極域観測計画）、IGBP（地球圏・生物圏国際協同研究計画）、ACR（南極気候研究）などといった国際協同プロジェクトも後に活発になってきました。

定常観測は、地球物理的、地球科学的に重要な要素である気象、電離層、潮汐、海象現象、地震、測地、重力などを定常的に観測するもので、気象庁、海上保安庁、国土地理院などの官庁が主として担当し、現在も継続している重要な観測です。観測資材の輸送力が増強されるにつれて観測領域が広くなると、超高層物理（地上から100 km以上）、気水圏（成層圏、大気圏）、海洋などの観測領域、規模が拡大していきました。従来からの地質、地形、陸上生物、海洋生物も観測域の拡大が計られ、建築、エネルギー、環境保全などが新たな研究対象となって来ています。

南極観測船列伝

南極観測の規模は基本的には砕氷

観測船の輸送能力で決まってきたという歴史があります。「宗谷」の時代、第一次から第六次（1957～62年）までの輸送量は最大で240 t（第1次）、150 tがせいぜいでした。雪上車も2 t級のしか運べませんでした。「宗谷」は、満載排水量4860 t、4800馬力でした。65年に二代目の「ふじ」が就航しました。この砕氷船は満載排水量8570 t、12000馬力でしたが、18回の輸送支援航海で6回しか昭和基地に接岸できませんでした。「ふじ」の輸送量は500 tですが、その半分は燃料でした。しかし、この間でも南極極点旅行、ロケットを用いたオーロラ観測など最先端の観測が実施されましたが、まだまだ輸送能力は不十分でした。

82年、三代目の「しらせ」が就航してから、輸送量は約1000 tとなり、飛躍的に向上しました。「しらせ」は、満載排水量19000 t、30000馬力で、25回の輸送支援航海で、昭和基地に接岸できなかったのは一度だけでした。10000 t

日本の砕氷船の能力比較

砕氷艦	宗谷	ふじ	しらせ	新しらせ
全長	83.6 m	100 m	134 m	138 m
全幅	12.8 m	22 m	28 m	28 m
深さ	9.3 m	11.8 m	14.5 m	15.9 m
出力	2,400 馬力	12,000 馬力	30,000 馬力	30,000 馬力
総トン数	2,736 トン	5,250 トン	11,600 トン	12,650 トン
輸送力	500 トン	600 トン	1000 トン	1100 トン
砕氷能力	1 m	1 m	1.5 m/3 ノット	1.5 m/3 ノット

から11000tの輸送量で、このうち600tが燃料です。これくらいの輸送量があると「宗谷」の時代が20KVAの発電機であったものが、今は300KVAの発電機が3基稼働しており、電力的にもエネルギー的にも国内と同じ程度の生活、観測が可能となりました。2004年から就航した四代目「しらせ」二世は

三代目「しらせ」とほぼ同性能です。南極観測と一口で言っても、「宗谷」の時代、「ふじ」の時代、「しらせ」の時代では観測施設、観測機材、可能な燃料使用量など南極観測の道具立てそのものが全く違ってきます。この間でも昭和基地から300km離れた内陸に日本最初の「みずほ基地」を建設、内陸域での毎年3000kmの内陸観測旅行、女性の観測隊参加など観測の絶えない拡大も計られてきました。

内陸探検の時代

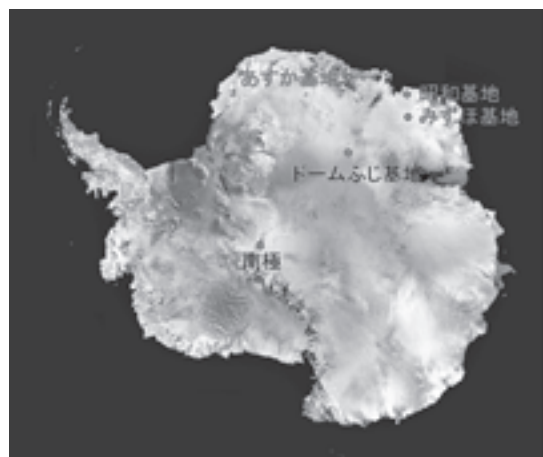
雪上車は自重と同じくらいものしか運べません。行動距離は往復1000km程度ですが、観測隊は秋口に燃料デポを作るなどの苦心を重ねて内陸調査を始めました。「宗谷」の時代は自重2t級のKD20、KC20雪上車が活躍しました。

日本が初めて越冬観測を始めた頃は、昭和基地の周辺の地形、内陸の気候など全く分かりませんでした。第1次隊は中野征紀さん（北大医学部）をリーダーとして、北大山岳部

が訓練した犬ゾリを使って内陸露岩のポツンヌーテンを探索、その位置を測量するなど活躍しました。

第3次隊は、村山雅美さん（後の南極点往復旅行隊長）等は、オーストラリア隊（AARE）が発見したというAARE山脈の探索に出かけましたが、山脈は存在せず「幻の山」となりました。まさに探検の時代というべきでしょう。

第4次隊では、ノルウェー隊が航空機で望見したという「1937年山脈」の探索に出向いています。昭和



南極の地形と日本の観測基地

和基地から300 kmの奥地に南北に連なる山脈です。第4次隊の内陸旅行隊（鳥居鉄也隊長）には木崎甲子郎さん（北大理学部地質鉱物学科）や石田完さん（北大理学部物理学科）も参加、木崎さんはやまと山脈の地質を明らかにしました。

東南極大陸にノルウェー語の地名が多いのはノルウェーの捕鯨船団長が捕鯨の他に探検にも熱心で、捕鯨船に航空機を搭載し、航空機による沿岸調査を熱心に行ったからです。現在、南極の領土権は南極条約で凍結されていますが、ノルウェーは広大な潜在領土権を有し、昭和基地附近はノルウェー主張の領土範囲で、こうした地域の湾、海岸、露岩、島にはかなり細なものまでノルウェーの地名が付けられています。

第5次隊の村山隊長は、小さな雪上車を駆使し、寒冷な気候と闘い、やまと山脈以南の南緯75°、標高3000 m高地に進出しました。「宗谷」の時代はまさに内陸探検の時代で、漸く昭和基地からやまと山脈南方までの地形の概略が明らかになりました。

たが、南極氷床の科学的な調査は未だ手つかずの状況でした。

科学的内陸探査時代の幕開け

本格的な内陸探査の時代の嚆矢というべきは第9次隊（村山雅美隊長）による昭和基地―南極点往復旅行でしょう。往復5000 kmに達する歴代最長の極点旅行です。この旅行の成功に依って、内陸の地形、気候、雪氷状況が明らかにされ、またこの旅行のために開発された大型雪上車KD60（自重9 t）導入がその後の内陸調査の大きな戦力となりました。

こうした「宗谷」時代の探検的内陸調査、「極点旅行」の成功を土台にいよいよ本格的な内陸探査の計画が開始されます。こうした計画を中心的に進めたのは南極観測第二世代とも言うべき、若手研究者達でした。私もその一人ですが、北大、京大などの大学山岳部、探検部出身者が多かったのは当時の時代背景を反映したのでしょう。

「エンダービランド計画」とよばれた総合内陸観測計画は第10次隊から

開始されました。計画の眼目は内陸の地図の作成、気候の把握、氷床の形成／維持機構の解明でした。第10、11次隊の大きなテーマの一つは氷床の流動観測でした。GPSがなかった時代、その方法は不動点として内陸の山脈、やまと山脈やサンダーコックヌナタークに基準点を設け、三角測量で観測点を設け、数年後の再測量でその間の変位を求めるのです。氷床の動き、氷河の表面応力分布とその変化を調べる観測が続けられました。

この内陸調査隊に参加した吉田勝さん（北大理学部地質鉱物学科卒、恵迪寮OB）、成瀬康一さん（北大理学部地球物理学科卒）は大きな発見をしました。彼らはあるべきはずのない氷上で転石を発見しました。彼らは直感的にそれらが隕石と考え、9個を採集し持ち帰りました。これが「やまと隕石」発見のきっかけです。南極氷床は4000万年前に形成され始め、1000万年前にほぼ現在の規模になったと考えられています。氷床は常に流動し海に流れ下

る固体の水循環をしています。奥地から海まで流れ出るには100万年近くかかると考えられます。そうであれば氷床上に降下した隕石は

氷流とともに沈降しつつ、海に向かって流れるはず。やまと山脈のような氷流にとつての障害物にぶつかると、氷流は上向きの流れとなり、上向き流動量と表面での昇華蒸発量が平衡した場所では隕石だけが氷床表面に、あたかも湧きだしたように残るわけです。こうした隕石の集積機構の存在が日本隊によって明らかにされました。日本は69年から2000年までに約2000個の隕石を収集しましたが、そのうち月起源と火星起源がそれぞれ9個あることが分かりました。地球上には16個の火星起源隕石が報告されていますが、そのほとんどは日本の南極観測隊が、やまと山脈周辺で見つけたものです。この発見は偶然の産物ではありませんが、その重要性を発見した人たちがいたことを忘れてはならないでしょう。ロケットを打ち上げる予算からいうと、安上がりの宇宙研

究が南極観測隊によって可能となった事例といえるでしょう。

10次隊からのエンダービランド計画（5カ年計画）に引き続き、23次隊から二回目の5カ年計画、東ドローニングモードランド計画が実施され、昭和基地南方に広がる「みずほ高原」の氷床地形、気候の地域特性、氷床の質量収支の状態、過去数十万の気候・環境変動などが明らかにされました。1000km四方の「みずほ高原」は南極氷床の中でも最も詳しくその自然が明らかにされた地域の一つとなっています。20世紀後半に行われた探検的調査の成果の一つで地球上の科学的空白域が知識の領域となったのです。

南極大陸とはどのような大陸か

南極大陸は直径5000kmのほぼ円形で、南極横断山脈を境にその西側（西経側）を西南極大陸、東側を東南極大陸と呼んでいます。面積、陸水の体積とも東南極大陸が圧倒的に大きい。昭和基地は東南極大陸の一角に位置します。南極大陸は高緯

度にあり、また平均の標高が2000mを越すため、特に内陸域は人間の生存環境としては非常に厳しいと言えるでしょう。我々が目にする南極大陸は大陸を覆った南極氷床と呼ばれる巨大な氷河で、その氷体は常に流動し、その質量は厳密には年々変化する気候現象でもあります。南極大陸（氷床）はその独特の地形のために、特有の大陸気候系を形成しており、積雪現象も沿岸域と内陸域では大きく異なります。

南極大陸は非常に特殊な大陸といえます。

大陸地殻からなる大陸の平均標高がたかだか900m程度に対し、南極大陸は2000mもある異常に高い大陸です。初めに話したように、いわゆる南極大陸はそのほとんどが平均の氷の厚さ2000mの南極氷床に覆われており、その加重によって本来の大陸基盤からなる大陸は氷床下にあつて深く沈みこんでいる（アイソスタシー）からです。大陸基盤を構成する花崗岩の比重がほぼ2.8t/m³に対し、氷の比重は0.9

9 t/m³と小さく、これが一般の大陸のほぼ3倍の標高を氷層が維持できる理由です。

見かけ上の南極大陸（氷床）の標高3000 m以上の面積は氷床全体の1/4以上を占め、広大な高原状を呈しています。こうした地形は南極大陸（氷床）とグリーンランド（氷床）しか見られません。標高3000 m以上の内陸高地では冬期には長い夜（極夜期間）が続き、放射冷却により気温は下がり、冷えた大気層が形成されます。冷たい大気層は重く、斜面を流下します（斜面下降風、カタバ風）。この斜面下降風による卓越風系が氷床の堆積環境を特徴付けます。また斜面下降風の流下はその補償流としての大気の子午線循環を生じせしめ、特有の極域循環系を作りだします。

氷床の規模は詳細には年々変動し、また数十万年、数百万年規模の地球の気候変動に対応しています。海水から蒸発する水蒸気を淡水という形で陸上に留めたのが氷河、氷床で、その淡水量は地球の気候の変動

によって、水蒸気量あるいは融解によって海に戻る量変動する気候現象といえます。その変動の結果が海水位の変動として現れるわけです。

1万1千年前に終わった最終氷期には、北半球には南極氷床の二倍に匹敵する氷床が北極海を取り巻くように存在していました。ハドソン湾付近にローレンタイド氷床、北米西海岸沿いのコルデラ氷床と英国からタイミール半島にかけてのユーラシア氷床です。ローレンタイド氷床は5000万年前、スカンジナビア付近の氷床は7500万年前に消失し、融解した淡水は海に戻り、その結果として海水位が上昇し、朝鮮海峡ができ、ベーリング海峡が生まれました。

地球上には固体の淡水が支配的な雪氷圏があります。地球上の水の98%が海水、2%が淡水です。淡水のうち80%が固体で、このうち約90・6%が南極氷床に、グリーンランド氷床はその10分の1の9・1%が存在します。アラスカ、アンデス、アルプスなどにも氷河は分布してい

ますが、その総量は全体の0・3%に過ぎません。したがって、こうした氷河の水が解けても海水面の上昇はせいぜい30 cm位です。地球温暖化によって海水位が1 m上昇するとなると、その源の大半は南極かグリーンランドの氷床ということになります。南極氷床の状態変化の観測が如何に重要かを示しています。南極の年間降水量は平均145 mmしかありません。日本が年間2000 mmですから、いかに少ないか分かります。この僅かな降水量で巨大な氷床の質量が維持されています。氷床に年々涵養される淡水量と融解また氷床の切り離し（氷山の生成）によって海に戻る量（消耗量）が平衡状態にあれば、氷床は同じ形、規模を示します。こうした氷床の質量収支を数年〜数十年規模で観測するのは容易ではありません。

ドーム基地から地球の環境が見えた

第1期から第3期の内陸観測計画の成果を基に、95年から第4期の内

陸観測計画「ドームふじ氷床深層掘削プロジェクト」が始まりました。

氷床ドーム頂上域で氷床の深層掘削によって、氷床雪氷層を3000mまでの深さまでコアを抜き取り、その化学的、物理的および雪氷学的解析によって、過去70万年に遡る地球気候、環境の復元を行おうという野心的な計画です。なぜ、地球上でも最も居住環境の厳しいドーム頂上を掘削地点で行うかということに二つの理由があります。一つは氷床頂上では氷床の流動理論から、そこではその場で堆積した積雪がほぼ鉛直に氷床底付近まで沈降する流れにあるということ、これは同じ場所の気候および環境を遡れるということです。第二には地球上で大気に放出された諸現象起源の信号物質は地球の大気循環により南極に収束しますが、特に成層圏經由の物質信号は極域循環によって氷床ドーム頂上附近上空で大気圏に移流し、大気圏を沈降し氷床表面に降下すると考えられるからです。やや大仰に言えば、いわばドーム頂上附近は信号物質の沈

降堆積地というわけです。

観測計画はアイスレーダによりボーリング適地選定の調査から始まりました。電磁波を発射して氷床底からの反射によって、氷床下の地形を明らかにします。氷床表面では詳細の観測によってドームの頂上を確定します。この二つからボーリング地点の最適地を見つけ出します。頂上であつてもその下に基盤の山脈があると深く掘れません。調査結果から標高3810m、氷床厚3000mの地点が選定されました。その地は、年間平均気温がマイナス60°、最低気温がマイナス78°の環境です。ここで数年に亘り、氷床掘削を行うのです。深層ボーリング技術は日本では最初の経験でした。深層掘削の場合、コアを抜き取ると氷床の圧力で掘削孔はすぐ閉じてしまします。そのため氷と同じ比重の液を挿入します（液封掘削と呼ぶ）。こうした技術は日本で最初の経験であるため、深層掘削の先進国であるデンマーク大学等の協力を受けました。

得られたコアからさまざまな気

候、環境情報が得られました。水の中の気泡からは、CO₂、メタン、大気酸素の同位体組成などほとんどの大気成分が復元できます。氷試料から水中にある微量な海起源物質成分の濃度変化から海洋環境の変動が読み取れます。氷から得られる水の同位体組成では、酸素同位体の酸素18の高い濃度は暖かい気候を、低い場合は気温が低い気候をしめします。CO₂と酸素同位体組成が示す気候変動の関係ではその両者に800年の時間的なズレ、これは、CO₂の濃度が高くなつてから800年後に気温が上昇していることを意味します。こうした興味深いことがわかってきました。

深層掘削計画は、最近その二期目が終り、深層コアから70万年前までの地球気候・環境が復元されました。こうした復元研究は日本のみならずフランス、ロシアのチームでも行われよい成果を得ています。これからはそれらの相互比較によって、解析データの正確性とコア採取地間の特性解明などが大きなテーマになるでしょう。

260万年前から第四紀に入りませんが、第四紀が始まる少し前から地球の気温は顕著な低下傾向に入ります。110万年前頃から周期的な気候変動が始まり、70万年以前は4万年位の周期でしたが、70万年前頃から10万年周期となり（この周期にはヒマラヤ山脈の高度上昇とも関係し、北半球の偏西風の流れが一定となったことと関係するという説もあります）、地球の気候システムが出来上がったと考えられています。

質疑応答

Q1) 南極観測における国際的な協力、情報の交換などはどういうフレームになっていきますか？

A) 例えば、掘削技術でいえばフランス、デンマーク、ロシア、最近では中国などと技術情報の交換、技術者派遣を行い、コア掘削技術の向上、新技術の開発を目指しています。さらにコアの分析など、日本で



超満員の会場

Q2)

は困難な分析はコアを海外の研究機関と共同で分析するということも行われています。北極では氷の減少など温暖化の影響の報告などを目にしますが、南極では温暖化の影響はないのでしょうか？

A) 南極周辺では南緯50度から60

度にかけて冷たい海流が周回しており（その北端を南極前線と呼ぶ）、その北側の海水温が12℃であったものが4℃へ急激に下がります。このように南極大陸そのものが大きな保冷箱に入っているように、外からの暖かい大気を遮断する環境にあります。したがって、南極半島の一部には影響が出ているとの報告がありますが、その他の地域で顕著な温暖化の現象は見られないというのが一般的見方と考えています。

講師略歴

昭和14年5月11日生まれ。地球物理学、雪氷学専攻、北海道大学理学研究科修了。名古屋大学助教授、国立極地研究所教授、総合研究大学院大学教授、国立極地研究所長。第11次、15次観測隊越冬隊員、第29次観測隊長兼越冬隊長、第35次観測隊長

（編集・平田更一）

恵迪寮同窓会北海道大会・大寮歌祭ご案内

母校のキャンパスに集まろう～同窓会結成 30 周年記念

恵迪 OB が 3 年に一度、揺籃の地・札幌に集う恵迪寮同窓会総会と北海道支部主管の大寮歌祭が 9 月 28 日(土)、北大構内のクラーク会館と懐かしき旧恵迪寮跡地のそばにある北部食堂（旧教養部食堂）で開かれます。

今回は全北大人がかつての学舎に参集するホームカミングデーも同日開催します。クラーク会館での全体集会、講演会の他、各学部での公開講演会、交流会など多彩なイベントも企画され、朝から晩まで、懐かしき青春時代を満喫できる趣向となっています。

今年は、恵迪同窓会結成 30 周年の記念すべき年で、同窓会活動に長年貢献した会員が表彰されます。支部役員一同、力を合わせ大寮歌祭を盛り上げて行く所存です。全国の恵迪寮同窓生及び恵迪寮にご縁がある方々の御出席をお待ちしています。

北海道支部長 内藤 春彦

【ご 案 内】

- * 開催日時 平成 25 年 9 月 28 日(土) 13:00～20:00
- * 同窓会総会 13:00～13:30 (クラーク会館大集会室)
- * 「清き國ぞとあこがれぬ」 放映会 14:00～15:30
(クラーク会館大講堂)
- * 大寮歌祭 受付開始 (北部食堂) 17:00～
- * 大寮歌祭・開宴 17:30 ～ 閉会 20:00
- * 参加費 4,000 円 (同伴者 2,000 円)

会費は当日、大寮歌祭会場にて申し受けます。

2013 年恵迪寮同窓会北海道大会（総会）大寮歌祭

（平成 25 年 9 月 28 日：北大構内）

参加申込書

ご氏名： 入寮・入学年（T・S・H 年＝該当する年号を○で囲む）

ご住所：〒

電話/FAX：

E メールアドレス

参加希望に○を付けてください

総会（ ） 「清き國ぞとあこがれぬ」映写会（ ） 大寮歌祭（ ）

※ 8 月 30 日(金)までにご連絡ください。会費については当日受付にて申し受けます。

【参 考】

1. 北海道大学ホームカミングデー本部主催歓迎式典・記念講演
9：50～12：00（クラーク会館大講堂）
2. 各部局（学部）で公開講座、懇親会など 13：00～17：00

※時間的に余裕のある範囲内でホームカミングデーに参加しましょう。
ただし、恵迪寮のイベントへの参加を失念しないようにしてください。

（北海道大学及び恵迪寮同窓会の行事イベントはあくまで予定です。変更になる場合もあります）

2013 年大寮歌祭 in 大宮

武蔵野に^{うら}占部^へ象^{かた}焼き^{まさ}現実^でにも 告^のらぬ君が^{うら}名占に出にけり
武蔵野尔 宇良敝可多也伎麻左弓尔毛 乃良奴伎美我名 宇良尔弓尔家里
(萬葉集 卷 14-3374)

中世には第五代孝昭天皇三年（BC 473）に創建されたと伝えられる武蔵一宮氷川神社の門前町、近世には木曾街道六十九宿のうち江戸日本橋から四番目の宿場町、そして近代に入り東北方面と上信越方面の鉄道分岐点の商業都市として栄えた大宮。

中仙道の交通の要衝、鉄道博物館等の鉄道文化継承の地で、我らが世紀をまたぐ永遠^{とこしえ}の寮歌を声高らかに吟じようではありませんか。

恵迪寮同窓会東日本支部長 坂倉 雅夫（S 44 年入寮）

【ご 案 内】

開催日：平成 25 年 10 月 6 日(日)

会 場：大宮ラフォーレ 清水園

(さいたま市大宮区東町 2-204、電話 048-643-1234)

1. 開識社 開場：12：30 講演開始 13：00（約 45 分間）

講演者：長沢 信五氏（昭和 27 年入寮・歯科医師）

演 題：「恵友よ、歯科で遅れをとるな」

（定員 50 名、会費・無料）

2. 大寮歌祭

受付開始、開場 13：30～

開宴 14：00～17：00（閉宴）

会費：ご本人 6,000 円

同伴女性 5,000 円

問合先：〒176-0021 東京都練馬区貫井 4-47-42

幹事長 関口 光雄（昭和 39 年入寮）

E-mail：jubesannchinoko@ybb.ne.jp Fax 03-3926-0080



恵迪寮同窓会通信



事務所・〒064-8610 札幌市中央区南13条西11丁目

(株)アークス気付

電話兼Fax(011)530-1186

vol. 29

恵迪寮同窓会第12期平成25年度理事会報告

恵迪寮同窓会代表幹事 白浜 憲一（S40年入寮）

平成25年4月20日(土)、16:00～21:00、札幌パークホテルにおいて恵迪寮同窓会第12期平成25年度理事会が開催されました。会議には東日本支部2名、西日本支部4名を含む26名の役員、理事、幹事が参加されました。

横山会長挨拶に続き、ご来賓の三上隆北大副学長が、北大の近況や課題と9/28開催のホームカミングデー、新渡戸カレッジについてのお話を頂きました。

会議では、第1号議案から第7号議案まで執行部の報告・提案に基づき討論し、議案通り全会一致で承認されました。特に、記念事業のドキュメンタリードラマ「清き國ぞとあこがれぬ」放映が5/6（HBCTV）、DVD発売も6月上旬に決まり、頒布体制の意思統一がなされました。

また、会議後の「清き國ぞとあこがれぬ」完成披露試写会は、脚本の長沼修氏、監督の早川渉氏、HBC制作関係者、役者を演じた3名の寮生を招待し、拍手大喝采の感動的なものとなりました。

〈恵迪寮同窓会役員〉（平成25年4月現在）

○名誉会長 中瀬篤信（S26、前会長）

○会長 横山清（S31）

○副会長 高井宗宏（S31、会長代行）、坂倉雅夫（S44、東日本支部長）、伊藤靖久（S38、西日本支部長）、内藤春彦（S40、北海道支部長）

佐藤市雄（S38）、西雪弘光（S40）

○会計監査

○本部理事

【北海道支部】山崎克彦（S32）、和孝雄（S32）、魚山和春（S39）、千川浩治（S40）、村上昭男（S43、新任）

【東日本支部】関口光雄（S39）、平田更一（S40）、荒木隆夫（S49）、竹下忠彦（S53）、加藤秀弘（S46）

【西日本支部】浦谷義博（S41）、藤井洋治（S37）、植松高志（S44）、木村成二（S46）、岩井隆郎（S51）

○代表幹事 白浜憲一（S40、広報）

○副代表幹事 新井三郎（S32、事業）、氏平増之（S38、名簿）、皆川吉郎（S43、会計）

○常任幹事 大隈昭二（S40、編集長）、藤田正一（S38、文常）、木村正博（S41、現寮）

○幹事 高橋陽一（S30）、小笠原孝之（S30）、吉原照彦（S36）、八重樫幸一（S41）、岩本栄一（S44）、吉沢武治（S45）、谷口哲也（S48）、

浏览上玲子（H8）

○事務局 佐藤静子（アークス）

＜第1号議案＞ 第12期平成24年度事業・決算報告

1. 第12期平成24年度事業報告

① 会議の開催

i 第12期平成24年度理事会…平成24年4月21日（土）

札幌パークホテル

○第12期平成23年度事業・決算報告

○支部交付金

○第12期平成24年度事業計画と予算案

○平成24年度「大寮歌祭」（東日本支部主管）

○恵迪寮同窓会3支部の平成23年度活動報告及び平成24年度活動計画

ii 本部役員会…3／16

iii 「都ぞ弥生」実行委員会…5／26、6／2

iv 「清き國ぞとあこがれぬ」委員会…6／16、8／4、

11／10、1／12、3／16

② 「○○都・府・県恵迪会」又は「○○ブロック恵迪会」の結成

i 東日本支部…仙台・東北地区恵迪会結成…7／

7 仙台開催

ii 組織強化費として、特別予算

③ 恵迪寮同窓会創立25周年記念事業Ⅱ開拓の村恵迪寮

舎展示改装

i 映像再生装置取替え継続中

④ 会誌「恵迪」第12号（都ぞ弥生百年記念号）発行

・ 8月下旬発行、B5判126頁、発行部数2500部（会員配布2000部、寄贈200部、支部配布100部、在庫200部）

・ 発行経費 114万6000円

・ 広告掲載収入は55万円

⑤ 同窓名簿

i 名簿クリーニングと変更訂正のルーチン作業

ii メールアドレス収集

⑥ 会員拡大及び組織強化

i 平成24年恵迪寮同窓会東日本大会（10／6、恵比寿ガーデンプレイス、100名）

ii 平成24年恵迪寮同窓会 第12回「開識社」講演会（10／11、時計台ホール、80名）

iii 平成25年新年寮歌歌始めの会（1／26、氷雪の門、90名）

⑦ 恵迪グッズ販売 平成24年度総売上 42万3000円（予算対比約各△17万7000円、決算書）

⑧ 全国3支部の活動（第6号議案）

2. 第12期平成24年度決算報告と監査報告

① 平成24年度決算

↓「会計報告書」

② 平成24年度決算監査報告

〈第2号議案〉平成25年度支部交付金の配分

支 部 名	平成 24 年度会費の納入内訳						交 付 金 算 定 額 50%	平成25年度 支部交付金
	年 度 会 費		終 身 会 費		計			
	人数	金額	人数	金額	人数	金額		
北 海 道	82	255,000			82	255,000	128,000	128,000
東 日 本	116	348,000			116	348,000	174,000	174,000
西 日 本	59	180,000			59	180,000	90,000	100,000
そ の 他	1	3,000			1	3,000		
計	258	786,000			258	786,000	392,000	402,000

〈第3号議案〉第12期平成25年度事業計画と予算案

1. 第12期平成25年度事業計画（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

① 第12期平成25年度理事会開催…平成25年4月20日（土）、札幌パークホテル

② 役員会開催…随時

③ 各委員会開催…随時

④ 「〇〇都・府・県恵迪会」又は「〇〇ブロック恵迪会」の結成

i 恵迪寮同窓会創立30周年（2013年）までに、東日本・西日本支部の全国の都府県又はブロックに「恵迪会」を立ち上げる。本年、茨城恵迪会（6／8予定）、さいたま恵迪会を結成する。

ii 組織強化費として、特別予算を組む。

⑤ 恵迪寮同窓会創立30周年記念事業

i 功労者表彰…4／20理事会において功労者を決定し、9／28総会において表彰する。

ii 「恵迪寮同窓会30年の歩み」を制作し、9／28「大寮歌祭」にて配布する。

「恵迪寮同窓会25年の歩み」の追補形式

⑥ 会誌「恵迪」第13号刊行…発行日7／下旬、120頁、2500部

i 進捗状況…印刷・製本は（株）アイワードに発注、

ii 発送までのスケジュール…原稿締め切り 3／

31↓最終校了 6／下旬↓印刷 6／下旬↓発

行 7/上旬

⑦ 会員拡大及び組織強化

⑧ 「同窓名簿」について

i 名簿の収集・整理・管理は、同窓会活動の根幹を成す。平成15年度発行名簿の精度は、70〜80%である。その後、会誌発行などに住所変更、物故者の削除などのクリーニングは実行している。名簿の管理は、事務局の「筆まめ」とする。

ii 特に旧寮居住者のS37〜S58入寮者について、氏平副代表幹事が統括責任者となり、各年次の名簿担当者を決めて、集中的にメンテナンスを行う。

iii 現恵迪寮にH25年卒寮生の氏名と学部学科記載要請

iv 名簿クリーニングと変更訂正のルーチン作業

⑨ 文化活動常任委員会

i 現寮生対象の「開識社」

ii 北大生、一般市民対象の「開識社」

⑩ 恵迪グッズ販売

i 平成25年度総売上目標 60万円

〈平成24年度実績〉42万3000円

⑪ 現恵迪寮生支援・交流の活性化

北海道支部との連携により、「観桜会」、「恵迪寮祭」などにおいて支援・交流を図る。また、北海道支部主催の「第14回開識社」に恵迪寮生の参加を促進する。

恵迪寮同窓会文化財展示寄贈 高井副会長を中心に北大と粘り強く交渉する。

2. 第12期平成25年度予算案

① 第12期平成25年度予算案 ↓「会計報告書」

〈第4号議案〉「都ぞ弥生」百年記念事業と記念祭

1. 「都ぞ弥生」百年記念事業と記念祭

① 記念事業

i 平成23・24年入学新入生への「都ぞ弥生」CDの配布 ↓4/6入学式で2600枚配布

ii 記念植樹（開拓の村「寮舎」前庭、中庭） ↓5/13、12・00。開拓の村、50名参加

iii 「都ぞ弥生」百年記念誌発行

iv ドキュメンタリードラマ「清き國ぞとあこがれぬ」制作 ↓本年5/6放映、DVD6/下旬完成予定

v 「都ぞ弥生」百年記念展示

② 百年記念祭 2012年6月9日(土)

i 百年記念式典……300名

ii 百年記念コンサート……400名

演奏者…植村理葉(Vn)、一宮明代(P)

演 目…「都ぞ弥生」幻想曲(植村理葉作曲)、ク

ロイツェル、ツグイネルワイゼン

iii 百年記念講演……400名

講演者…佐川光晴(S58入寮、芥川賞候補作家)

演 題…「都ぞ弥生」これまでの百年とこれからの

百年

iv 「都ぞ弥生」大合唱・檄文・寮歌大合唱・外

国語版披露……500名

v 「大寮歌祭 in 札幌」(本部・北海道支部、6/9 京王プラザ) ……300名

vi 「都ぞ弥生」百年記念展示公開(5/20～6/20 北大総合博物館) ……3000名来場

vii マスコミ報道…5/9 記者会見(クラーク会館)

6/4 NHK ネットワークニュース北海道出演、

6/9 NHK 朝方ニュース、6/10 道新、朝日、読

売朝刊

③ 3 支部「都ぞ弥生」百年企画

〈北海道支部〉

・5/13(日) 記念植樹・名札掲示・観桜会(開拓の村)

〈東日本支部〉

・5/19(土) 記念墓前祭(静岡長源院)、寮歌祭(クー

ポール会館)

・10/6(土) 記念大寮歌祭(恵比須ガーデンプレイス)

…100名参加

〈西日本支部〉

・5/27(日) 記念寮歌祭(関西北大会館) ……30名参

加

④ 協賛金募集活動

〈目標〉500万円 〈3月末到達額〉682万600

0円

i 個人協賛金 25年3月末

510万7000円(500名)

ii 名札募集 25年3月末

134万円(330名)

iii 企業・団体協賛金

iv 企業・団体広告掲載 37万9000円

⑤ ドラマ「清き國ぞとあこがれぬ」制作

i 制作の経緯(省略)

ii 5/6 放映決定手ポスター(4/8)、チラシ宣

伝(3000枚、北大構内4/30、5/2)

5/31 DVD 納品…3500本(初回2000

本、あとは1000本単位で分納)

iii 制作協力金募集活動

・CMスポンサー(HBC直契約) 6社、400万円

100万口…(株)アークス、(株)きのとや

50万口…(株)サッポロビール、(株)日糧製パン、

ホクレン、ぎよれん

・北大連合同窓会 250万円

・法人等制作協力金 15社、186万円

北海道銀行、(株)ムトウ、蘇春堂形成外科、恵迪

援農グループ、柏葉脳神経外科病院、(株)サンプ

ラザ(西)、(株)ぷらう(東)、愛心メモリアル病

院、大塚ホールディングス(東)、ハマナス振興

公社、西さつぼろ病院、横山芳介君ご遺族一同、

ウィンズ・アーク(東)、第一三共(株)、(株)ドーコ

ン

・恵迪寮同窓会制作協力金(1口5000円)

・12/27 北海道支部約800通発送 1/下旬

東日本・西日本支部約1500通発送

・DVD 予約申込 4/15 現在 412人 22

5万円

・連合同窓会制作協力金(1口3000円)

・2、6月 薬学部、水産学部、工学部、文学部、

農学部、総会など……約3万3000通

・3月 新卒業生……4800通

・4、6月 新入学生……7200通

・7月以降 教育学部、経済学部、獣医学部、法学部、歯学部、理学部、医学部、総会など……約3万2000通

・現北大生、大学院生、北大職員や全国の一般市民向けに8000枚

・DVD予約申込 4/15現在 209人 79万円

iv

3支部販売目標(2014年3月末まで)

・北海道支部……150本 東日本支部……100本

・西日本支部……50本

・各支部に1本2000円で卸し、差額の1000円は支部に還元する。

会計処理の都合上、買取方式とする。

取り合えず、北海道……50本(10万円)、東日本……

30本(6万円)、西日本……20本(4万円)の買取とする。

v

一般販売……20%引きで卸す

北大生協、エルムの森ショップ、ミュージアムショップ、書店ルート

⑥

「都ぞ弥生」百年記念事業通期中間収支報告(会計報

告参照)

〈第5号議案〉平成25年「大寮歌祭」(北海道支部主管)

1. 開催日…平成25年9月28日(土)

第1部 総会

第2部 大寮歌祭

2. 参加費

〈第6号議案〉恵迪寮同窓会3支部の活動報告と活動計画

1. 東日本支部

【1】平成24年度活動報告

① 恵迪寮同窓会理事会に出席

平成24年4月21日(土)に開催された同上理事会に当支部より山中支部長、関口副支部長、坂倉幹事長(各々当時の役職)が出席し、当支部活動の報告、「都ぞ弥生」百年記念事業への支援等の議事審議に参加した。

② 「都ぞ弥生」百年記念祭の開催

横山芳介氏縁の地であり横山家の菩提寺「長源院」のある静岡県静岡市にて、平成24年5月19日(土)に第1部墓前祭、第2部記念祭(寮歌祭)の構成で「都ぞ弥生」百年記念祭を取り行った。横山芳介氏ご親族、赤木顕次氏の遠縁の方、地元静岡の恵迪寮同窓会員と旧制静岡高校関係者等計30余名、また本部・大隈昭二編集長を始め遠来の方々を含め70余名の参加を得た。

③ 「都ぞ弥生」百年記念事業への参画

恵迪寮同窓会を挙げての記念事業へ当支部も参画・

協力する中で、平成24年6月9日(土)に札幌で開催された「都ぞ弥生」百年記念には、当支部より篠原相談役、山中支部長他総勢10名が参加した。また、記念事業への協賛広告掲載並びに「清き國ぞとあこがれぬ」製作協力金出資の依頼候補企業・団体の本部への紹介を行った。

④ 地域恵迪会の立ち上げ

組織強化のため、東日本支部の命題の一つである地域恵迪会立ち上げに取り組んだ。「仙台・東北恵迪会」の設立に向けて、山中支部長が仙台に行き小出精氏(S30年入寮)、西村典恭氏(S34年入寮)と話し合い「仙台・東北恵迪会」発足を合意した。活動の初弾として平成24年7月7日(土)に寮歌祭を開催し、参加者は山中支部長以下7名と小人数ではあったが、なんとか軌道に乗せることが出来た。今後も当支部受け持ち地域に恵迪会の立ち上げを目指して取り組んでいきたい。

⑤ 草刈り寮歌祭の実施

「草刈り寮歌祭」は札幌農学校の設立日・明治9年8月14日に因み毎年8月14日近辺に行っている。東京都港区の芝公園内(元芝増上寺境内)に在る「開拓使仮学校跡」石碑周辺の草刈りをした後に「都ぞ弥生」を歌うミニ寮歌祭で、今年も平成24年8月12日(日)に開催した。一汗かいた後に6名の参加者が近くのレストランにてビールで乾杯し、母校の来し方を思い感慨も一しおであった。

⑥ 東日本大会の開催

平成24年度は当支部主管の東日本大会開催の年に当たり、「都ぞ弥生」百年記念の「恵迪寮大寮歌祭」を東京・恵比寿にて平成24年10月6日(土)に開催した。また当日は大寮歌祭に先立ち「開識社」講演会も開催した。講師は渡辺興亜・国立極地研究所名誉教授・総合研究大学院大学名誉教授、演題は「南極大陸内陸探査の道筋」であった。続く「恵迪寮大寮歌祭」参加者は横山芳介氏ご親族、本部長中瀬名誉会長・白浜代表幹事、西日本支部植松幹事長、友誼校OBも交え、総勢90余名であった。

⑦ 「新春寮歌歌い初め」の開催

新年の恒例として平成25年1月14日(月・祝)、東京駅八重洲北口サピアタワー10階・北大東京事務所大会議室にて開催した。折からの猛吹雪による交通機関の乱れの影響はあったが、それでも参加予定28名の内支部役員他計20名の参加を得た。

⑧ 役員会の開催

平成24年5月、6月、7月、9月、9月、10月、11月、平成25年3月の計8回開催し、主として「都ぞ弥生」百年記念事業への参画対応、東日本大会等支部主催の行事実施要領等の審議を行った。

【2】平成25年度活動計画

① 恵迪寮同窓会理事会に出席

4月20日(土)開催の理事会に当支部在籍の本部理事の内数名が出席予定である。

② 草刈り寮歌祭の実施

本年も8月11(日)に実施する予定である。

③ 恵迪寮大寮歌祭の開催

当支部担当地域の出張寮歌祭を計画しており、10月6日(日)に埼玉・大宮にて開識社・講師長沢信五氏(S27入寮)及び恵迪寮大寮歌祭を開催する予定である。

④ 「新春寮歌歌い初め」

新年の恒例として平成26年1月13日(月・祝)に開催を予定している。

⑤ 地域恵迪会の活動支援

「仙台・東北恵迪会」に引き続き埼玉に地域恵迪会を立ち上げる計画で、地域寮歌祭開催の助言、経費補助等の支援を行う。さらに周辺地域に立ち上げを働き掛けていく。

⑥ 役員会の開催

恵迪寮大寮歌祭他の当支部行事の準備及び当支部の課題検討・解決のため、必要に応じ1～3ヶ月に1回の頻度で開催を予定している。

【3】財政状況

平成24年度の当支部は地域寮歌祭を含め3度の寮歌祭を開催し、組織強化費の補助があったもののやや厳しい財政状況となった。平成25年度は大規模行事が10月の恵迪寮大寮歌祭のみであり、適切な財政規模での活動を企画していきたい。

2. 西日本支部

【1】平成24年度活動報告(平成24年4月～25年3月)

●平成24年度の活動は、「都ぞ弥生」百年記念事業に協力することであった。西日本支部として「都ぞ弥生」百年記念行事開催に向けての「前夜祭」を開催。また本部での記念事業には西日本支部からも多数参加した。

【2】平成25年度活動計画(平成25年4月～26年3月)

i 役員会開催計画

平成25年4月～平成26年度3月まで 4回/年程度

*平成26年の西日本大会開催の準備を中心に取り組む。

ii 主要行事活動計画

◇平成25年度も平成24年度報告の行事参加を基本とする。

- ・本部理事会・於ける札幌(4月20日)
- ・北海道支部主催大寮歌祭(9月28日)・北大ホームカミングデー

- ・北大関連の各種行事への参加

(関西同窓会関連、応援団関連、札幌農学同窓会関連、各地寮歌祭)

iii 課題と問題点

- ・会員増強活動
- ・若手が参加できる支部づくり
- ・会員名簿の充実

*上記の項目は「本部との連携・協力」を強固にして推進する。

i 役員会開催報告

日時	参加者	議事内容
H24. 4.9(月)	塚崎、山田、内藤、伊藤、入江、浦谷、植松、木村、岩井、山本	- 本部行事の確認 本部理事会への対応 - 都ぞ弥生100年行事の西日本行事検討
H24. 5.15(火)	山田、内藤、伊藤、入江、浦谷、植松、木村、岩井、山本	- 本部理事会の報告 - 都ぞ弥生100周年行事への対応 - 西日本100年行事企画の確認
H24. 12.4(火)	窪田、塚崎、山田、間中、内藤、伊藤、入江、浦谷、植松、木村、岩井、山本、野呂	- 今年度活動の反省と近況報告 - 本部からの要請事項の確認 - 忘年懇親会
H25. 3.26(火)	窪田、塚崎、間中、内藤、伊藤、入江、浦谷、植松、木村、岩井、野呂	- 本部理事会への参加対応 - H24年度活動のまとめ - H25年度事業計画策定 「清き国ぞとあこがれぬ」制作支援

ii 主要行事活動報告

日時	行 事	内 容
H24 4.21(土)	本部理事会	伊藤支部長、植松幹事長、岩井事務局長が参加。年間活動計画を確認。西日本支部のH23活動報告とH24事業計画報告。
H24 5.27(日)	都ぞ弥生百年西日本支援行事	恵迪寮歌の講話。大寮歌祭。豚の丸焼きを囲んでの懇親会。35名の参加。 本部から“都ぞ弥生の清酒”の寄贈あり。
H24 6.9(土)	都ぞ弥生百年記念祭 (於ける札幌)	西日本支部からも多数が馳せ参じる。 コンサート、記念講演、大寮歌祭、懇親会に参加。全国からの寮同窓生との旧交を温める。
H24 10.6(土)	恵迪寮同窓会東日本大会 (於ける東京)	西日本支部の代表で植松幹事長が参加。 恵比寿のサッポロビール園にて開催。 開識社、大寮歌祭には約100人の参加者があった。

【北大関連各種行事に参加】

- ①北大関西同窓会行事「賀詞交換会（1月）・北大会館祭り（6月）・創立50周年行事：鈴木章名誉教授のノーベル賞受賞の記念講演会（10月）」
- ②応援団関連行事「7大戦応援（8月・九大）、寮歌祭（10月・東京蒲田）」
- ③札幌農学振興会大阪支部行事「講演会（2月、12月）、市民フォーラム：テーマはジャガイモ（6月）」
- ④各地の寮歌祭行事「洛陽寮歌祭（8月・京都）、平城寮歌祭（10月・奈良）、大阪寮歌祭（3月・大阪）」

3. 北海道支部

【1】平成24年の総括

〈成果〉

(1) 当初掲げた諸行事は、ほぼ実行できた。

1) 支部独自の活動

① 1月28日(土) 平成24年寮歌始めの会約100名参加

② 5月13日(日) 開拓の村旧恵迪寮舎前庭・中庭での植樹祭・観花会&寮舎内での名札揭示式、約40名参加

③ 6月24日(日) 第30回親睦ゴルフ会13名参加

④ 7月28日(土) 第6回恵迪夏祭り13名参加

⑤ 10月11日(木) 第13回開識社講演会(講師北大OB技術士石井正之氏)約60名参加

⑥ 三火会…毎月第3火曜日の任意の集まりであつたが、提唱者の厚谷純吉氏が平成24年2月に逝去されたため立ち消えとなる

2) 地区恵迪会活動

① 6月30日(土) 第8回道南・函館恵迪寮歌祭
② 7月7日(土) 第9回道北・旭川恵迪寮歌祭総勢9名の参加。『道北・旭川恵迪会会報No.9(2012・7・28発行)』の発行は称賛に値する

③ 7月14日(土) 第7回道高・苫小牧恵迪寮歌祭

3) 本部・他支部・現寮関係

① 5月13日(日) 現寮の観桜会にOB4名が参加
② 6月9日(土) クラーク会館・中央ロイン・京王プラザホテル札幌での「都ぞ弥生」百年記念式典及び記念祭の挙行

③ 10月11日(木) 第13回開識社講演会に3名の現寮生を招待

(2) 広報活動

① 支部ニュース夏・冬号の発行

② ホームページ投稿の活用

③ 歌始めの会等でのメール一斉配信の活用

(3) 役員の増強

1月に岩崎正君(S47入寮、応物)、9月に宮田睦彦君(S38入寮、医)、年明けの平成25年1月には村田勝君(S57入学、歯)、佐野将義君(H2入寮、土木)の計4名を支部役員として迎える。今後の活躍を期待している。

〈課題〉

(1) 地区恵迪会の活動に、バラツキが出てきている。

平成24年は、道北旭川、道南函館、日高苫小牧のみの活動であつた。

(2) 会員のメールアドレスの変更等に対応できないケースが目立つようになってきた。

【2】平成25年の活動方針と事業計画

(1) 活動方針

① 事業計画を着実に実行していく。取り分け、北海道支部主幹の「大寮歌祭 in 札幌」に積極的に取り組み、同日開催の「北海道大学ホームカミングデー2013」の一翼を担う

② 上記①の取組みの中で、会員増強を図っていく。満60歳以上のOBを主力としつつ若手OBの発掘にも努め、支部幹事等に積極的に登用していく。

④ 三火会を取りやめる

(2) 事業計画 別紙のとおりとする

〈第7号議案〉第13期恵迪寮同窓会総会

1. 総会開催

① 日時…2013年9月28日(土) 13:00～13:30

② 会場…(予定) 北大クラーク会館 大集会室

③ 議案…

報告案件

第1報告 第12期事業報告及び決算報告

第2報告 第13期事業計画

第3報告 「都ぞ弥生」百年記念祭及び記念事業

審議案件

第1号議案 第12期監査報告および事業報告・決算の承認(規約20条2)

第2号議案 第13期役員選出(規約10条1)

2. 役員改選

① 恵迪寮同窓会第12期選出役員

②

○会 長	横山 清(S31入寮、78歳)……2期6年
○代表幹事	白浜憲一(S40入寮、66歳)……2期6年
○会計監査	佐藤市雄(S38入寮、69歳)……1期3年
○会計監査	西雪弘光(S40入寮、67歳)……1期3年

役員選考委員会

横山清会長(S31)、高井宗宏副会長(S31)、新井三郎副代表幹事(S32)

氏平増之副代表幹事(S38)、白浜代表幹事(S40)、

内藤春彦北海支部長(S40)、

坂倉雅夫東日本支部長(S44)、伊藤靖久西日本支部

長(S38)

「都ぞ弥生 100 年記念事業」通期決算書

(平成 22 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

	22 年度	23 年度	24 年度	合 計
収入 合 計	2,152,013	5,016,199	8,672,204	15,840,416
支出 合 計	569,120	1,351,831	5,489,424	7,410,375
収 支 差 額	1,582,893	3,664,368	3,182,780	8,430,041

＜収入の部＞

(単位 円)

科 目	22 年度	23 年度	24 年度	合 計	備 考
協 賛 金 収 入		3,734,000	1,373,000	5,107,000	500 名
名 札 分 譲 収 入	152,000	1,132,000	56,000	1,340,000	330 名
広 告 収 入		100,000	279,475	379,475	11 件
記 念 DVD 制 作 協 力 金			6,887,000	6,887,000	495 件
利 息 収 入	13	199	229	441	
雑 収 入			76,500	76,500	
基 本 金 活 用 収 入	2,000,000	50,000	0	2,050,000	
収 入 合 計	2,152,013	5,016,199	8,672,204	15,840,416	

＜支出の部＞

科 目	22 年度	23 年度	24 年度	合 計	備 考
1. 運営費					
会 議 費	35,000	135,300	89,375	259,675	
印 刷 費		50,400	0	50,400	
通 信 交 通 費		504,682	248,893	753,575	
雑 費	720	195,029	1,291,868	1,487,617	
小 計	35,720	885,411	1,630,136	2,551,267	
2. 記念事業費					
名 札 製 作 費		44,320	214,053	258,373	
記 念 CD 製 作 費	533,400		271,950	805,350	
記 念 DVD 製 作 費			2,470,100	2,470,100	
記 念 誌 製 作 費			0	0	
記 念 植 樹 費		422,100	430,100	852,200	
エルムの鐘復元費			0	0	
記 念 講 演 会			100,000	100,000	
小 計	533,400	466,420	3,486,203	4,486,023	
3. 予備費			373,085	373,085	
4. 基金繰入支出金			0	0	
支 出 合 計	569,120	1,351,831	5,489,424	7,410,375	

平成 25 年度「年会費」と「運営支援金」のお願い

～同封の払込取扱票で納入を

本会は、年会員の年会費 3000 円と終身会員の運営支援金 2000 円、およびカンパによって、全国 3 支部持ち回りの「大寮歌祭」運営や会誌「恵迪」発行、文化講演会「開識社」の開催、現寮との交流、地域ごとの親睦交流・地区寮歌祭などの活動を展開しております。

平成 24 年度の会費等の納入状況は、件数 510 件 137 万円(年会費は 258 件 78 万 6000 円、運営支援金は、205 件 45 万 2000 円、カンパは、159 件 37 万 5100 円)となっております。

「会員相互の親睦を計り、恵迪精神の伝承発展に務める」という会の目的を実現するために、平成 25 年度「年会費」と「運営支援金」の納入をお願いいたします。それぞれ同封の郵便払込取扱票によりご送金ください。

- ① 年会員の方は、平成 25 年度「年会費」として 3000 円
- ② 平成 16 年までの終身会員の方は、平成 25 年度「運営支援金」として 2000 円
- ③ 任意のカンパ

※ 同窓会という任意団体の性格上、会費未納という請求関係は発生しません。あくまでも年度ごとの処理となります。払込の失念などがないよう宜しくお願いします。

「都ぞ弥生」百年記念事業協賛者ご芳名の追加

昨年の記念事業で振り込み手続きの手違いや締め切り後にご寄付された方、団体のご芳名を再掲載します。(敬称略)

▽吉岡 秀明(昭和 28 年入寮) ▽高根 仟(昭和 28 年入寮) ▽中山 貞夫(昭和 35 年入寮) ▽札幌農学振興会

恵迪寮同窓会の住所と TEL&FAX・メールアドレス

住所：〒064-0061 札幌市中央区南 13 条西 11 丁目 (株)アークス内

TEL&FAX：011-530-1186 E-mail：info@keiteki-ob.jp.

[北海道支部]

住所：〒064-0061 札幌市中央区南 13 条西 11 丁目 (株)アークス内

TEL&FAX：011-530-1186 E-mail：info@ keiteki-ob.jp.

[東日本支部]

住所：〒176-0021 東京都練馬区貫井 4 丁目 47-47 関口光雄気付

TEL&FAX：03-3926-0080 E-mail：jubesannchinoko@ybb.ne.jp

[西日本支部]

住所：〒530-0001 大阪市北区梅田 1 丁目 2-2-200 大阪駅前ビル 2 F 北大会館内

TEL&FAX：06-6343-3736 E-mail：yasuhisa_ito@nifty.com

恵迪寮同窓会北海道支部 平成 25 年事業計画 <保存版>

月	日	行 事	総会・幹事会・その他
1 月			12日(土)第 1 回幹事会 (歌始めの会)
	26日(土)	平成25年寮歌歌始めの会 (氷雪の門)	26日(土)第12回支部総会
2 月		北大室蘭恵迪会新年会	
3 月			
4 月			13日(土)第 2 回幹事会 (観桜会)
			20日(土)恵迪寮同窓会本部定期理事会
5 月	12日(日)	恵迪寮「観桜会」&現寮交流会 開拓の村旧恵迪寮舎「花壇」観花会	
6 月			1 日(土)第 3 回幹事会 (ゴルフ・夏祭り・大寮歌祭)
	14日(金)	第 9 回とかち恵迪寮歌祭 (ふじもり食堂)	
	22日(土)	第 8 回道南恵迪寮歌祭(ホテルテトラ)	…道南恵迪会は毎年 6 月第 2 土曜日開催
	23日(日)	第31回親睦ゴルフ大会	
	下旬	支部ニュース夏号発行	29日(土)第 4 回幹事会 (夏祭り・開識社・大寮歌祭)
7 月	6 日(土)	第10回道北・旭川「開識社&寮歌祭」	…道北恵迪会は毎年 7 月第 1 土曜日開催
	13日(土)	第 8 回日高・苫小牧恵迪寮歌祭	…日高恵迪会は毎年 7 月第 2 土曜日開催
	20日(土)	第 2 回釧路根室恵迪寮歌祭 (人数的に?)	
	27日(土)	第 7 回恵迪夏祭り (サッポロビール・ライオン)	
8 月			3 日(土)第 5 回幹事会 (大寮歌祭)
			31日(土)第 6 回幹事会 (大寮歌祭・開識社)
9 月			21日(土)第 7 回幹事会 (大寮歌祭・開識社)
	28日(土)	北海道支部主管「大寮歌祭 in 札幌」 (北海道大学ホームカミングデー2013)	
10月	5 日(土)	第 3 回オホーツク恵迪寮歌祭	5 日(土)第 8 回幹事会 (開識社)
	25日(金)	第14回開識社講演会 (時計台ホール)	
11月			
12月			7 日(土)第 9 回幹事会 (歌始めの会)
	下旬	支部ニュース冬号発行	
1 月			11日(土)第 1 回幹事会
	25日(土)	平成26年寮歌歌始めの会 (氷雪の門)	25日(土)第13回支部総会

※「月 日」は、一部暫定的に設定しているものがあります

平成 25 年度収支予算書
(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)
収入合計 3,192,000
支出合計 3,192,000
次年度繰越額 0

＜収入の部＞

(単位 円)

科 目	24 年度予算 (A)	25 年度予算 (B)	対 24 年度対比 C = B - A	備 考
1. 会費収入				
年 度 会 費 収 入	660,000	720,000	60,000	240 名×3000 円
運 営 支 援 資 金	400,000	400,000	0	200 名×2000 円
終 身 会 費 収 入	0	0	0	
カ ン パ 収 入	250,000	250,000	0	
小 計	1,310,000	1,370,000	60,000	
2. 事業収入				
恵迪グッズ販売収入	600,000	600,000	0	事業計画 (売上 1,500 千円×40%)
「恵 迪」販 売 収 入	0	0	0	
広 告 収 入	300,000	300,000	0	
雑 収 入	0	0	0	
小 計	900,000	900,000	0	
3. 利息収入	5,000	5,000	0	
4. 前期繰越金			0	
5. 基本金取崩収入	758,000	917,000	159,000	
収入合計	2,973,000	3,192,000	219,000	

＜支出の部＞

科 目	24 年度予算 (A)	25 年度予算 (B)	対 24 年度対比 C = B - A	備 考
1. 運営費				
事 務 局 費	240,000	240,000	0	書類保管料外
総 会 費	0	50,000	50,000	総会資料・会場費等
会 議 費	400,000	400,000	0	理事会・幹事会等経費
通 信 費	290,000	150,000	-140,000	電話代、送料、HP・ML 保守
印 刷 費	50,000	50,000	0	
組 織 強 化 費	200,000	200,000	0	県・ブロック恵迪会
雑 費	100,000	100,000	0	
小 計	1,280,000	1,190,000	-90,000	
2. 事業費				
恵 迪 発 行 関 係 費	1,200,000	1,200,000	0	
同窓会名簿発行費	50,000	50,000	0	
現 寮 関 係 費	50,000	50,000	0	
支 部 交 付 金	393,000	402,000	9,000	
恵迪グッズ制作費	0	0	0	
開拓の村両寮舎整備費	0	200,000	200,000	寮舎「中庭」花壇の整備
記 念 事 業 費		100,000	100,000	同窓会 30 年の歩み 50 千円、功労者表彰 50 千円
小 計	1,693,000	2,002,000	309,000	
3. 予備費	0	0	0	
支出合計	2,973,000	3,192,000	219,000	

北海道に認められ、全国へ。
それが、黒ラベルの誇りです。

★ 乾杯をもっとおいしく。
SAPPORO



大人の★生。
サッポロ生ビール
黒ラベル



飲酒は20歳になってから。飲酒運転は法律で禁止されています。妊娠中や授乳期の飲酒は胎児・乳児の発育に悪影響を与えるおそれがあります。お酒に楽しく適量で。のんだあとはリサイクル。①
www.sapporobeer.jp サッポロビール株式会社

ふるさとのために、何ができるだろう? ★ **北海道はサッポロビール**

きよく、おいしく、
たくましく。

いつだって、食べるあなたを守りたい。
いつだって、作るあなたのそばにいたい。
いつまでも、あなたに元気でいてほしい。

きよく、おいしく、たくましく。
私たちは、北海道ぎょれんです。

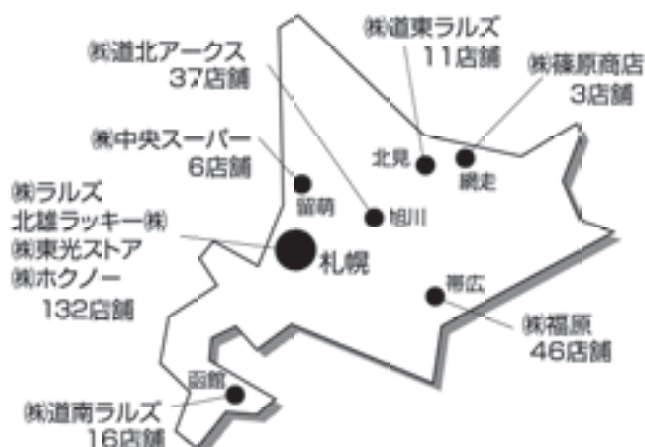


北海道

ぎょれん

<http://www.gyoren.or.jp>

CGCは、
日本全国の有力中堅
スーパーマーケットが
協業の旗のもとに、
その総力を結集した
大量共同仕入機構です。



CO-OPERATIVE (共同)
GROCERS (食料雑貨)
CHAIN (連鎖店)

株式会社 北海道シジシー

代表取締役社長 横山 清
加 盟 企 業 10社
店 舗 数 251店舗
全 体 売 上 3,346億円

2013年5月現在

祝！恵迪寮同窓会創立 30 周年記念
世紀を超えて 求め続ける 清き國！

会 長 横山 清 (S 31 年入寮)

副 会 長 高井 宗宏 (S 31 年入寮)

代表幹事 白浜 憲一 (S 40 年入寮)

北海道支部長 内藤 春彦 (S 40)	副代表幹事 新井 三郎 (S 32)
東日本支部長 坂倉 雅夫 (S 44)	副代表幹事 氏平 増之 (S 38)
西日本支部長 伊藤 靖久 (S 38)	副代表幹事 皆川 吉郎 (S 43)

編集後記

「都ぞ弥生」百年を記念したドキュメンタリードラマ「清き國ぞとあこがれぬ」が、5月の連休中に放映されましたが、北大関係者はもとより一般市民の反響もすこぶる好評で、過去に北大をテーマにつくられたテレビ、映画の中で“不朽の名作”といっても過言ではありません。

今号では、このドラマの誕生秘話や出演した現寮生の奮迅ぶりを、グラフや特集記事で取り上げました。中でも、胃がんで余命宣告を受けながら、同窓会と制作側の架け橋となり、完成直前に逝去された応援団OB・奥田晋一君について、脚本を書いた藤田正一君から感動的な追悼文を頂きました。完成披露試写会の席上でも、ドラマの企画者の一人、元HBC社長の長沼健夫氏が「様々な難問が起きる度に、奥田君から『何としてでも完成させましょうよ』というメールを200本近くもらい、勇気づけられた」と語っています。通夜・告別式では、北大関係者一同が恒例の「都ぞ弥生」斉唱で送りました。彼にとって一番のはなむけだったことでしょう。

それにしても、昨年从今年にかけて多くのOBが鬼籍に入られ、葬儀の度に、「都ぞ弥生」を歌いました。送られる側にとっては最高の葬送曲となりますが、奥田君のようにまだ60代半ばでは、送る側にとってはつらい悲歌、挽歌でもあります。

この点、富山在住の佐竹正治君が寄稿した、北大出身の息子さんの結婚式で出席者一同「都ぞ弥生」で門出を祝ったという話は、寮歌が親から子に歌い継がれていることを物語ったすばらしいエピソードです。50代以上の方は、自身または友人の結婚式で「都ぞ弥生」を歌ったご経験をお持ちだと思います。自然への畏敬の念と“貴き野心”のクラーク精神を併せ持つ「都ぞ弥生」。OBらの思い出や逝く人の鎮魂歌だけに止まらず、厳しい現代を生きる若い人達を励ます“人生の応援歌”として歌い継がれ、広まっていくことを願ってやみません。

投稿、寄稿していただいた多くの同窓生に感謝を申し上げるとともに、編集の校正段階で齟齬が生じたり、発行が遅れたりしてご迷惑をお掛けしたことをお詫びします。

会誌「恵迪」編集長 大隈 昭二（S 40年入寮）

【編集委員】 高井 宗宏（S 32年入寮） 藤田 正一（S 38年入寮）
氏平 増之（S 38年入寮） 佐藤 市雄（S 38年入寮）
白浜 憲一（S 40年入寮） 八重樫幸一（S 41年入寮）
岩本 栄一（S 44年入寮）

会誌「恵迪」第13号 2013年6月

発行 恵迪寮同窓会

〒064-8610 札幌市中央区南13条西1丁目9-6

株式会社アークス内

TEL & FAX 011-530-1186

E-mail (メールアドレス)

info@keiteki-ob.jp

同窓会ホームページ

http://www.keiteki-ob.jp/

発行者

恵迪寮同窓会会長

横山 清

印刷・製本 株式会社アイワード

〒060-0033 札幌市中央区北3条東5丁目5-91

TEL 011-241-9341

FAX 011-207-6178

豊かな大地に輝く懸け橋に



株式会社篠原商店



株式会社 道南ラルズ



株式会社 道東ラルズ



株式会社 福原



株式会社 ラルズ



株式会社 ユニバース



株式会社道北アークス



株式会社 東光ストア



株式会社 ジョイス

〈関連会社〉
株式会社エルディ
株式会社イワイ
株式会社ライフポート
ホテル福原
アークストラベル



北海道・東北地方に広がる291店舗

ARCS アークスグループ

株式会社アークス 代表取締役社長 横山 清
札幌市中央区南13条西11丁目2番32号 TEL.011-530-1000